

# 令和4年度 病院年報



出かける医療・近づく医療

日野病院組合 日野病院

## 令和4年度日野病院組合日野病院事業年報発刊によせて

病院長 孝田雅彦

令和4年度も新型コロナウイルス感染症はオミクロン株に変わってますます感染力が増強し、7波、8波と患者数はうなぎ登りとなりました。当院でも7月末から8月末まで、また10月にも2回の院内クラスターがあり、入院の一時停止や外来検査の中止など住民、患者さんに大変ご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。しかし、職員の獅子奮迅の働きによって2回のクラスターも何とか乗り切ることができました。全ての職員、サンクリーンの皆さん、メフォスの皆さんも含めて職域を超えて協力しながら、頑張ってくれたことが一番うれしいことでした。今では新型コロナによる重症患者はほとんどいなくなり、通常の風邪症候群となっていくものと思いますが、また、いつ新型の感染症があらわれるか分かりません。今回の経験を活かして、対策を準備して行く必要があります。

さて、本年当院は自治体病院優良病院両会長表彰を受賞しました。これは全国857ある自治体病院の中から経営状態が良く、地域への貢献、特徴のある診療を行っている病院に送られるもので、9病院の一つに選ばれました。特に100床以下の小病院は2病院と少ない中での受賞は価値あるものと考えています。この受賞も日頃からの職員の献身的な働きと住民の皆さんのご協力と感謝申し上げます。今後も優良病院の名に恥じないように頑張りたいと思っています。詳細についてはせせらぎの項をご参照ください。また、今年是全国の学会、研究会で3名の職員がさまざまな表彰を受賞しました。診療だけではなく、学術面でも成果が出ているものとうれしく思っています。

最後に、経営状況ではコロナ禍の中にあっても、昨年ほどではありませんが黒字決算となりました。これも職員一同の頑張り、住民の皆さんの支援の賜と感謝しております。今後も日野病院はかかりつけ病院としての機能を全うしていきたいと思っております。

# 日野病院の基本理念

平成8年3月策定

- 1 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
- 2 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

# 目 次

発刊によせて		-1-
<b>1、概要</b>		-5-
主な出来事		-6-
組織図	日野病院組合組織図	-9-
	日野病院組織図	-10-
施設の状況	施設規模等・主な医療機器	-12-
	施設基準	-13-
日野病院組合議会開催状況		-15-
職員の状況	部署別職員数	-18-
経営状況（令和4年度日野病院組合事業会計決算）		
	事業別内訳	-21-
	決算概況	-22-
施設・設備等整備状況		-40-
委員会活動状況	日野病院委員会（ワーキング）構成表	-45-
	各委員会開催状況	-46-
<b>2、統計</b>		-68-
患者統計	患者統計（外来・入院）	-69-
入院患者疾病統計	疾病別大分類別・診療科別・病名数	-73-
	ICD10別・診療科別・病名数	-75-
	ICD10別・年齢階層別・病名数	-89-
	ICD10別・在院期間別・病名数	-96-
	疾病中分類別・上位疾病別・病名数	-103-

部門別統計	人工透析状況・内視鏡検査・超音波診断検査 検査室状況・放射線室状況・検診実施状況	-105-
	手術件数・薬局状況・栄養管理室状況 理学療法状況・作業療法状況 言語聴覚療法状況 訪問看護状況・訪問リハビリ状況 居宅支援(介護・予防)状況 メディカルソーシャルワーカー活動状況	-106- -107-
<b>3、業績</b>		-108-
	職員の表彰等	-109-
	論文誌上発表	-109-
	学会等発表	-114-
<b>4、新聞記事等</b>		
	日野病院長コラム（広報ひの）	-120-
	その他の新聞記事	-133-
<b>5、広報誌 せせらぎ</b>		-143-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第74号（令和4年5月発行）	-144-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第75号（令和4年9月発行）	-152-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第76号（令和5年1月発行）	-162-
<b>編集後記</b>		-174-

# 1、概 要

## 主な出来事

令和4年

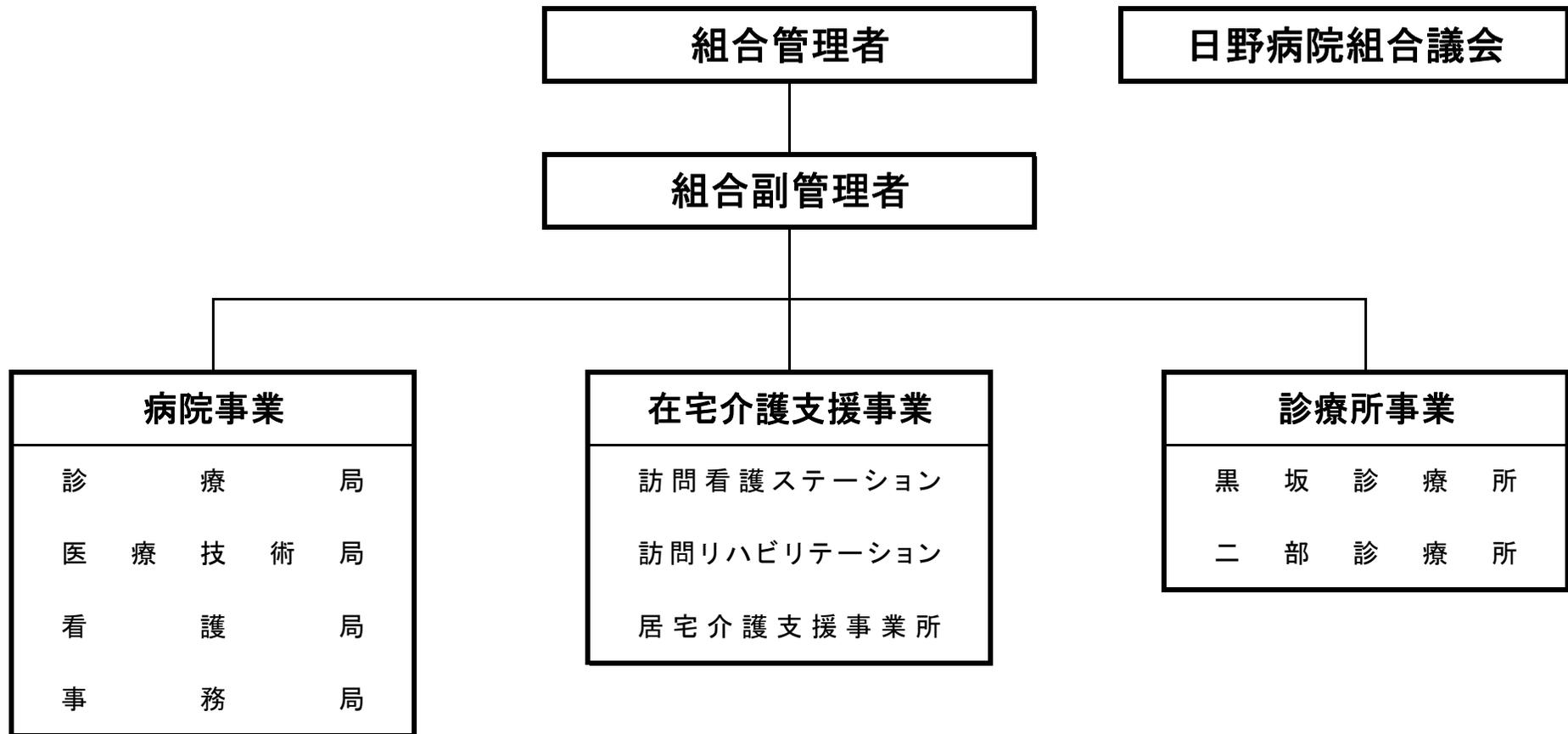
- 4月1日 新規採用職員オリエンテーション
- 4月1日 山形睦美看護師長、角嶋美鈴看護師が病院表彰を受賞、木村理絵主任看護師、山川千秋看護師、梅林花菜主事が局長表彰を受賞
- 6月16日 自治体立優良病院表彰（全国自治体病院協議会及び全国自治体病院開設者協議会会長表彰）を受賞
- 8月31日 令和3年度日野病院組合事業会計決算認定  
収益的収支で150,466千円の黒字、資金収支で112,150千円の黒字
- 10月6日 森田俊博薬剤師（鳥取県病院薬剤師会副会長）が令和4年度薬事功労者厚生労働大臣表彰を受賞
- 10月22日 山本直子薬剤管理室長が第60回日本癌治療学会学術集会 Medical Staff Award において表彰受賞  
演題名：過疎地域における末期がん患者の推移と診療圏の人口動態の分析
- 11月15日 全国自治体病院協議会主催2022経営セミナーにおいて孝田雅彦病院長が講演  
演題名：超高齢化、高齢人口減少地区における小自治体病院の役割と戦略
- 12月28日 仕事納め

令和5年度

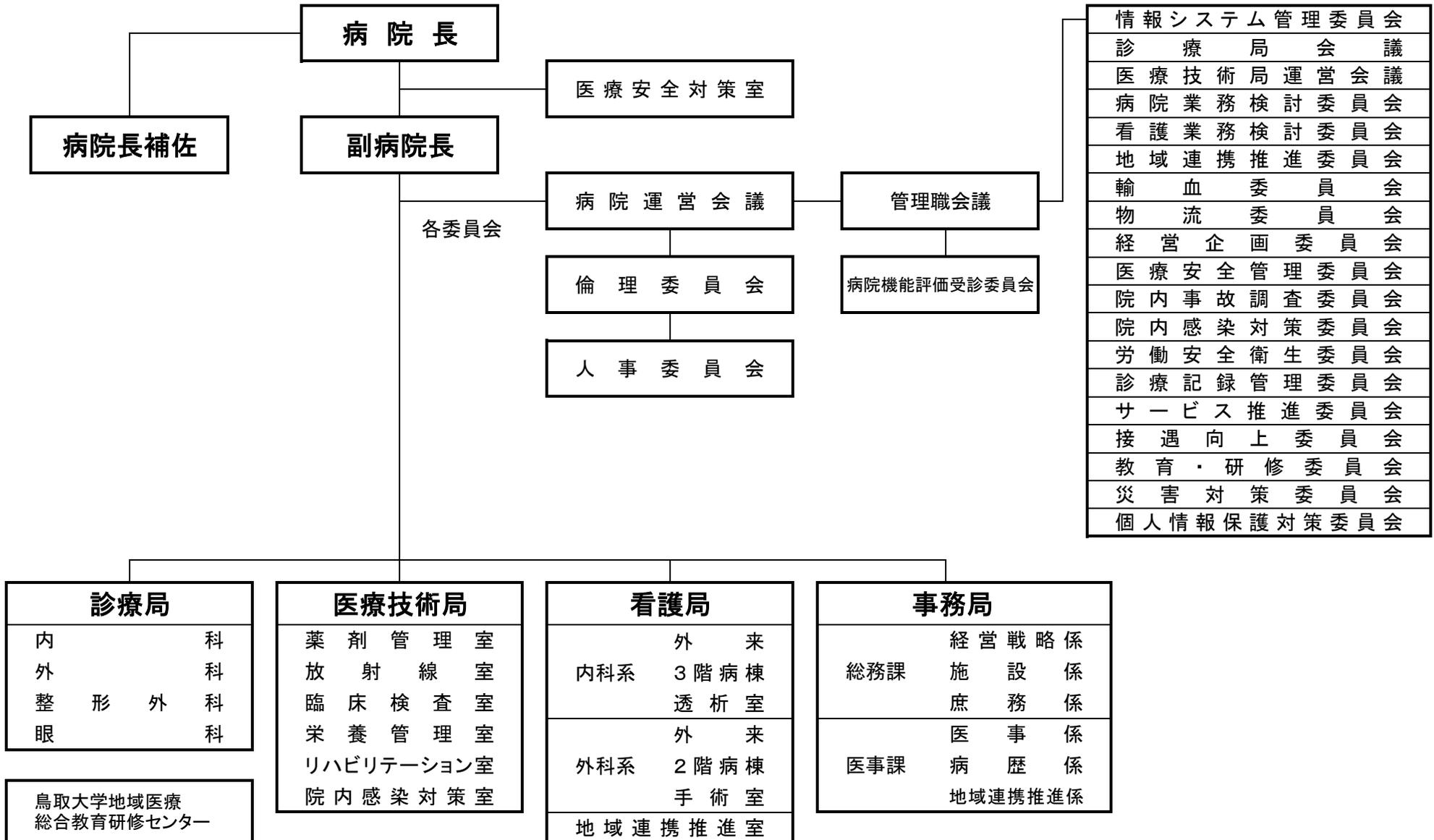
- 1月4日 仕事始め

# 組織図

# 日野病院組合組織図(令和4年4月現在)



# 日野病院組織図(令和4年4月現在)



# 施設の状況

## 施設規模等

- (1) 病床数 99床 (一般 74床・地域包括ケア病床 25床)  
(2) 病室数 51部屋 (1人部屋35、4人部屋16)  
(3) 敷地面積 11,045.27㎡  
(4) 延べ床面積 8,247.16㎡  
(5) 建設費 31億1,209万9千円

＜主な内訳＞	建築費	23億6,250万円
	用地費及び補償費	1億8,254万7千円
	医療機器及び備品購入費	4億2,195万6千円
＜財源内訳＞	補助金	5億2,791万1千円
	病院事業債	25億6,610万円
	一般財源	1,808万8千円

## 主な医療機器

気管支ファイバースコープ	十二指腸ファイバースコープ
大腸ファイバースコープ	フルデジタルカラー超音波装置
MR I (1.5テスラ)	マルチスライスCTシステム
レーザーメス	手術用顕微鏡
長時間心電図分析装置	生化学自動分析装置
血液ガス測定装置	脳波計
人工腎臓装置	人工呼吸器
マンモグラフィー	上部消化管ファイバースコープ
骨塩定量測定装置	X線骨密度測定装置
生体情報モニタ	手術室ビデオシステム
手動式除細動器	超音波骨折治療器
上部消化管汎用ビデオスコープ	血圧脈波検査装置
多目的自動血球分析装置	睡眠時無呼吸検査機器
超音波白内障手術装置	特殊入浴装置
高周波手術装置	角膜内皮細胞撮影装置
超音波診断装置	

## ● 施設基準

### (基本診療料)

- ・ 情報通信機器を用いた診療に係る基準
- ・ 機能強化加算
- ・ 一般病棟入院基本料
- ・ 救急医療管理加算
- ・ 診療録管理体制加算 2
- ・ 急性期看護補助体制加算
- ・ 療養環境加算
- ・ 重症者等療養環境特別加算
- ・ 感染対策向上加算 2
- ・ データ提出加算
- ・ 入退院支援加算
- ・ 認知症ケア加算
- ・ せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ・ 地域包括ケア入院医療管理料 1
- ・ 看護職員処遇改善評価料 4 2

### (特掲診療料)

- ・ がん性疼痛緩和指導管理料
- ・ ニコチン依存症管理料
- ・ がん治療連携指導料
- ・ 肝炎インターフェロン治療計画料
- ・ 薬剤管理指導料
- ・ 地域連携診療計画加算
- ・ 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- ・ 別添 1 の「第 1 4 の 2」の 1 の (3) に規定する在宅療養支援病院
- ・ 在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料
- ・ 在宅がん医療総合診療料
- ・ 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2 に規定する遠隔モニタリング加算
- ・ 検体検査管理加算 (I)
- ・ 検体検査管理加算 (II)
- ・ CT 撮影及びMR I 撮影
- ・ 無菌製剤処理料
- ・ 脳血管疾患等リハビリテーション料 (II)
- ・ 運動器リハビリテーション料 (I)
- ・ 呼吸器リハビリテーション料 (I)

- ・導入期加算 1
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・保険医療機関の連携による病理診断

#### (入院時食事療養)

- ・入院時食事療養 (I) ・入院時生活療養 (I)

#### (その他届出)

- ・酸素の購入単価

## ●特定療養費

180日を超える入院…入院医療費の15% (別途消費税加算)

※入院医療の必要性は低いがご自身の事情等により180日を超えて入院されている場合、保険給付が85%での算定となることから、保険により給付されない部分の15%を一部負担金以外に別途ご負担となります。

※指定の難病や重症等の患者さんについては対象となりません。

## ●指定等

- ・鳥取県肝疾患専門医療機関
- ・指定小児慢性特定疾病医療機関
- ・鳥取県難病指定医療機関
- ・へき地医療拠点病院
- ・指定自立支援医療機関 (育成医療・更生医療) : 腎臓、精神通院医療
- ・指定自立支援医療機関 (精神通院医療)
- ・生活保護法指定医療機関
- ・労災保険指定医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・救急告示病院
- ・被爆者一般疾病医療機関
- ・保険医療機関指定

# 日野病院組合議会開催状況

## 令和4年度日野病院組合議会開催状況

会議名	開催年月日	議案	内 容
第2回 臨時会	R4.4.12	第7号 第8号 第9号 第10号 第11号	日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について 日野病院組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について 日野病院組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 令和4年度日野病院組合病院事業会計補正予算(第1号) 令和4年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第1号)
第3回 定例会	R4.8.29	第12号 第13号 第14号 第15号	令和3年度日野病院組合病院事業会計決算の認定について 令和3年度日野病院組合在宅介護支援事業会計決算の認定について 令和3年度日野病院組合診療所事業会計決算の認定について 令和4年度日野病院組合病院事業会計補正予算(第2号)
第4回 定例会	R4.11.30	第16号 第17号	日野病院組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 令和4年度日野病院組合病院事業会計補正予算(第3号)
第1回 定例会	R5.2.28	第1号 第2号 第3号 第4号 第5号 第6号 第7号 第8号 第9号 第10号	日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について 日野病院組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について 日野病院組合職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 日野病院組合個人情報保護法施行条例の制定について 令和4年度 日野病院組合病院事業会計補正予算(第4号) 令和4年度 日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第2号) 令和4年度 日野病院組合診療所事業会計補正予算(第1号) 令和5年度 日野病院組合病院事業会計予算 令和5年度 日野病院組合在宅介護支援事業会計予算 令和5年度 日野病院組合診療所事業会計予算

# 職員の状況

## 部署別職員数（令和5年3月31日現在）

### （1）病院事業

- ・ 病院長補佐 1名
- ・ 医療安全対策室 1名
- ・ 診療局 常勤医師9名（うち嘱託医師2名）  
（内科5名、外科1名、整形外科1名、眼科1名、小児科1名）

・ 看護局 83名 (人)

区 分	看護師		准看護師		看護助手		クラーク		合 計	
	正職	会計年度	正職	会計年度	正職	会計年度	正職	会計年度	正職	会計年度
看護局長	1								1	
外 来	3	1		3				5	3	9
2階病棟	18	4	2	2	2	3		1	22	10
3階病棟	21	3	1		1	4		1	23	8
手術室	3		1						4	
透析室	1	1							1	1
地域連携室	1								1	
合 計	48	9	4	5	3	7		7	55	28

- ・ 医療技術局 29名
  - 臨床検査室 5名（臨床検査技師4名、うち会計年度任用職員1名）
  - 薬剤管理室 4名（薬剤師3名（うち会計年度任用職員1名）、事務職員1名（会計年度任用職員））
  - 放射線室 4名（診療放射線技師4名（うち会計年度任用職員1名））
  - リハビリテーション室 13名  
（理学療法士8名、作業療法士2名、言語聴覚士2名、マッサージ師1名）
  - 栄養管理室 2名（管理栄養士2名）
  - 臨床工学室 1名（臨床工学技士1名）
- ・ 事務局 16名
  - 事務局長 1名
  - 事務次長 1名
  - 総務課 6名（うち会計年度任用職員4名）
  - 医事課 8名（うちMSW2名、会計年度任用職員3名）

## **(2) 在宅介護支援事業所**

- ・ 所長 1名 (病院と兼務)
- ・ 看護師 4名
- ・ 理学療法士 4名
- ・ 言語聴覚士 1名 (病院と兼務)
- ・ 介護支援専門員 2名 (うち1名は看護師と兼務)
- ・ 事務職員 2名 (うち1名は病院と兼務)

## **(3) 診療所事業**

- ・ 医師 1名 (病院と兼務)
- ・ 看護師 1名 (病院と兼務)
- ・ 事務職員 1名 (病院と兼務)

# 経営状況

令和4年度日野病院組合決算(事業別内訳)

〈収益的収支〉

(単位:千円)

区 分	病院事業(イ)	在宅介護支 援事業(ロ)	診療所事業			(イ)+(ロ)+(ハ)	3年度 決算額	増減	
			計(ハ)	黒坂	二部				
医業収益	入院収益	922,314		0		922,314	952,498	△ 30,184	
	外来収益	415,637		1,958	1,520	438	417,595	384,949	32,646
	室料差額収益	20,950		0			20,950	25,966	△ 5,016
	保健予防活動収益	39,420		415	378	37	39,835	36,762	3,073
	その他医業収益	12,259		0			12,259	15,831	△ 3,572
	事業間負担金(在宅/診療所)	24,460		0			24,460	24,656	△ 196
	介護サービス収益	0	71,205	0			71,205	73,502	△ 2,297
	その他介護サービス収益	0	56	0			56	16	40
	計	1,435,040	71,261	2,373	1,899	475	1,508,674	1,514,180	△ 5,506
医業外収益	預金利息	79		0			79	79	0
	国県等補助金	109,399	568	0			109,967	76,422	33,545
	負担金交付金	347,392	28,562	18,058	10,945	7,113	394,012	413,619	△ 19,607
	負担金交付金(本部費)	414		0			414	391	23
	長期前受金戻入(現金を伴わない)(A)	79,465	250	154	77	77	79,869	63,947	15,922
	その他医業外収益	8,993	6,177	0			15,170	9,803	5,367
	計	545,742	35,557	18,212	11,022	7,190	599,511	564,261	35,250
	収益合計	1,980,782	106,818	20,585	12,920	7,665	2,108,185	2,078,441	29,744
医業費用	給与費	780,683	63,808	0			844,491	828,377	16,114
	退職給付引当金	73,491		0			73,491	75,118	△ 1,627
	賞与引当金繰入額	53,794	5,769	0			59,563	63,888	△ 4,325
	材料費	297,565	6	147	124	23	297,718	294,806	2,912
	経費	116,723	2,523	984	636	348	120,230	104,499	15,731
	委託費	307,593	395	207	202	5	308,195	327,560	△ 19,365
	減価償却費(B)	188,902	1,453	282	84	198	190,637	168,264	22,373
	資産減耗費(現金を伴わない)(C)	4,923		0			4,923	2,045	2,878
	研究研修費	5,594	191	0			5,785	3,405	2,380
	本部費	414		0			414	391	23
	事業間負担金		12,050	12,410	8,160	4,250	24,460	24,656	△ 196
	計	1,829,682	86,195	14,030	9,206	4,824	1,929,907	1,893,009	36,898
医業外費用	企業債償還金(利子)・支払利息	16,443	19	0			16,462	18,363	△ 1,901
	その他医業外費用	15,478		0			15,478	16,603	△ 1,125
	計	31,921	19	0	0	0	31,940	34,966	△ 3,026
	費用合計	1,861,603	86,214	14,030	9,206	4,824	1,961,847	1,927,975	33,872
	収益的収支(決算額)	119,179	20,604	6,555	3,714	2,841	146,338	150,466	△ 4,128
	年度末累積剰余金・累積欠損金	626,846	167,409	145,805			940,060	793,722	146,338

〈資本的収支〉

区 分	病院事業(イ)	在宅介護支 援事業(ロ)	診療所			(イ)+(ロ)+(ハ)	3年度 決算額	増減	
			計(ハ)	黒坂	二部				
企業債	企業債	44,000		0			44,000	84,200	△ 40,200
負担金	負担金			0			0	39,100	△ 39,100
補助金	補助金	61,330		0			61,330	79,101	△ 17,771
貸付金償還	貸付金償還	2,700		0			2,700	3,600	△ 900
	資本的収入計	108,030	0	0	0	0	108,030	206,001	△ 97,971
建設改良費	固定資産購入費	110,443	2,116	0			112,559	204,043	△ 91,484
企業債償還金	企業債償還金(元金)	180,883	550	0			181,433	165,130	16,303
貸付金	奨学金貸付金	1,150		0			1,150	600	550
	資本的支出計	292,476	2,666	0	0	0	295,142	369,773	△ 74,631
	資本的収支	△ 184,446	△ 2,666	0	0	0	△ 187,112	△ 163,772	△ 23,340

(単年度資金収支)

現金を伴わない収益(A)	79,465	250	154	77	77	79,869	63,947	15,922
現金を伴わない費用(B)+(C)	193,825	1,453	282	84	198	195,560	170,309	25,251
単年度資金収支	49,093	19,141	6,683	3,721	2,962	74,917	93,056	△ 18,139

資金不足負担金発生までの額	現金預金等残高(引当金除)(A)	未払金等残高(B)	資金不足負担金発生までの額((A)-(B))	
	1,139,617	73,215	1,066,402	913,610
				152,792

退職給付引当金残高	前年度引当金残高	退職給付引当金	退職給付金	引当金残高	
				総残高	増減
	357,635	73,491	17人 117,581	313,545	△ 44,090

# 令和4年度病院事業等の決算について

## 1、総括的事項

病院事業は、高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT・MRI などの診療機器や、無菌手術の可能な手術室を備え、一般病床99床(内地域包括ケア病床25床)の入院業務と21診療科の外来診療に加え訪問診察を行った。加えて、在宅介護支援事業及び診療所事業を行い「出かける医療・近づく医療」の推進を図った。

## 2、「出かける医療・近づく医療」

構成3町の交通手段は限られ、高齢者の通院を阻む要素になっていることから、通院の利便性を図るため、公共交通機関のない地域に患者送迎車を走らせ、自宅から日野病院(診療所)の間で運行させた。

また、訪問診察(週3回)に加え、在宅介護支援事業(訪問看護と訪問リハビリ)と診療所事業の充実を図り、可能な限り在宅での生活(療養)を支援している。(訪問診察と在宅介護支援事業は構成3町だけでなく県境を越え岡山県にも出かけている。)

### (ア) 訪問診察

訪問診察は、超音波診断装置及び心電計を用い、充実した診療を目指している。訪問診察の延べ患者数は、令和4年度で474名(令和3年度は498名)となっている。

### (イ) 在宅介護支援事業

訪問看護、訪問リハビリを行った。

令和4年度で訪問した延べ患者数は、訪問看護1,856名(94名増)、訪問リハビリ4,949名(347名増)、居宅支援件数1,244件(233件減)となっている。

### (ウ) 診療所事業

無医地区の黒坂(日野町)と二部(伯耆町)に診療所を開所し診療を行った。

黒坂診療所は毎週火・木曜日、二部診療所は毎週水曜日に開所した。令和4年度延べ患者数は492名となった。(令和3年度延べ患者数は524名)

今後も、在宅での療養の推進を図りながら現在の病院機能を維持していくことと併せて、新型コロナウイルス感染症に対応(院内感染防止対策・診療・各種検査・ワクチン接種等)していくことが必要となる。

また、令和元年度に締結した日野郡の医療連携に係る基本協定に基づき、周辺医療機関との医療連携や機能分担について推進していくことが必要と考える。

なお、令和4年3月に総務省から「公立病院経営強化ガイドライン」が提示されたことを受け、令和5年度中に新公立病院経営強化プランを策定する予定としている。

# 令和4年度病院事業等の決算概況資料

日野病院組合が行っている、病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業の決算概要について説明します。

## 1、医業収支・各種統計について

令和4年度の決算の中から、収入については構成町からの負担金・補助金等、支出については起債償還額等を除いた医業収支については…

医業収支…診療報酬等を収入とし、医業にかかる給与費・経費等を支出とした収支

収益について、病院事業の医業収益は前年度と比べ、入院収益については、県からの新型コロナウイルス感染症に係る入院病床確保要請や病棟におけるクラスター発生等により、患者数が減少し減収となった。一方、外来収益は発熱患者等の増に伴い増収となった。

在宅事業の介護サービス収益は、訪問看護利用者と訪問リハビリ利用者は増加したが、居宅支援件数が減少したため、前年度と比べ減収となった。

診療所事業は、黒坂診療所の患者数が減少し減収となった。

全体では5,310千円の減収となった。

医業費用について、前年度と比べ、給与費、経費、減価償却費等が増加し、全体で37,093千円の増となった。

以上から、医業収支は令和3年度と比較し42,403千円の減となった。

### (医業収入)

病院事業について、外来収益は患者数が37,599人となり、令和3年度と比較し1,756人増加した。1人あたりの診療単価は11,054円となり370円増加し、32,696千円の増収となった。

入院収益は、患者数が28,704人で、令和3年度と比較し1,681人減少した。1人あたりの診療単価は32,132円となり784円増加したが、30,184千円の減収となった。

在宅介護支援事業については、訪問看護利用者が94人の増、訪問リハビリの利用者も347人増加したが、居宅支援件数が233件減少したため、全体で2,97千円の減収となった。

診療所事業については、患者数が黒坂診療所が69人の減、二部診療所が37人の増となり、全体で32人の減となり、50千円の減収となった。

その他の医業収益については、室料差額収益が5,016千円の減、保健予防活動収益はドック検診、予防接種、DWIBS検診等の増により3,073千円の増収となった。その他医業収益は事業所との委託契約（江府町）に係るPCR検査件数の減により3,532千円の減となった。

### (医業費用)

前年度と比べ、給与費の増に加え、光熱水費等の高騰等により経費が15,730千円増加した。また、医療機器の更新等の影響により減価償却費が22,373千円増加し、全体で37,093千円増加した。

## 2、単年度資金収支について

令和4年度の単年度資金収支（現金）は、74,917千円増加した。この額が運転資金（留保資金）として増額されることになる。

## 3、赤字補てんによる追加負担金発生状況について

平成20年度に構成町の赤字補てんによる追加負担金について発生条件を、単年度資金収支の減による補てん（赤字補てん）から、運転資金（留保資金）不足の補てんへ変更した。

令和4年度末時点で、資金不足発生までの額は1,066,402千円となり、当分の間、赤字補てんによる追加負担金は発生することはない状況となっている。

## 4、退職給付引当金の実施について

平成19年度から実施している退職給与引当てについて、正職員については、給料総額の140/1000とし、引当てを49,779千円実施、会計年度任用職員については、引当てを4,618千円実施し、全体で54,397千円を引当てた。

また、平成26年度から地方公営企業法の改正により、経過措置として毎年19,094千円の引当てを実施している。（今年度9年目で15年間実施）

退職給与金は17名（医師1名、看護師8名、医療技術員3名、事務職員3名、看護助手2名（うち会計年度任用職員2名））に対し、総額117,581千円の支払いを行い、引当金残高は313,545千円となり、前年度と比べ、44,090千円減少した。

## 5、病院事業等に対する地方交付税措置について

普通交付税について、稼働病床数、救急告示病院、病院事業債元利償還金等に係る措置として、189,038千円（令和3年度は188,170千円）の措置額となった。

特別交付税については、不採算地区病院、へき地保健医療、共済追加費用等に係る措置として、214,278千円（令和3年度は235,392千円）の措置額となった。

なお、不採算地区病院の措置については、平成19年度から対象となっているが、平成28年度からは稼働病床数に対する措置（平成27年度までは許可病床数）となり、加えて実繰出金の80%との比較（どちらか少ない額）による措置となっている。また、令和3年度から新型コロナウイルス対応のため措置額が1.3倍に拡充されている。

交付税措置額は全体で、403,316千円（令和3年度は423,562千円）となった。（内394,012千円を負担金として収入）

## 6、累積剰余金の処分について

平成18年度に約6億円あった累積欠損金が、平成19年度以降の黒字決算の継続により、平成24年度決算終了時点で累積剰余金に転じている。

累積剰余金は、令和4年度決算終了時点で940,060千円となった。

剰余金を処分する際は、条例の定めによるか議会の議決を要することとされているが、令和4年度決算において発生した累積剰余金については、未処分利益剰余金として扱う。

## 7、日野郡の医療連携について

周辺人口が減少する中、個々の医療機関だけでは維持していくことが困難な機能も、各病院の連携により維持することができることもある。このような理由から、令和2年3月に「日野郡の医療連携に係る基本協定」を締結した。

小児科について、令和4年度末に嘱託医師が退職することに伴い、3町での小児科医師共同雇用について鳥取大学と協議を重ねた。その結果、常勤医の派遣は先延ばしとなったものの、令和5年4月から非常勤医師を当院と日南病院に派遣してもらうこととなり、日野郡内で毎日小児科の診療を受けられる体制を構築した。

一方、人事交流については、江尾診療所への職員派遣や、日南病院への診療放射線技師の派遣などを行い、近隣医療機関への協力を行った。

また、今後における鳥取大学地域医療学及び小児科への支援の在り方や電子カルテの共有等について検討を重ねている。

## 8、新型コロナウイルス感染症対応について

令和4年度も、鳥取県から入院患者受入協力医療機関として指定され、県からの要請を受け、新型コロナウイルス感染症入院患者の受け入れを行った。

PCR検査については、症状のある患者や、院内感染予防のため職員等に検査を実施し、令和4年度は5,605件（令和3年度は1,583件）の検査を行った。また、県の無料検査事業に係る検体採取を139件行った。

さらに、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、日野町及び伯耆町からの要請に対し、医療従事者の派遣協力をはじめ施設・設備面での協力を行った。

なお、7月22日から8月4日にかけて、入院患者20名・職員16名の感染が確認される大規模な院内感染事案が発生し、やむを得ず一時的に救急患者の受け入れを中止したり外来診療の一部を休診としたが、院内感染予防対策を適切に施したことにより、早急に通常の診療体制に戻すことが出来、大事には至らなかった。

## 9、自治体立優良病院表彰受賞について

令和4年6月16日付で、全国自治体病院開設者協議会及び公益社団法人全国自治体病院協議会が実施している自治体立優良病院表彰（全国自治体病院開設者協議会長及び公益社団法人全国自治体病院協議会長表彰（以下、「両協議会会長表彰」という。））を受賞した。

この表彰は、各都道府県自治体病院開設者協議会及び全国自治体病院協議会各都道府県支部から推薦された調書を基に、経営努力の成果がみられ、かつ、地域医療の確保に重要な役割を果たしている病院が選考され、選考にあたっては、表彰年度の前々年度以前5ヶ年間の各年度において収支の均衡が図られ不良債務がないことや、地域医療の確保に重要な役割（救急医療、保健衛生活動、医療連携、高度・特殊・先駆的医療、へき地医療の全ての項目）を果たしていることが条件となった。

日野病院が選考された主な理由は、無医地区で診療所を設置していることや鳥取大学と連携し総合診療医を育成していることが高く評価されたもので、令和4年度は全国で当院と同じ両協議会会長表彰は5病院が、総務大臣表彰は4病院が受賞したが、病床数が100床未満の小規模病院は当院のみであった。

## 令和4年度決算 医業収支(病院・在宅・診療所事業)年度比較表

(収益)

(単位:千円)

内訳	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	備 考	
外来収益	病 院	332,844	355,741	341,622	360,455	358,447	382,941	415,637	32,696	年間外来患者数 37, 599人(1人あたり11, 054円)
	在 宅	72,323	70,001	72,007	75,154	79,581	73,502	71,205	△ 2,297	訪問看護21, 456千円・訪問リハビリ35, 147千円・居宅介護14, 602千円
	診療所	2,204	2,617	2,601	1,967	1,876	2,008	1,958	△ 50	黒坂1, 520千円・二部438千円
入院収益	889,380	921,689	878,379	897,327	951,209	952,498	922,314	△ 30,184	年間入院患者数 28, 704人(1人あたり 32, 132円)	
室料差額	29,399	33,009	29,811	28,529	29,282	25,966	20,950	△ 5,016	稼働率(特別室11.2%・個室A67.4%・個室B81.3%)	
保健予防	25,365	26,185	28,937	30,583	32,220	36,762	39,835	3,073	ドック検診、予防接種、DWIBS検診等の増	
その他	23,081	16,562	15,223	15,956	22,996	15,847	12,315	△ 3,532	事業所との委託契約(江府町)に係るPCR検査件数の減	
計(A)	1,374,596	1,425,804	1,368,580	1,409,971	1,475,611	1,489,524	1,484,214	△ 5,310		

(費用)

内訳	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	備 考
給 与 費	945,348	956,120	993,257	1,015,833	863,901	892,265	904,054	11,789	正職員(給料366,808千円、手当272,515千円)、フルタイム会計年度任用職員(給料65,987千円、手当16,959千円)、パートタイム会計年度任用職員(報酬43,043千円)、法定福利費138,742千円
退職給与金等	70,201	67,904	69,038	69,407	74,101	75,118	73,491	△ 1,627	通常分54,397千円(正職員49,779千円、会計年度任用職員4,618千円)・経過措置分(9年目)19,094千円
材 料 費	245,827	274,869	251,531	262,648	287,195	294,806	297,718	2,912	医薬品費・薬品費・診療材料費等
経 費	98,113	96,428	96,560	95,288	98,136	104,499	120,229	15,730	消耗品・光熱水費・修繕費等
委 託 費	139,895	142,149	150,409	151,688	326,199	327,560	308,195	△ 19,365	給食・寝具・検査・非常勤医師委託等
減価償却費等	139,525	125,280	127,808	165,088	160,172	170,309	195,560	25,251	減価償却費190, 637千円・資産減耗費4, 923千円
その他	5,420	9,383	9,547	5,675	2,539	3,796	6,199	2,403	研究研修費5, 785千円・本部費414千円
計(B)	1,644,329	1,672,133	1,698,150	1,765,627	1,812,243	1,868,353	1,905,446	37,093	

(収支)

内訳	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	備 考
医業収支(A)-(B)	△ 269,733	△ 246,329	△ 329,570	△ 355,656	△ 336,632	△ 378,829	△ 421,232	△ 42,403	医業収益計(A)—医業費用計(B)
(前年度との比較)	112,749	23,404	△ 83,241	△ 26,086	19,024	△ 42,197	△ 42,403		

\* 医業収支以外の主なもの

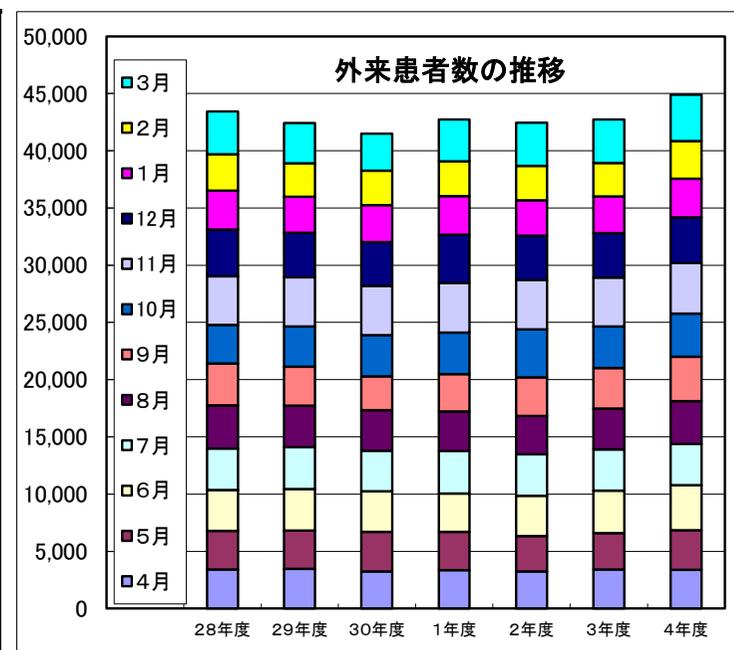
(単位:千円)

(収入)	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	備 考
負 担 金	332,006	340,730	345,984	357,706	368,234	413,619	394,012	△ 19,607	交付税措置額(不採算地区病院・へき地医療 含む)
補 助 金	34,570	35,636	31,814	27,979	67,608	76,422	109,967	33,545	建設費にかかる支払利子の1/2・輪番制補助金・地域医療人材確保補助金・新型コロナに係る各種補助金等
(支出)	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	備 考
起債償還等	175,389	173,477	151,833	162,319	192,253	183,493	197,895	14,402	元金181, 433千円・利子16, 462千円

(外来患者数の推移)

(単位:人)

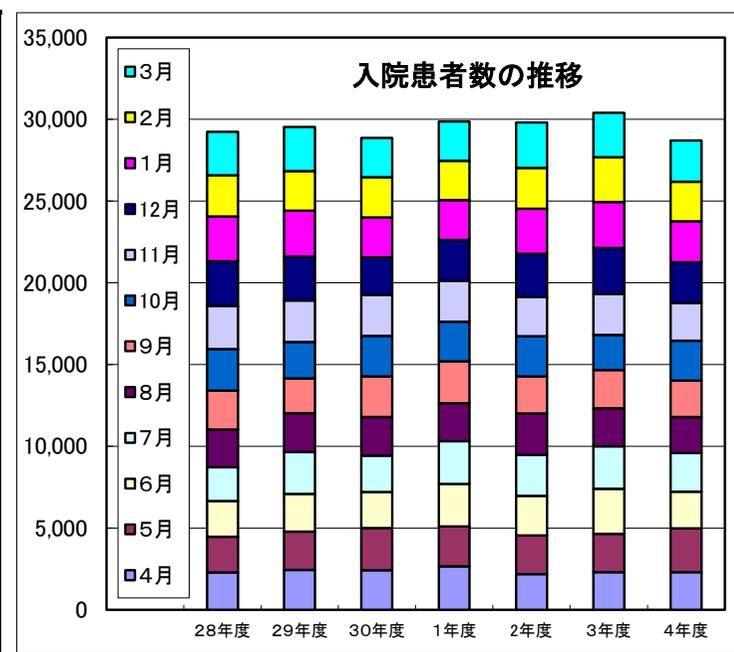
患者数	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
4月	3,401	3,458	3,238	3,346	3,239	3,413	3,373	△ 40
5月	3,374	3,355	3,477	3,354	3,084	3,166	3,471	305
6月	3,589	3,640	3,531	3,343	3,518	3,733	3,948	215
7月	3,611	3,634	3,537	3,714	3,627	3,577	3,585	8
8月	3,787	3,627	3,539	3,476	3,359	3,596	3,750	154
9月	3,639	3,406	2,978	3,261	3,384	3,521	3,890	369
10月	3,385	3,513	3,583	3,621	4,178	3,642	3,761	119
11月	4,238	4,303	4,300	4,332	4,309	4,262	4,408	146
12月	4,099	3,889	3,821	4,208	3,892	3,906	4,006	100
1月	3,383	3,162	3,234	3,379	3,091	3,185	3,371	186
2月	3,188	2,915	3,034	3,046	2,991	2,928	3,282	354
3月	3,733	3,510	3,213	3,639	3,783	3,802	4,051	249
計	43,427	42,412	41,485	42,719	42,455	42,731	44,896	2,165



(入院患者数の推移)

(単位:人)

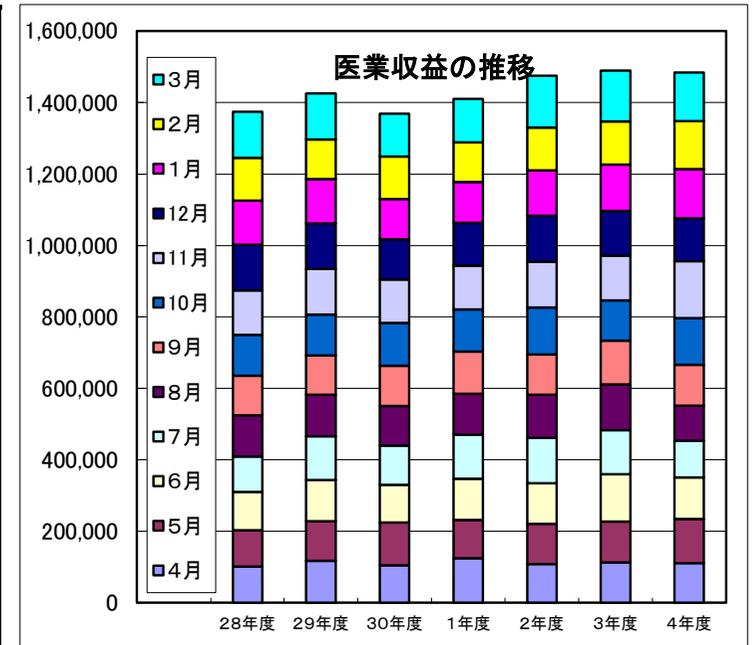
患者数	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
4月	2,283	2,438	2,423	2,651	2,187	2,292	2,302	10
5月	2,173	2,344	2,583	2,444	2,367	2,354	2,681	327
6月	2,190	2,295	2,197	2,603	2,414	2,754	2,242	△ 512
7月	2,079	2,572	2,223	2,610	2,494	2,599	2,356	△ 243
8月	2,302	2,384	2,369	2,324	2,539	2,314	2,213	△ 101
9月	2,374	2,110	2,479	2,564	2,272	2,351	2,220	△ 131
10月	2,534	2,236	2,476	2,430	2,460	2,147	2,438	291
11月	2,638	2,536	2,500	2,500	2,403	2,507	2,306	△ 201
12月	2,751	2,684	2,305	2,489	2,643	2,805	2,502	△ 303
1月	2,736	2,805	2,445	2,436	2,756	2,825	2,506	△ 319
2月	2,521	2,420	2,460	2,400	2,488	2,723	2,416	△ 307
3月	2,641	2,708	2,403	2,413	2,780	2,714	2,522	△ 192
計	29,222	29,532	28,863	29,864	29,803	30,385	28,704	△ 1,681



## (収益の推移)

(単位:千円)

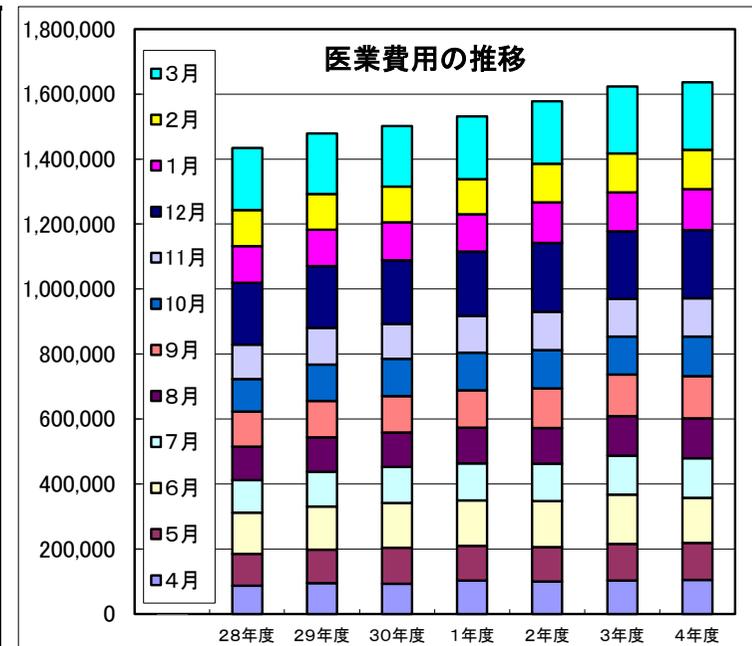
収益	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
4月	100,843	116,639	104,247	123,823	107,677	111,900	110,244	△ 1,656
5月	101,567	111,271	119,669	107,764	112,662	114,462	123,533	9,071
6月	107,412	114,588	105,343	114,791	113,721	133,120	116,269	△ 16,851
7月	98,586	123,042	109,785	123,674	127,009	123,335	103,035	△ 20,300
8月	115,825	115,885	111,070	113,859	120,524	127,536	97,529	△ 30,007
9月	110,947	109,947	112,628	118,210	112,239	122,321	114,834	△ 7,487
10月	113,851	114,932	119,486	118,632	131,752	112,601	130,618	18,017
11月	124,226	127,888	122,183	121,905	128,016	125,885	159,178	33,293
12月	129,163	127,351	112,886	121,123	129,962	126,071	120,962	△ 5,109
1月	123,340	124,661	113,306	114,350	127,192	128,989	138,164	9,175
2月	120,084	110,451	118,068	110,367	119,536	120,824	133,413	12,589
3月	128,752	129,149	119,909	121,473	145,321	142,480	136,435	△ 6,045
計	1,374,596	1,425,804	1,368,580	1,409,971	1,475,611	1,489,524	1,484,214	△ 5,310



## (費用の推移)

(単位:千円)

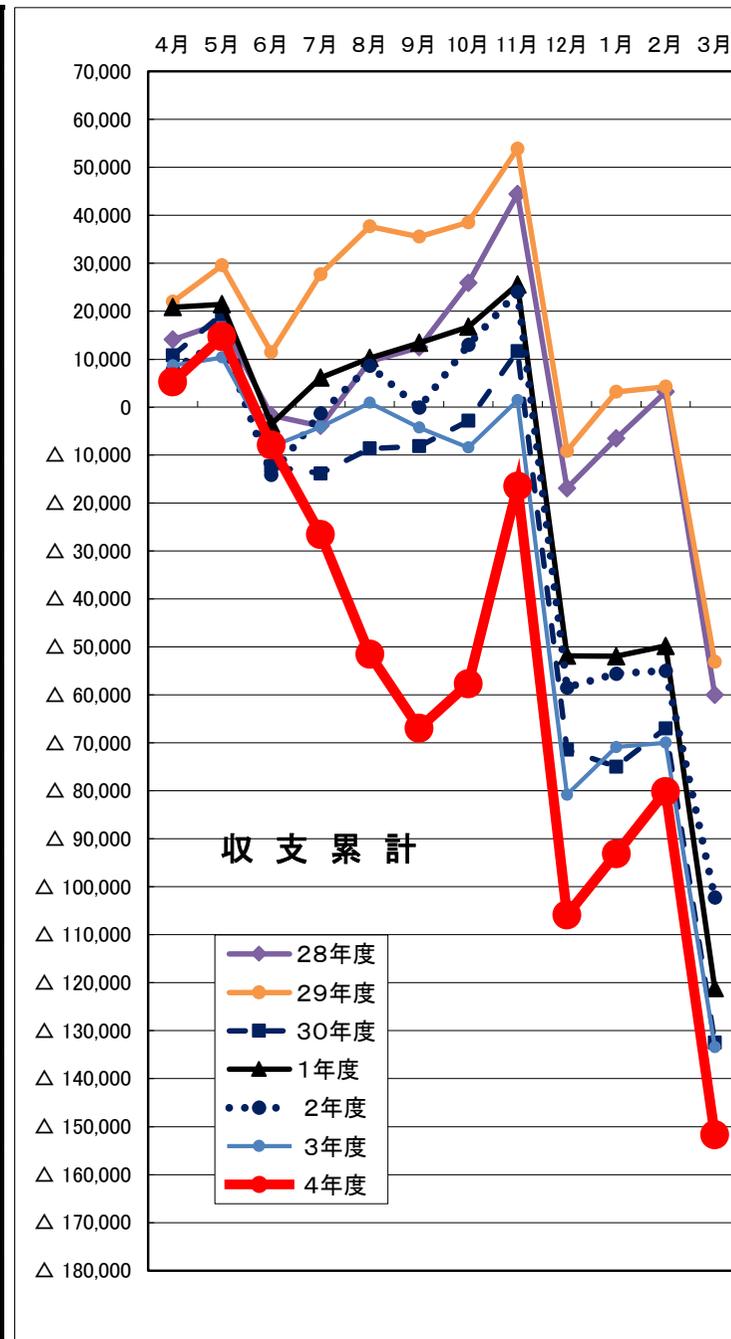
費用	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
4月	86,772	94,659	93,494	102,980	99,764	103,195	104,971	1,776
5月	98,041	103,708	111,053	107,192	106,659	112,818	114,112	1,294
6月	126,735	132,671	137,092	139,737	141,756	151,694	138,872	△ 12,822
7月	100,785	106,785	111,240	114,007	114,186	119,225	121,673	2,448
8月	102,318	105,946	105,871	109,739	110,577	122,503	122,518	15
9月	108,052	112,075	112,167	115,046	121,006	127,519	130,285	2,766
10月	100,436	111,939	114,173	115,329	118,643	116,716	121,314	4,598
11月	105,714	112,520	107,637	113,057	116,984	116,063	118,016	1,953
12月	190,511	190,408	196,015	198,547	212,441	208,288	210,318	2,030
1月	112,935	112,280	116,847	114,467	124,343	119,068	125,418	6,350
2月	110,330	109,367	110,089	108,185	118,880	119,921	120,442	521
3月	191,974	186,571	185,401	192,846	192,621	205,909	207,981	2,072
計	1,434,603	1,478,929	1,501,079	1,531,132	1,577,860	1,622,919	1,635,920	13,001



(収支の推移)

(単位:千円)

収支	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
4月	14,071	21,980	10,753	20,843	7,913	8,705	5,273	△ 3,432
5月	3,526	7,563	8,616	572	6,003	1,644	9,421	7,777
6月	△ 19,323	△ 18,083	△ 31,749	△ 24,946	△ 28,035	△ 18,574	△ 22,603	△ 4,029
7月	△ 2,199	16,257	△ 1,455	9,667	12,823	4,110	△ 18,638	△ 22,748
8月	13,507	9,939	5,199	4,120	9,947	5,033	△ 24,989	△ 30,022
9月	2,895	△ 2,128	461	3,164	△ 8,767	△ 5,198	△ 15,451	△ 10,253
10月	13,415	2,993	5,313	3,303	13,109	△ 4,115	9,304	13,419
11月	18,512	15,368	14,546	8,848	11,032	9,822	41,162	31,340
12月	△ 61,348	△ 63,057	△ 83,129	△ 77,424	△ 82,479	△ 82,217	△ 89,356	△ 7,139
1月	10,405	12,381	△ 3,541	△ 117	2,849	9,921	12,746	2,825
2月	9,754	1,084	7,979	2,182	656	903	12,971	12,068
3月	△ 63,222	△ 57,422	△ 65,492	△ 71,373	△ 47,300	△ 63,429	△ 71,546	△ 8,117
計	△ 60,007	△ 53,125	△ 132,499	△ 121,161	△ 102,249	△ 133,395	△ 151,706	△ 18,311



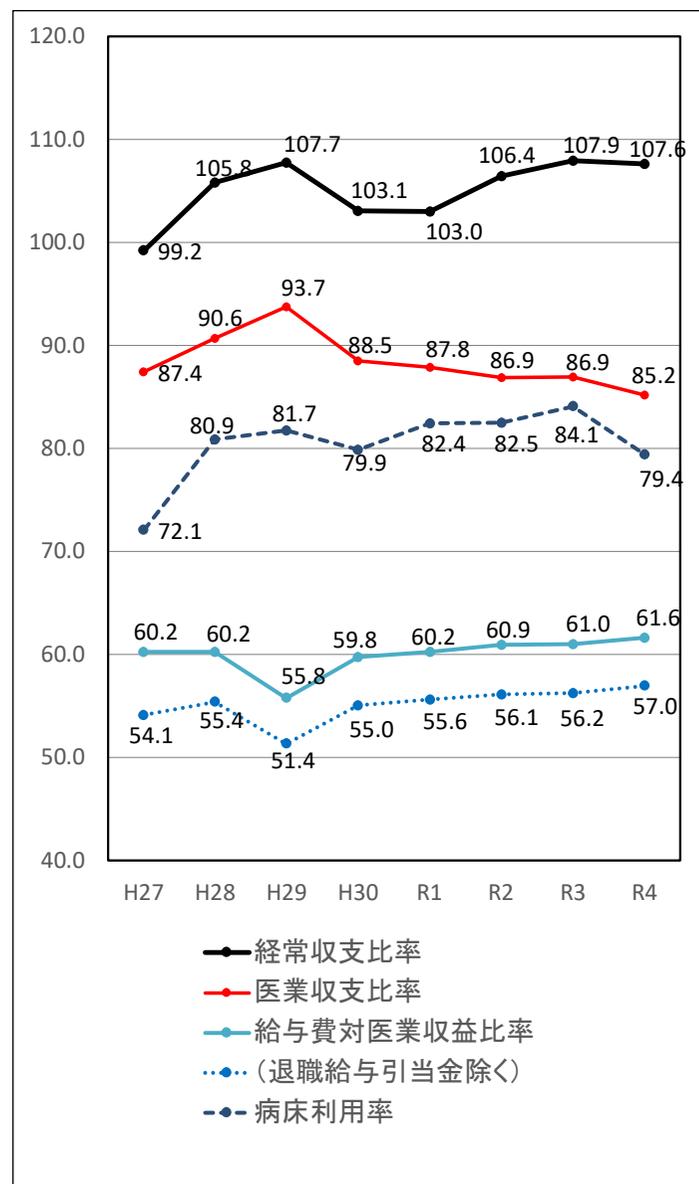
《参考》 コロナ病床空床補助金を加えた場合

△ 96,755    △ 83,034    13,721

## 決算統計数値の推移

項目	決算統計	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
医業収益 (A)	20表(2)	1,376,398	1,457,009	1,531,160	1,468,544	1,512,614	1,530,403	1,577,345	<b>1,576,294</b>
医業外収益 (B)	20表(15)	249,368	315,967	304,097	311,795	336,785	428,707	468,375	<b>499,282</b>
医業費用 (C)	20表(26)	1,574,822	1,607,501	1,633,384	1,659,408	1,722,185	1,761,521	1,815,106	<b>1,850,635</b>
医業外費用 (D)	20表(40)	64,105	68,942	70,080	67,923	73,450	79,143	80,148	<b>78,603</b>
職員給与と費 (E)	20表(27)	828,922	877,403	854,210	877,465	910,817	932,607	962,056	<b>971,418</b>
材料費 (F)	20表(28)	222,190	227,631	254,845	232,134	241,728	261,086	268,014	<b>270,660</b>
うち薬品費 (G)	21表(22)	118,835	151,381	131,251	129,876	136,658	130,778	138,816	<b>133,787</b>
年延入院患者数 (H)	27表(6)	26,122	29,222	29,532	28,863	29,864	29,803	30,385	<b>28,704</b>
うち一般患者数 (I)	27表(1)	26,122	29,222	29,532	28,863	29,864	29,803	30,385	<b>28,704</b>
年延病床数 (J)	27表(12)	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	<b>36,135</b>
うち一般病床数 (K)	27表(7)	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	<b>36,135</b>

項目		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
経常収支比率	$\frac{(A)+(B)}{(C)+(D)}$	99.2	105.8	107.7	103.1	103.0	106.4	107.9	<b>107.6</b>
医業収支比率	$\frac{(A)}{(C)}$	87.4	90.6	93.7	88.5	87.8	86.9	86.9	<b>85.2</b>
職員給与と費対医業収益比率	$\frac{(E)}{(A)}$	60.2	60.2	55.8	59.8	60.2	60.9	61.0	<b>61.6</b>
材料費対医業収益比率	$\frac{(F)}{(A)}$	16.1	15.6	16.6	15.8	16.0	17.1	17.0	<b>17.2</b>
うち薬品費対医業収益比率	$\frac{(G)}{(A)}$	8.6	10.4	8.6	8.8	9.0	8.5	8.8	<b>8.5</b>
病床利用率	$\frac{(H)}{(J)}$	72.1	80.9	81.7	79.9	82.4	82.5	84.1	<b>79.4</b>
うち一般病床	$\frac{(I)}{(K)}$	72.1	80.9	81.7	79.9	82.4	82.5	84.1	<b>79.4</b>



# 令和4年度 外来患者(在宅・診療所含)分析

(単位:人)

収益

(単位:千円)

患者数	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	稼動	平均
4月	3,569	3,503	3,515	3,401	3,458	3,238	3,346	3,239	3,413	3,373	△ 40	20	168.7
5月	3,697	3,531	3,268	3,374	3,355	3,477	3,354	3,084	3,166	3,471	305	19	182.7
6月	3,367	3,556	3,579	3,589	3,640	3,531	3,343	3,518	3,733	3,948	215	22	179.5
7月	3,818	3,759	3,735	3,611	3,634	3,537	3,714	3,627	3,577	3,585	8	20	179.3
8月	3,461	3,418	3,425	3,787	3,627	3,539	3,476	3,359	3,596	3,750	154	21	178.6
9月	3,376	3,587	3,339	3,639	3,406	2,978	3,261	3,384	3,521	3,890	369	20	194.5
10月	3,842	3,998	3,641	3,385	3,513	3,583	3,621	4,178	3,642	3,761	119	20	188.1
11月	4,261	3,893	4,230	4,238	4,303	4,300	4,332	4,309	4,262	4,408	146	20	220.4
12月	4,021	4,158	4,019	4,099	3,889	3,821	4,208	3,892	3,906	4,006	100	20	200.3
1月	3,500	3,616	3,262	3,383	3,162	3,234	3,379	3,091	3,185	3,371	186	19	177.4
2月	3,339	3,177	3,258	3,188	2,915	3,034	3,046	2,991	2,928	3,282	354	19	172.7
3月	3,616	3,619	3,784	3,733	3,510	3,213	3,639	3,783	3,802	4,051	249	22	184.1
計	43,867	43,815	43,055	43,427	42,412	41,485	42,719	42,455	42,731	44,896	2,165	242	185.5

病院	訪問	診療所
31,326	5,811	177
32,301	6,339	144
34,929	6,294	165
34,228	5,067	191
34,331	5,901	164
35,855	6,459	164
35,504	6,433	149
38,021	6,164	171
37,444	5,373	162
33,991	5,074	152
31,239	5,826	131
36,468	6,464	188
415,637	71,205	1,958

(内訳)

(単位:人)

(単位:千円)

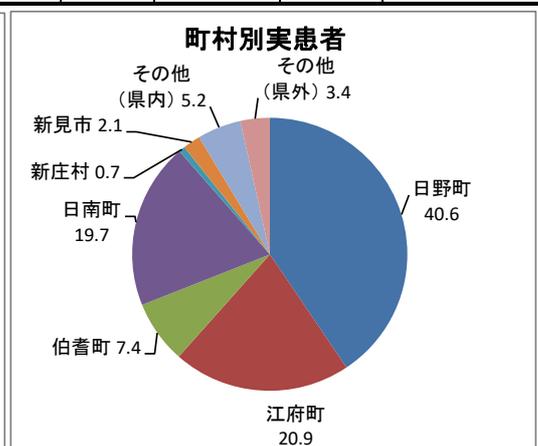
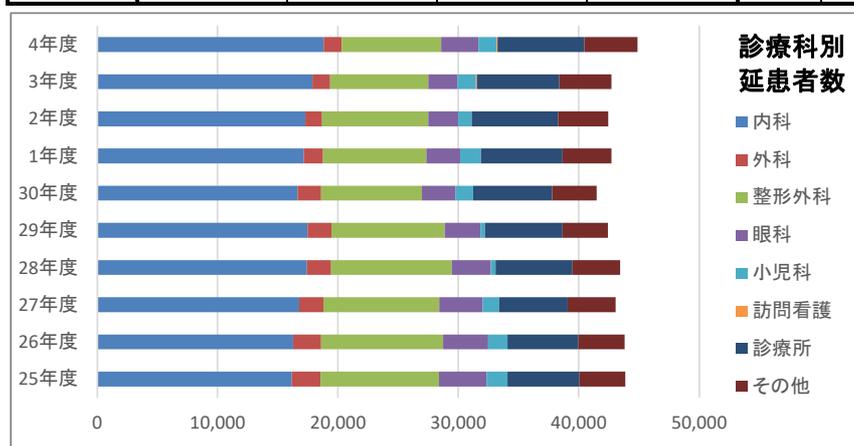
診療科	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	稼動	平均
内科	14,732	14,905	15,372	16,015	15,564	14,950	15,528	15,431	15,697	16,565	868	242	68.5
(内透析)	1,552	1,714	1,804	1,995	1,953	1,917	2,032	2,116	2,144	1,719	△ 425	261	6.6
循環器内科	0	0	0	0	421	484	469	560	871	951	80	92	10.3
消化器内科	683	576	645	743	795	545	486	522	421	454	33	47	9.7
脳神経内科	750	778	767	657	688	678	677	771	885	831	△ 54	47	17.7
外科	2,095	2,063	1,755	1,737	1,710	1,668	1,315	1,125	1,210	1,290	80	240	5.4
整形外科	9,841	10,137	9,630	10,025	9,424	8,378	8,582	8,816	8,174	8,271	97	241	34.3
心臓血管外科	288	270	244	271	274	277	289	277	251	215	△ 36	45	4.8
眼科	3,956	3,742	3,599	3,251	2,947	2,783	2,797	2,490	2,423	3,109	686	234	13.3
耳鼻咽喉科	723	694	730	610	631	560	575	464	472	408	△ 64	49	8.3
泌尿器科	1,420	1,350	1,302	1,442	1,275	1,224	1,488	1,512	1,543	1,512	△ 31	87	17.4
皮膚科	519	747	836	855	826	897	913	980	1,045	1,147	102	49	23.4
女性診療科	191	168	192	220	221	198	222	218	253	210	△ 43	48	4.4
小児科	1,746	1,604	1,363	402	373	1,466	1,744	1,130	1,537	1,476	△ 61	242	6.1
心療内科	753	743	764	777	770	759	798	929	981	1,059	78	50	21.2
アレルギー科	132	74	93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	80	101	21	23	4.4
訪問看護・リハ	5,309	5,345	5,182	5,869	5,994	6,114	6,323	6,728	6,364	6,805	441	242	28.1
黒坂診療所	649	550	534	512	462	446	448	429	462	393	△ 69	96	4.1
二部診療所	80	69	47	41	37	58	65	73	62	99	37	50	2.0
計	43,867	43,815	43,055	43,427	42,412	41,485	42,719	42,455	42,731	44,896	2,165	-	-

収益	診療単価	備考
249,965	15,090	月～金
44,372	25,813	月～金
8,470	8,906	月・木
5,507	12,130	水
5,033	6,057	木
29,704	23,026	月～金
55,773	6,743	月～金
1,159	5,391	第1～4火
17,324	5,572	月～金
2,111	5,174	木
14,985	9,911	水・木
2,798	2,439	火
1,142	5,438	火
16,375	11,094	月～金
4,730	4,466	金
0	-	
561	5,554	第1-3月
71,205	10,464	随時
1,520	3,868	火・木
438	4,424	水
488,800	10,887	

(内訳)

(単位:人・%)

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町(小計)	日南町	新庄村	新見市	その他(県内)	その他(県外)	合計
実患者数*	1,897	979	347	3,223	919	35	96	242	160	4,675
割合(%)	40.6	20.9	7.4	68.9	19.7	0.7	2.1	5.2	3.4	100.0
(R3実患者数)	1,951	1,023	352	3,326	977	45	126	240	164	4,878
割合(%)	40.3	20.8	6.6	68.2	20.0	0.9	2.6	4.9	3.4	100.0



# 令和4年度 入院患者分析

(単位:人)

患者数	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	稼働	平均	稼働率 (%)	入院収益
4月	1,953	1,975	2,106	2,283	2,438	2,423	2,651	2,187	2,292	2,302	10	30	76.7	77.5	69,631
5月	2,158	1,743	2,045	2,173	2,344	2,583	2,444	2,367	2,354	2,681	327	31	86.5	87.4	79,366
6月	1,856	1,843	1,848	2,190	2,295	2,197	2,603	2,414	2,754	2,242	△ 512	30	74.7	75.5	68,444
7月	2,318	1,943	2,052	2,079	2,572	2,223	2,610	2,494	2,599	2,356	△ 243	31	76.0	76.8	59,737
8月	2,234	2,016	2,211	2,302	2,384	2,369	2,324	2,539	2,314	2,213	△ 101	31	71.4	72.1	53,033
9月	2,425	2,108	2,128	2,374	2,110	2,479	2,564	2,272	2,351	2,220	△ 131	30	74.0	74.7	66,086
10月	2,362	2,179	2,246	2,534	2,236	2,476	2,430	2,460	2,147	2,438	291	31	78.6	79.4	81,063
11月	2,093	2,024	2,037	2,638	2,536	2,500	2,500	2,403	2,507	2,306	△ 201	30	76.9	77.6	103,198
12月	2,079	2,312	2,290	2,751	2,684	2,305	2,489	2,643	2,805	2,502	△ 303	31	80.7	81.5	71,786
1月	2,220	2,517	2,310	2,736	2,805	2,445	2,436	2,756	2,825	2,506	△ 319	31	80.8	81.7	94,271
2月	1,864	2,207	2,198	2,521	2,420	2,460	2,400	2,488	2,723	2,416	△ 307	28	86.3	87.2	90,623
3月	2,127	2,506	2,651	2,641	2,708	2,403	2,413	2,780	2,714	2,522	△ 192	31	81.4	82.2	85,076
計	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	29,864	29,803	30,385	28,704	△ 1,681	365	78.6	79.4	922,314

(内訳)

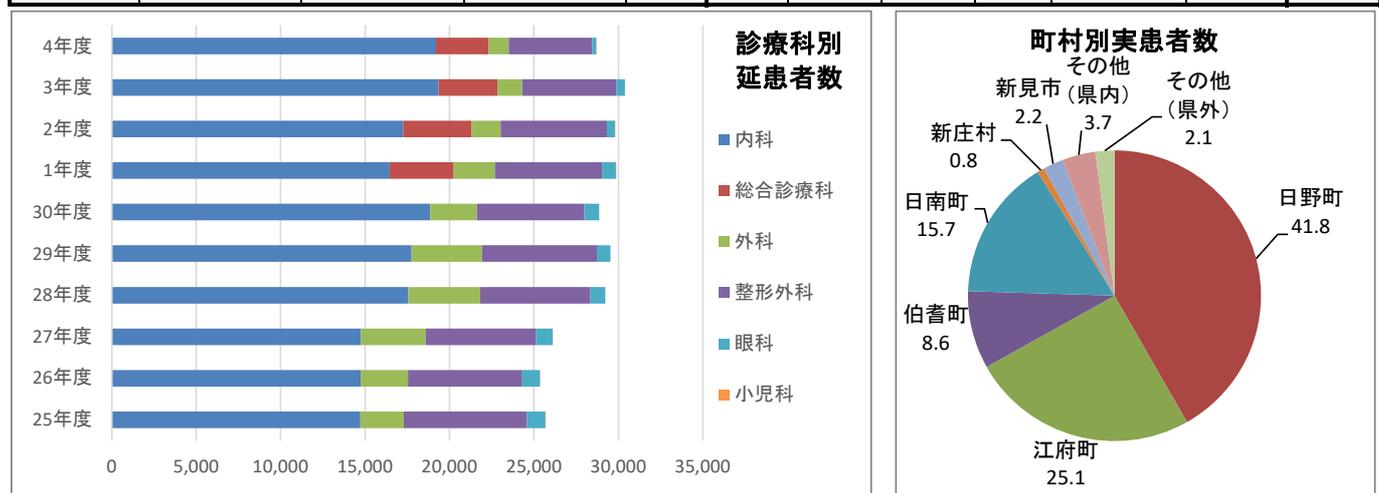
(単位:人) (単位:千円)

診療科	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	稼働	平均	収益 (千円)	単価 (円)
内科	14,726	14,746	14,771	17,569	17,762	18,865	16,461	17,252	19,351	19,194	△ 157	365	52.6	567,881	29,586
総合診療科	0	0	0	0	0	0	3,790	4,044	3,509	3,139	△ 370	365	8.6	91,849	29,261
外科	2,578	2,800	3,819	4,251	4,171	2,751	2,443	1,728	1,456	1,177	△ 279	365	3.2	57,139	48,546
整形外科	7,293	6,772	6,523	6,523	6,805	6,380	6,349	6,306	5,575	4,944	△ 631	365	13.5	188,611	38,149
眼科	1,089	1,036	1,009	879	794	867	819	471	494	248	△ 246	365	0.7	16,752	67,548
小児科	3	19	0	0	0	0	2	2	0	2	2	365	0.0	82	-
計	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	29,864	29,803	30,385	28,704	△ 1,681	365	78.6	922,314	32,132
平均患者数	70.4	69.5	71.4	80.1	80.9	79.1	81.6	81.7	83.2	78.6					
稼働率	71.1	70.2	72.1	80.9	81.7	79.9	82.4	82.5	84.1	79.4	(一般病床99床)				

(内訳)

(単位:人・%)

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町 (小計)	日南町	新庄村	新見市	その他 (県内)	その他 (県外)	構成町以外 (小計)	合計
実患者数*	261	157	54	472	98	5	14	23	13	153	625
割合 (%)	41.8	25.1	8.6	75.5	15.7	0.8	2.2	3.7	2.1	24.5	100.0
(R3実患者数)	269	185	55	509	103	8	26	41	25	203	712
割合 (%)	37.8	26.0	7.7	71.5	14.5	1.1	3.7	5.8	3.5	28.5	100.0



## 材 料 費 ・ 経 費 ・ 委 託 費 比 較 表

(材料費)

(単位:円)

項目	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	備 考
材料費支払額	79,355,322	98,800,535	87,520,371	85,406,546	105,530,999	96,413,157	90,566,446	△ 5,846,711	手術等に係る高額材料使用量の減
医薬品	163,531,450	172,364,134	161,101,116	174,085,413	174,179,992	192,940,729	202,626,289	9,685,560	薬局薬剤△5,928千円(入院患者数の減に伴う減等)、検査薬剤+15,614千円(PCR検査試薬等の増)
その他	2,939,012	3,704,813	2,909,706	3,156,194	7,483,859	5,451,768	4,524,445	△ 927,323	医療消耗備品費4,241千円・給食材料費284千円 新型コロナウイルス感染症に対応する医療消耗備品の減(対前年度)
支払金額	245,825,784	274,869,482	251,531,193	262,648,153	287,194,850	294,805,654	297,717,180	2,911,526	

(経費)

(単位:円)

項目	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	備 考
厚生福利費	2,175,660	2,303,977	2,728,623	2,740,941	2,465,391	2,660,220	2,550,940	△ 109,280	
交際費	954,143	981,142	985,583	774,096	755,406	981,328	825,985	△ 155,343	
旅費交通費	226,946	119,625	187,570	183,520	1,025,522	1,166,246	1,590,824	424,578	パートタイム会計年度任用職員に係る通勤手当の増
職員被服費	4,719,422	5,783,188	5,657,297	5,566,158	5,464,663	5,198,283	5,933,444	735,161	医師用ユニフォーム購入、洗濯数等の増
消耗品費	7,658,656	9,586,102	9,132,385	9,044,043	9,549,473	9,124,374	9,347,450	223,076	新型コロナウイルス感染症に対応する消耗品の追加購入等
消耗備品費	645,254	954,858	977,763	1,063,504	1,585,185	1,194,231	1,723,511	529,280	新型コロナウイルス感染症に対応する消耗備品の追加購入等
光熱水費	36,558,577	40,534,378	42,403,380	40,690,890	37,771,976	45,298,594	58,806,648	13,508,054	燃料費高騰に伴う電気料金の増、灯油・ガス単価の増による
燃料費	1,376,431	1,384,242	1,497,283	1,402,718	1,271,014	1,513,181	1,364,667	△ 148,514	医師送迎の減
食糧費	10,098	6,576	8,640	2,541	0	3,795	7,914	4,119	
印刷製本費	1,017,630	1,008,288	858,276	883,450	870,210	868,670	892,210	23,540	
修繕費	15,619,403	9,217,657	7,876,161	9,112,799	10,754,810	9,805,782	8,969,347	△ 836,435	医療機器、施設修繕費の減
保険料	2,733,125	2,743,768	2,792,924	2,799,444	2,804,269	1,472,678	2,935,147	1,462,469	病院賠償保険の保険期間が変更(2月～1月を5月～4月に変更)となったことにより、前年度は3か月分(2月分～4月分)の期間の支払いであったため増加。
賃借料	18,665,158	15,994,352	15,802,026	14,908,023	16,668,056	18,086,808	18,405,002	318,194	在宅酸素、睡眠時無呼吸治療機器レンタルの増
通信運搬費	3,026,087	3,014,625	2,900,482	2,993,820	3,470,644	3,746,233	3,984,330	238,097	通話量等の増
諸会費	1,056,770	1,105,440	1,135,112	1,211,582	1,084,864	1,126,777	1,212,259	85,482	
貸倒引当金繰入額	0	0	0	653,000	360,000	319,000	168,000	△ 151,000	
雑費	1,669,454	1,689,623	1,617,347	1,257,378	2,234,930	1,933,298	1,511,944	△ 421,354	新聞広告代等の減
支払金額	98,112,814	96,427,841	96,560,852	95,287,907	98,136,413	104,499,498	120,229,622	15,730,124	

(委託費)

(単位:円)

項目	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	備考
検査委託費(支払実績)	12,059,221	12,350,248	11,894,725	14,072,591	14,574,749	17,483,929	18,247,305	763,376	検査件数の増による
寝具単価	3,991,550	4,068,478	4,230,138	4,668,703	4,195,565	4,649,852	4,973,396	323,544	使用数の増
病衣単価	1,378,674	1,098,144	1,101,060	1,684,236	2,160,672	0	0	0	CSセット導入により
給食(委託費)	33,696,000	33,696,000	33,696,000	34,008,000	35,640,000	35,640,000	35,640,000	0	⑰月額 3,266,550円・⑱月額 2,730,000円・㉔月額2,600,000円(税抜)・⑳月額 2,700,000円(税抜)
給食(材料費)	15,863,466	16,323,682	16,112,089	16,806,245	15,736,428	15,982,569	15,230,534	△ 752,035	食事提供数等の減
自動分析装置	1,188,000	1,188,000	1,358,640	1,199,000	1,280,400	1,482,800	1,387,100	△ 95,700	⑰～年額 400,000円・㉑～月額99,000円(税込)・⑲年額1,199,000円(税込)・㉒年額 1,280,400円(税込) スポット点検106,700円
MR保守料	8,203,680	8,203,680	8,203,680	8,240,400	8,316,000	8,316,000	8,316,000	0	⑰月額 638,750円・⑱～月額 612,500円・㉔～月額683,640円(税込)・⑲4月～月額 680,400円、10月～月額693,000円(税込)
CT・DRテレビ保守料	7,934,760	7,663,680	7,393,680	8,885,010	10,520,400	10,893,300	4,088,700	△ 6,804,600	CT・X線管球保守料1,980,000円、デジタルジオグラフィ1,980,000円、医療画像処理ステーション396,000円(R3年度CT更新に伴う保守料の減)
富士FCRシステム保守	1,681,560	1,681,560	1,681,560	0	0	0	0	0	サポート期間終了
消防用設備点検	426,600	426,600	426,600	430,550	434,500	434,500	434,500	0	⑰年額472,500円・⑱⑲年額438,900円・㉑～年額税抜395,000円
空気調和設備保守	2,592,000	2,592,000	2,592,000	2,616,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	0	年4回実施 1回当たり ⑰～682,500円・㉑～600,000円(税抜)複数年契約により減
透析浸透水処理定期点検他	2,775,856	674,136	4,087,308	676,512	1,589,720	975,700	2,401,300	1,425,600	2年に1回オーバーホールあり(メンテナンス時の交換部品により金額変動)
日立人工透析排水維持管理	432,000	432,000	782,352	436,000	440,000	440,000	440,000	0	16年度から保守(年4回実施) ⑰～100,000円(税抜) H30年度は不具合箇所の部品交換を実施(350,352円)
三菱昇降機保守	2,021,760	2,021,760	2,021,760	2,040,480	2,059,200	2,059,200	2,059,200	0	⑰～月額 156,000円(税抜)
自動ドア保守	810,000	810,000	810,000	815,000	825,000	825,000	825,000	0	⑰年額 878,850円・⑱～年額 808,500円・㉔～年額 750,000円(税抜)
カーテン保守	401,112	401,112	427,127	433,470	437,448	437,448	437,448	0	
電気保安協会業務	697,031	697,031	697,031	703,485	709,940	709,940	709,940	0	基本料 645,400円(税抜)
清掃、洗濯委託料	12,694,320	12,694,320	12,694,320	12,811,860	12,276,000	12,929,400	12,929,400	0	⑰～月額 1,047,480円・⑱～月額 1,045,800円(長期契約による減) ㉔～月額 979,500円(税抜) ⑳コロナの影響でワックス清掃を行わなかったため△594,000円(税抜)
特別清掃	1,406,160	1,406,160	1,406,160	1,430,000	1,432,200	775,500	781,000	5,500	今年度、昨年度ともコロナの影響により一部業務を行わなかった(それぞれ異なる業務を行わなかった)

医療廃棄物処理	4,113,720	4,328,640	4,444,740	4,617,900	4,897,750	6,015,900	10,443,400	4,427,500	新型コロナウイルス感染症入院患者受入人数の増、クラスター発生等による感染性廃棄物排出量の増
医療ガス設備保守	981,396	967,680	947,376	1,002,574	1,027,240	988,130	979,880	△ 8,250	ボンベ検査実施件数の減
玄関マット	205,932	205,932	226,668	310,776	327,456	327,456	356,220	28,764	月額 23,760円(税抜)・②月額 24,808円(税抜)・④月額 26,986円(税抜)
コピー機積算カウンター料金	474,111	507,738	580,556	708,546	519,184	649,861	619,172	△ 30,689	使用量で金額変動
生ゴミ処理機保守	103,680	103,680	103,680	104,640	35,200	0	0	0	①～月額 226,800円・22年度器械入替(月額8,400円×4ヶ月)・④～月額8,000円(税別)・②8月で廃棄
除雪	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	590,000	630,000	40,000	月額 157,500円(税込)
特殊建築物定期調査	230,040	0	140,400	289,300	55,000	0	289,300	289,300	建物全体の調査の年(3年に1回)
電子カルテ等情報システム保守	4,231,711	5,269,488	8,469,529	10,252,678	11,041,782	12,126,972	12,182,742	55,770	
病院警備委託料	6,053,688	6,053,688	7,713,636	7,785,054	7,856,472	7,856,472	8,020,884	164,412	②⑤～月額467,106円 ③⑥～月額595,188円(税抜)④～月額607,643円(税抜)
薬剤共同購入委託費	0	0	0	0	0	2,243,765	4,105,722	1,861,957	薬剤購入金額の3%(前年度10月から導入)
人事給与管理システム	336,960	336,960	444,960	340,080	343,200	343,200	563,200	220,000	
手術室環境モニタリング	637,200	693,360	637,200	649,000	649,000	649,000	649,000	0	
おしどりネット保守料	0	0	0	0	720,000	720,000	720,000	0	
非常勤医師等委託料	0	0	0	0	167,795,154	158,995,751	141,544,258	△ 17,451,493	整形外科手術件数の減、眼科医師交代に伴う派遣医師の減等による
遠隔画像診断支援業務	7,848,630	9,939,780	9,771,948	10,898,900	12,266,980	13,059,420	12,139,930	△ 919,490	検査件数の減に伴う減
その他	3,874,664	4,764,258	4,762,036	2,221,723	2,845,352	6,319,826	3,410,525	△ 2,909,301	白内障手術装置保守ー1,056,000円、レントゲン機器廃棄委託ー500,500円、眼科システム導入支援ー440,000円、除細動器スポット点検ー372,240円、ポンプ類点検ー253,000円、看護診断ライセンス料ー187,000円等による。
支払金額	139,895,482	142,149,795	150,408,959	151,688,713	326,197,992	327,560,891	308,195,056	△ 19,365,835	

# 人件費比較表

(単位:千円)

項目		28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引	備考
給料	医師	33,812	27,712	31,816	38,029	35,362	37,409	40,789	3,380	医師の異動による増
	看護師	163,957	170,670	167,994	172,628	175,569	180,138	168,443	△ 11,695	職員の退職等による
	准看護師	25,452	25,196	22,024	22,225	16,559	12,857	12,948	91	
	医療技術員	85,411	77,411	82,071	77,285	83,670	84,387	94,916	10,529	職員(臨床検査技師、臨床工学技士)の増員による
	事務員	46,784	37,919	43,029	39,352	42,803	44,111	40,352	△ 3,759	職員の退職による
	労務員	9,637	9,733	9,807	9,861	9,301	9,336	9,360	24	
	小計	365,053	348,641	356,741	359,380	363,264	368,238	366,808	△ 1,430	
フルタイム会計	看護師	0	0	0	0	20,357	20,541	19,863	△ 678	
	准看護師	0	0	0	0	7,780	5,659	2,243	△ 3,416	職員の減による
	医療技術員	0	0	0	0	2,952	2,952	4,790	1,838	薬剤師の増等による
	事務員	0	0	0	0	19,993	22,530	25,848	3,318	正職員の退職に係る補充等による増
	労務員	0	0	0	0	8,417	11,906	13,243	1,337	ケアワーカーの増員による
	小計	0	0	0	0	59,499	63,588	65,987	2,399	
賃金	嘱託医師	8,901	8,901	27,980	20,539	0	0	0	0	制度改正による科目変更により皆減(R2~)
	非常勤医師	119,454	147,578	139,272	136,567	0	0	0	0	"
	看護師	6,131	8,022	16,465	32,209	0	0	0	0	"
	准看護師	19,279	14,792	18,005	16,855	0	0	0	0	"
	医療技術員	4,830	14,036	9,577	9,715	0	0	0	0	"
	事務員	19,566	24,674	24,417	25,904	0	0	0	0	"
	労務員	17,300	17,773	16,473	14,862	0	0	0	0	"
小計	195,461	235,776	252,189	256,651	0	0	0	0		
手当(正職員)	扶養手当	6,683	6,912	7,051	6,836	7,442	7,195	7,656	461	
	地域手当	6,316	5,209	5,785	6,746	6,355	6,662	7,149	487	
	管理職手当	7,426	7,106	6,883	5,853	5,647	5,880	5,855	△ 25	
	住居手当	4,411	3,627	3,167	4,225	4,947	5,202	6,254	1,052	
	通勤手当	11,199	10,761	10,669	12,060	12,424	13,849	13,522	△ 327	
	初任給調整手当	22,019	17,426	19,323	23,376	20,325	22,428	18,480	△ 3,948	医師の異動による減
	医療業務手当	7,140	6,780	7,220	8,100	7,605	8,100	8,155	55	
	放射線取扱手当	252	161	182	168	238	252	210	△ 42	
	時間外勤務手当	23,212	23,755	24,810	20,814	20,408	20,520	21,643	1,123	
	日当直手当	4,578	4,042	3,253	3,376	3,100	3,241	3,718	477	
	管理職特別手当	2,272	1,952	1,811	1,861	2,084	2,244	2,130	△ 114	
	夜間看護手当	9,778	10,370	9,602	10,899	10,541	11,322	11,936	614	
	夜間勤務手当	3,417	3,608	3,325	3,372	3,057	3,200	3,291	91	
	待機手当	292	292	292	534	662	617	638	21	
	防疫等業務手当	0	0	0	0	237	1,823	6,117	4,294	新型コロナウイルス入院患者等の対応に係る増
	児童(子供)手当	3,330	3,250	2,785	3,455	4,090	4,010	4,745	735	
	期末手当	58,554	54,156	56,166	56,188	54,094	54,514	45,064	△ 9,450	
	勤勉手当	37,242	35,254	37,397	40,323	38,996	39,301	41,938	2,637	人事院勧告の給与改定による増
	救急医療機関勤務臨時	0	0	0	0	0	0	4,451	4,451	看護職員処遇改善に係る手当(R4新設)
賞与引当金繰入額	55,620	54,745	56,854	61,415	63,534	63,888	59,563	△ 4,325		
小計	263,741	249,406	256,575	269,601	265,786	274,248	272,515	△ 1,733		
(会計年度任用職員) 手当	通勤手当	0	0	0	0	1,954	1,980	2,150	170	
	時間外勤務手当	0	0	0	0	2,491	2,595	2,851	256	
	日当直手当	0	0	0	0	707	589	441	△ 148	
	夜間看護手当	0	0	0	0	672	737	540	△ 197	
	夜間勤務手当	0	0	0	0	182	200	148	△ 52	
	待機手当	0	0	0	0	2	0	0	0	
	期末手当	0	0	0	0	8,322	9,321	8,533	△ 788	
	防疫等業務手当	0	0	0	0	6	468	1,158	690	新型コロナウイルス入院患者等の対応に係る増
救急医療機関勤務臨時	0	0	0	0	0	0	1,138	1,138	看護職員処遇改善に係る手当(R4新設)	
小計	0	0	0	0	14,336	15,890	16,959	1,069		
パートタイム会計	医師	0	0	0	0	17,717	18,050	21,141	3,091	
	看護師	0	0	0	0	1,631	1,935	4,042	2,107	
	准看護師	0	0	0	0	4,350	4,911	6,031	1,120	
	医療技術員	0	0	0	0	2,071	2,178	4,516	2,338	
	事務員	0	0	0	0	5,638	5,681	5,378	△ 303	
	労務員	0	0	0	0	514	1,544	1,935	391	
	小計	0	0	0	0	31,921	34,299	43,043	8,744	
法定福利費	共済負担金	102,791	101,214	103,553	105,120	105,531	122,156	124,008	1,852	
	共済追加費用	7,191	8,679	8,459	7,363	7,396	7,867	6,593	△ 1,274	
	社会保険料	8,758	10,272	13,460	15,503	13,841	4,294	6,011	1,717	
	公務災害負担金	864	801	744	726	732	743	740	△ 3	
	労災保険料	1,489	1,331	1,536	1,489	1,595	942	1,390	448	
	小計	121,093	122,297	127,752	130,201	129,095	136,002	138,742	2,740	
退職給付	退職給付引当金(通常)	51,107	48,810	49,944	50,313	55,007	56,024	54,397	△ 1,627	
	退職給付引当金(追加)	19,094	19,094	19,094	19,094	19,094	19,094	19,094	0	
	小計	70,201	67,904	69,038	69,407	74,101	75,118	73,491	△ 1,627	
給与費計(A)		1,015,549	1,024,024	1,062,295	1,085,240	938,002	967,383	977,545	10,162	
《参考》										
で委託支出費	非常勤医師	0	0	0	0	165,893	157,305	139,868	△ 17,437	
	非常勤医療技術員	0	0	0	0	1,902	1,691	1,676	△ 15	
	計(B)	0	0	0	0	167,795	158,996	141,544	△ 17,452	
合計(A)+(B)		1,015,549	1,024,024	1,062,295	1,085,240	1,105,797	1,126,379	1,119,089	△ 7,290	

## 人件費比較表（職員数）

### 年間延人数

項目		29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
正職員 (再任用職員含)	医師	60	68	84	77	84	85	1.0
	看護師	582	579	634	643	655	637	△ 18.0
	准看護師	84	72	72	57	48	48	0.0
	医療技術員	311	321	320	324	316	347	31.0
	事務員	144	156	144	168	161	144	△ 17.0
	労務員	36	36	36	36	36	36	0.0
小計		1,217	1,232	1,290	1,305	1,300	1,297	△ 3.0
非常勤職員	医師	12	36	27	24	24	24	0.0
	非常勤医師	666	703	675	713	728	694	△ 34.0
	看護師	42	68	111	96	107	116	9.0
	准看護師	64	77	72	72	66	61	△ 5.0
	医療技術員	59	47	44	75	77	87	10.0
	事務員	170	160	158	156	172	186	14.0
	労務員	111	86	73	52	77	84	7.0
小計		1,124	1,177	1,160	1,188	1,251	1,252	1.0
計		2,341	2,409	2,450	2,493	2,551	2,549	△ 2.0

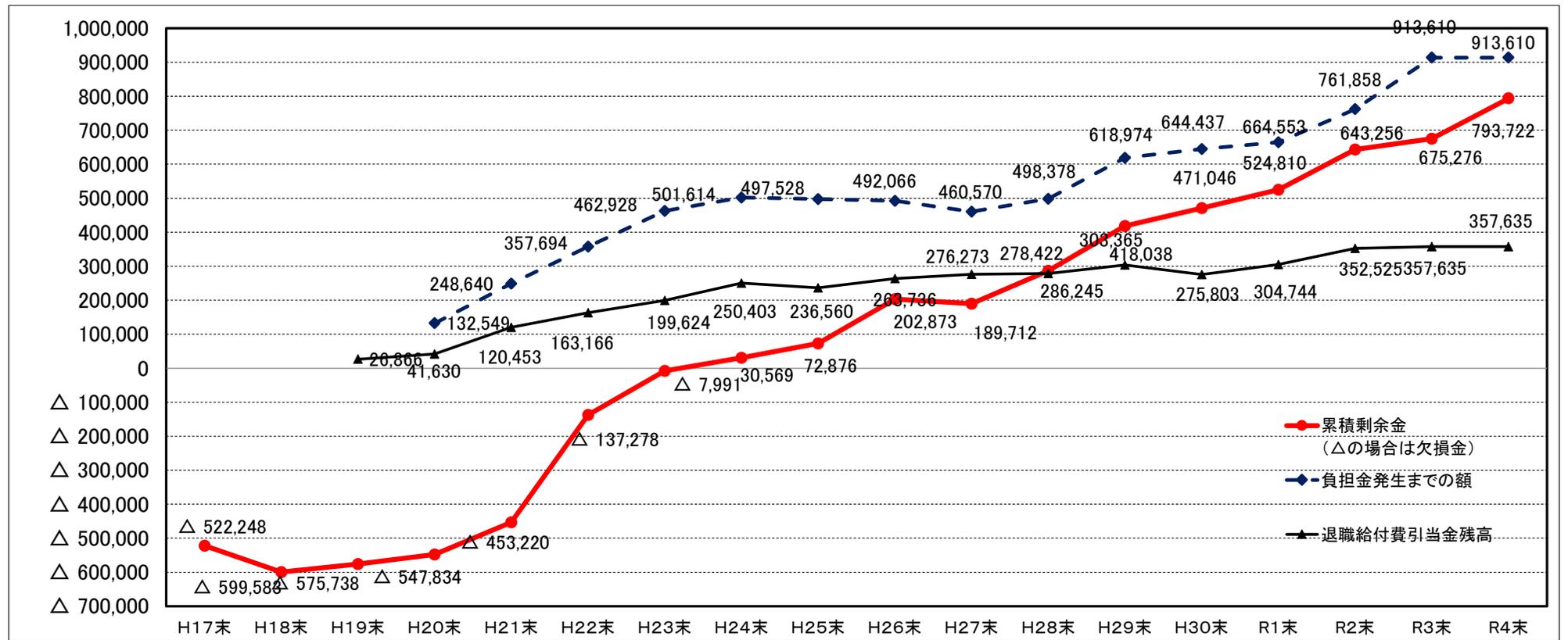
### 1月あたり人数

項目		29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
正職員 (再任用職員含)	医師	5.0	5.7	7.0	6.4	7.0	7.1	0.1
	看護師	48.5	48.3	52.8	53.6	54.6	53.1	△ 1.5
	准看護師	7.0	6.0	6.0	4.8	4.0	4.0	0.0
	医療技術員	25.9	26.8	26.7	27.0	26.3	28.9	2.6
	事務員	12.0	13.0	12.0	14.0	13.4	12.0	△ 1.4
	労務員	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0
小計		101.4	102.7	107.5	108.8	108.3	108.1	△ 0.3
非常勤職員	医師	1.0	3.0	2.3	2.0	2.0	2.0	0.0
	非常勤医師	55.5	58.6	56.3	59.4	60.7	57.8	△ 2.9
	看護師	3.5	5.7	9.3	8.0	8.9	9.7	0.8
	准看護師	5.3	6.4	6.0	6.0	5.5	5.1	△ 0.4
	医療技術員	4.9	3.9	3.7	6.3	6.4	7.3	0.9
	事務員	14.2	13.3	13.2	13.0	14.3	15.5	1.2
	労務員	9.3	7.2	6.1	4.3	6.4	7.0	0.6
小計		93.7	98.1	96.7	99.0	104.3	104.3	0.0
計		195.1	200.8	204.2	207.8	212.6	212.4	△ 0.2

### 累積剰余金及び負担金発生までの額の推移

(単位:千円)

年 度	H17末	H18末	H19末	H20末	H21末	H22末	H23末	H24末	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末	R1末	R2末	R3末	R4末
病院事業等決算額	△ 101,930	△ 77,335	23,845	27,904	94,614	108,361	129,287	38,560	42,306	7,392	△ 13,161	96,533	131,793	53,008	53,764	118,446	150,466	<b>150,466</b>
端数調整及び 資本剰余金取り崩し額	0	0	0	0	0	207,581	0	0	0	122,605	0	0	0	0	0	0	0	<b>0</b>
累 積 剰 余 金 (△の場合は欠損金)	△ 522,248	△ 599,583	△ 575,738	△ 547,834	△ 453,220	△ 137,278	△ 7,991	30,569	72,876	202,873	189,712	286,245	418,038	471,046	524,810	643,256	675,276	<b>793,722</b>
負担金発生までの額	単年度資金収支による追加負担金			132,549	248,640	357,694	462,928	501,614	497,528	492,066	460,570	498,378	618,974	644,437	664,553	761,858	913,610	<b>913,610</b>
退職給付費引当金残高	単年度の支出による		26,866	41,630	120,453	163,166	199,624	250,403	236,560	263,736	276,273	278,422	303,365	275,803	304,744	352,525	357,635	<b>357,635</b>



## 施設・設備等整備状況

## 施設・設備等整備状況

### 施設

工事内容	契約金額	契約年月日	契約先
日野病院名誉病院長室設置工事	3,300,000 円 (内消費税 300,000円)	令和4年4月15日	(株)フィディア
日野病院3階詰所、HCU系統空調機更新工事	5,258,000 円 (内消費税 478,000円)	令和4年5月24日	三和商事(株)
日野病院圧縮空気供給設備更新工事	4,620,000 円 (内消費税 420,000円)	令和4年6月20日	山陰酸素工業(株)
日野病院手術室無線LAN環境整備工事	407,000 円 (内消費税 37,000円)	令和4年7月8日	(株)ケイズ
日野病院225号室空調機更新工事	429,000 円 (内消費税 39,000円)	令和4年9月7日	三和商事(株)
日野病院コンプレッサー供給設備更新工事	3,850,000 円 (内消費税 350,000円)	令和4年10月11日	三和商事(株)

### 設備

購入物品名	契約金額	契約年月日	契約の相手方
医療用音声入力システム	242,000 円 (内消費税 22,000円)	令和4年4月6日	(株)アドバンス・メディア
公用車2台	2,115,680 円 (内消費税 180,592円)	令和4年4月18日	合同会社江府自動車
電子カルテ端末2台	869,000 円 (内消費税 79,000円)	令和4年4月27日	(株)ケイズ
はめ込み型保冷庫	2,970,000 円 (内消費税 270,000円)	令和4年5月23日	小西医療器(株)
X線骨密度測定装置	7,821,000 円 (内消費税 711,000円)	令和4年5月23日	宮野医療器(株)
眼科患者用自動昇降付き診察用椅子	198,000 円 (内消費税 18,000円)	令和4年6月2日	小西医療器(株)
ノートPC	162,140 円 (内消費税 14,740円)	令和4年6月6日	オフィスオートメーションシステム(株)
個人用透析用水作製装置	1,617,000 円 (内消費税 147,000円)	令和4年6月14日	(株)ピー・エム・エス
婦人科用検診台	1,483,900 円 (内消費税 134,900円)	令和4年6月29日	小西医療器(株)
デジタルスケール付電動ベッド2台	1,892,000 円 (内消費税 172,000円)	令和4年7月8日	(株)ピー・エム・エス
高周波焼灼電源装置及び超音波凝固切開装置	2,860,000 円 (内消費税 260,000円)	令和4年8月1日	小西医療器(株)
ビデオ喉頭鏡	297,000 円 (内消費税 27,000円)	令和4年8月1日	村中医療器(株)
シリンジポンプ2台	352,000 円 (内消費税 32,000円)	令和4年8月1日	村中医療器(株)
エアマット3台	396,000 円 (内消費税 36,000円)	令和4年8月1日	村中医療器(株)
テレメータ送信機	495,000 円 (内消費税 45,000円)	令和4年8月1日	村中医療器(株)
手術室モニターシステム	3,520,000 円 (内消費税 320,000円)	令和4年8月17日	村中医療器(株)

電動ベッド7台	3,190,000 円 (内消費税 290,000円)	令和4年8月17日	村中医療器(株)
医師住宅エアコン	308,000 円 (内消費税 28,000円)	令和4年9月26日	三和商事(株)
タニケットシステム	1,375,000 円 (内消費税 125,000円)	令和4年10月11日	村中医療器(株)
自動尿分析装置	726,000 円 (内消費税 66,000円)	令和4年10月11日	ティーエスアルフレッサ(株)
卓上遠心機	416,900 円 (内消費税 37,900円)	令和4年10月11日	ティーエスアルフレッサ(株)
エアマット	137,500 円 (内消費税 12,500円)	令和4年11月18日	村中医療器(株)
ノートPC	185,438 円 (内消費税 16,858円)	令和4年12月26日	オフィスオートメーションシステム(株)
ベッドパンウォッシャー	2,145,000 円 (内消費税 195,000円)	令和5年1月6日	宮野医療器(株)
ベッドサイドモニタ2式	3,520,000 円 (内消費税 320,000円)	令和5年1月6日	村中医療器(株)
テレメータ送信機2式	990,000 円 (内消費税 90,000円)	令和5年1月6日	村中医療器(株)
食器消毒保管庫	1,342,000 円 (内消費税 122,000円)	令和5年1月6日	(有)エフエスエーシステムズ
全自動血液凝固測定装置	2,530,000 円 (内消費税 230,000円)	令和5年1月18日	ティーエスアルフレッサ(株)
眼底カメラ	1,870,000 円 (内消費税 170,000円)	令和5年1月18日	(株)エバルス
生化学自動分析装置	13,750,000 円 (内消費税 1,250,000円)	令和5年1月18日	ティーエスアルフレッサ(株)
大腸ビデオスコープ	3,630,000 円 (内消費税 330,000円)	令和5年1月18日	ティーエスアルフレッサ(株)
一般X線撮影間接型FPD装置	7,810,000 円 (内消費税 710,000円)	令和5年1月18日	宮野医療器(株)
血液ガス分析装置	2,035,000 円 (内消費税 185,000円)	令和5年1月18日	小西医療器(株)
血圧脈波検査装置	1,925,000 円 (内消費税 175,000円)	令和5年1月18日	村中医療器(株)
心電計	2,475,000 円 (内消費税 225,000円)	令和5年1月30日	村中医療器(株)
液晶字づまり視力検査器	693,000 円 (内消費税 63,000円)	令和5年1月30日	小西医療器(株)
光干渉断層計	12,815,000 円 (内消費税 1,165,000円)	令和5年1月30日	小西医療器(株)
電子カルテ端末	473,000 円 (内消費税 43,000円)	令和5年2月7日	(株)ケイズ
ベッドサイドモニタ	1,925,000 円 (内消費税 175,000円)	令和5年2月20日	村中医療器(株)
電気温水器	495,000 円 (内消費税 45,000円)	令和5年2月21日	(株)備中屋本店
睡眠評価装置	159,500 円 (内消費税 14,500円)	令和5年2月28日	フクダライフテック中国(株)
腹腔鏡鉗子	286,000 円 (内消費税 26,000円)	令和5年3月3日	小西医療器(株)

充電式ブライツコープ	196,900 円 (内消費税 17,900円)	令和5年3月10日	小西医療器(株)
------------	--------------------------	-----------	----------

## 委員会活動状況

## 日野病院委員会(ワーキング) 構成表

番号	会議・委員会	ワーキング
	管理者会議	
		幹事会
1	病院運営会議	
		人事委員会 倫理委員会
2	管理職会議	
		病院機能評価受審委員会
3	情報システム管理委員会	
		電子カルテ検討委員会 医療連携ネットワーク委員会
4	診療局会議	
5	医療技術局運営会議	
		リハビリ運営委員会 放射線室運営委員会 検査室運営委員会 薬剤管理室運営委員会 臨床工学室運営委員会
6	病院業務検討委員会	
		病院機能検討委員会 医師負担軽減対策委員会 看護職員負担軽減対策委員会 医療機器購入検討委員会
7	看護業務検討委員会	
		外来業務委員会 病棟運営委員会 手術室運営委員会 透析室運営委員会
8	地域連携推進委員会	
9	輸血委員会	
10	物流委員会	
		薬事審議委員会 SPD委員会 委託業者連絡委員会
11	経営企画委員会	
		保険診療委員会 クリニカルパス委員会 褥瘡・NST委員会 (褥瘡対策チーム) がん研究及び対策委員会 生活習慣病対策委員会 ドック検診委員会 栄養管理委員会
12	医療安全管理委員会	
		医薬品安全管理委員会 医療機器安全管理委員会 医療ガス安全管理委員会 診療記録開示検討委員会 医療放射線安全管理委員会
13	院内事故調査委員会	
14	院内感染対策委員会	
		ICT委員会
15	労働安全衛生委員会	
16	診療記録管理委員会	
17	サービス推進委員会	
18	接遇向上委員会	
19	教育・研修委員会	
		図書委員会 BLS委員会
20	災害対策委員会	
21	個人情報保護対策委員会	

1. 病院運営会議  
開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第196回	R4.4.20	6名	(1)5月1日付け辞令交付について (2)令和4年度各委員会及びワーキングの編成について (3)令和3年度部門別目標の評価及び令和4年度部門別目標の提出について (4)業務改善提案書について (5)マニュアルの変更について (6)施設基準の変更について (7)患者さまの声について (8)その他 ・公立病院経営強化ガイドラインに伴う公立病院経営強化プランの策定について ・職員募集について ・看護師の人事について
第197回	R4.5.18	6名	(1)6月1日付け辞令交付について (2)令和3年度病院事業等の決算状況について (3)令和3年度決算分析における各種統計の確認について (4)業務改善提案書について (5)マニュアルの変更について (6)施設基準の変更について (7)患者さまの声について (8)その他 ・令和4年度自治体立優良病院被表彰病院の決定について ・コロナ患者受入病床確保について ・職員のコロナ関係の電話対応について ・コロナ患者の透析対応について
第198回	R4.6.22	5名	(1)7月1日付け辞令交付について (2)新規採用職員の評価について (3)業務改善提案書について (4)マニュアルの変更について (5)施設基準の変更について (6)患者さまの声について (7)その他 ・各部署から提出された中長期計画(R4～R8)の確認について ・学会発表等の記録について ・日南病院への業務協力について ・診療放射線技師募集について
第199回	R4.7.20	6名	(1)8月1日付け辞令交付について (2)職員の採用試験について (3)日野病院組合議会の開催について (4)業務改善提案書について (5)マニュアルの変更について (6)施設基準の変更について (7)患者さまの声について (8)その他 ・日野病院中長期計画について ・平成4年度健康づくりトップセミナー & 第13回鳥取県国保地域医療学会の開催について ・同居者新型コロナ対応表の活用について
第200回	R4.8.24	6名	(1)8月1日付け辞令交付について (2)日野病院組合議会の開催について (3)基本理念・基本方針の見直しについて (4)職員説明会の開催について (5)業務改善提案書について (6)マニュアルの変更について (7)施設基準の変更について (8)患者さまの声について

			<ul style="list-style-type: none"> <li>(9)その他</li> <li>・公立病院経営強化プランの策定について</li> <li>・外来待合棟(病児病後児保育室)シャワー設備改修工事について</li> <li>・診療放射線技師の募集について</li> <li>・看護師の人事異動について</li> </ul>
第201回	R4.9.21	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)10月1日付け辞令交付について</li> <li>(2)外来診察医師の変更について</li> <li>(3)人事評価の実施について</li> <li>(4)インフルエンザ予防接種について</li> <li>(5)令和5年度へき地医療拠点病院施設整備事業補助金に係る医療機器の 要望について</li> <li>(6)業務改善提案書について</li> <li>(7)マニュアルの変更について</li> <li>(8)施設基準の変更について</li> <li>(9)患者さまの声について</li> <li>(10)その他</li> <li>・自治体病院協議会経営セミナーの視聴について《院長講演》</li> <li>・看護職員の処遇改善に係る診療報酬の対応について</li> <li>・クラウドファンディングに関する提案の募集について</li> <li>・退職者に伴う在宅介護支援事業所のケアマネ募集の有無について</li> <li>・互助会忘年会の開催の有無について</li> </ul>
第202回	R4.10.24	4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)11月1日付け辞令交付について</li> <li>(2)日野病院組合議会定例会の開催について</li> <li>(3)感染症に罹患した職員の取り扱いについて</li> <li>(4)業務改善提案書について</li> <li>(5)マニュアルの変更について</li> <li>(6)施設基準の変更について</li> <li>(7)患者さまの声について</li> <li>(8)その他</li> <li>・病床機能報告について</li> <li>・日南病院創設60周年 住民シンポジウムについて</li> <li>・互助会忘年会について</li> </ul>
第203回	R4.11.22	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)12月1日付け辞令交付について</li> <li>(2)令和5年度予算要求について</li> <li>(3)日野病院組合議会定例会の開催について</li> <li>(4)人事評価による勤勉手当の加算(減算)について</li> <li>(5)職員表彰の推薦について</li> <li>(6)業務改善提案書について</li> <li>(7)マニュアルの変更について</li> <li>(8)施設基準の変更について</li> <li>(9)患者さまの声について</li> <li>(10)その他</li> <li>・令和4年度人事院勧告に基づく給与改正について</li> <li>・互助会抽選会の開催について</li> </ul>
第204回	R4.12.20	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)1月1日付け辞令交付について</li> <li>(2)仕事納め式及び仕事始め式(辞令交付)について</li> <li>(3)奨学生の募集について</li> <li>(4)日野病院職員表彰の推薦について</li> <li>(5)地方交付税(負担金)の確定について</li> <li>(6)業務改善提案書について</li> <li>(7)マニュアルの変更について</li> <li>(8)施設基準の変更について</li> <li>(9)患者さまの声について</li> <li>(10)その他</li> <li>・仕事納め式及び仕事始め式の開催方法について</li> <li>・年末年始における帰省及び県外外出について</li> <li>・年末年始の手当割り増し、医師の手当引き上げについて</li> </ul>
第205回	R5.1.16	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)2月1日付け辞令交付について</li> <li>(2)日野病院組合議会定例会について(2/28)</li> <li>(3)令和4年度決算見込み及び令和5年度当初予算の状況について</li> <li>(4)令和5年度医療機器の購入予定について(当初及び補正対応)</li> </ul>

			(5) 職員表彰について (6) 外来診察医の変更 (7) 業務改善提案書について (8) マニュアルの変更について (9) 施設基準の変更について (10) 患者さまの声について (11) その他 ・令和4年度医療機器の購入状況について ・今後の新型コロナワクチン接種予定について ・4月からの人員配置について
第206回	R5.2.15	6名	(1) 3月1日付け辞令交付について (2) 日野病院組合議会定例会について(2/28) (3) 外来診療医師及び診療体制の変更について(4月から) (4) 職員表彰について (5) 業務改善提案書について (6) マニュアルの変更について (7) 施設基準の変更について (8) 患者さまの声について (9) その他 ・4月からの人員配置について ・定年延長制度について(来年度から施行)
第207回	R5.3.22	6名	(1) 3月31日(退職)及び4月1日付け辞令交付について (2) 新入職員オリエンテーションの実施について(4月3日) (3) 外来診察及び医師の変更について(4月～) (4) 令和5年度各委員会及びワーキングの編成について (5) 令和4年度部門別目標の評価及び令和5年度部門別目標の提出について (6) 業務改善提案書について (7) マニュアルの変更について (8) 施設基準の変更について (9) 患者さまの声について (10) その他 ・メフォスからの食材費見直し要望について ・新規採用職員歓迎会(職員表彰受賞式)の開催について

(1) 倫理委員会  
開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容	
第1回	R4.4.20	6名	(2022-1) 日本整形外科学会症例レジストリー(JOANR)構築に関する研究 (2022-2) 便秘エコーによる直腸性便秘症の診断能に関する研究 (2022-3) 慢性肝疾患における肝脂肪量、線維化、肝組織鉄の関連 (2022-4) クレアチニン/シスタチンC比によるサルコペニアの診断能に関する研究 (2022-5) サルコペニア患者における嚥下障害に関する研究	承認 承認 承認 承認 承認
第2回	R4.6.22	5名	(2022-6) 接遇向上委員会による日野病院職員の接遇に関する患者様満足度調査について 否認(アンケート内容を精査し再度要提出のこと)	
第3回	R4.7.20	5名	(2022-7) 日南町の在宅支援会議を含む多職種連携による在宅生活の継続支援に関する研究	承認
第4回	R4.11.22	5名	(2022-8) 訪問看護サービスに関する利用者満足度調査	承認

			(2022-9) 手指衛生遵守向上に向けた取り組み～組織風土の側面から介入を試みて～	承認
第5回	R5.2.15	6名	(2022-9) 手指衛生遵守向上に向けた取り組み ～手指消毒使用量が改善しない組織風土の要因を考える～ (2022-10) クレアチニン/シスタチンC比によるサルコペニアの診断能に関する研究	承認  承認
第5回	R5.3.22	6名	(2022-11) 日本整形外科学会症例レジストリー(JOANR)構築に関する研究	承認

## 2. 管理職会議

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R4.4.27	11名	(1) 3月末経営概況及び決算見込みについて (2) 3月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 5月1日付辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 令和4年度各委員会及びワーキングの委員編成について (7) 令和3年度部門別目標の評価及び令和4年度部門別目標の提出について (8) 日野町コミュニティーチャンネルについて (9) 施設基準の変更について (10) 患者様の声について (11) その他 ・リフレッシュ休暇について
第2回	R4.5.25	12名	(1) 4月末経営概況について (2) 4月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 6月1日付辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 令和3年度病院事業等の決算状況について (7) 令和3年度決算分析における各種統計数値の確認について (8) 日野町コミュニティーチャンネルについて (9) その他 ・令和4年度自治体立優良病院被表彰病院の決定について ・新型コロナウイルスワクチン集団接種について ・コロナ病床確保について
第3回	R4.6.29	11名	(1) 5月末経営概況について (2) 5月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 7月1日付辞令交付について (5) 日野町コミュニティーチャンネルについて (6) その他 ・学会発表等の記録について ・自治体立優良病院表彰について ・禁煙の再開について ・日南病院の診療放射線技師の待機応援等の依頼について
第4回	R4.7.27	11名	(1) 6月末経営概況について (2) 6月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 8月1日付辞令交付について (5) 日野病院組合議会の開催について(8/29) (6) 外来診察の変更について (7) 日野町コミュニティーチャンネルについて (8) 業務改善提案書について (9) 施設基準の変更について (10) マニュアルの変更について (11) 患者様の声について (12) その他
第5回	R4.8.31	10名	(1) 7月末経営概況について (2) 7月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 9月1日付辞令交付について (5) 日野病院組合議会の開催について(8/29)

			<ul style="list-style-type: none"> <li>(6) 職員説明会の開催について</li> <li>(7) 日野病院基本理念等の見直しについて</li> <li>(8) 外来診察の変更について</li> <li>(9) 日野町コミュニティーチャンネルについて</li> <li>(10) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来待合棟(病児病後児保育室)シャワー設備改修工事について</li> </ul> </li> </ul>
第6回	R4.9.26	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 8月末経営概況について</li> <li>(2) 8月分各種統計について</li> <li>(3) 各種委員会の議事録について</li> <li>(4) 10月1日付辞令交付について</li> <li>(5) 人事評価の実施について</li> <li>(6) インフルエンザ予防接種について</li> <li>(7) 鳥取県医療施設等設備整備費補助金について</li> <li>(8) 日野町コミュニティーチャンネルについて</li> <li>(9) 患者様の声について</li> <li>(10) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体病院協議会経営セミナーの視聴について《院長講演》(11/15)</li> <li>・看護職員の処遇改善に係る診療報酬の対応について</li> <li>・クラウドファンディングに関する提案の募集について</li> </ul> </li> </ul>
第7回	R4.10.25	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 9月末経営概況について</li> <li>(2) 9月分各種統計について</li> <li>(3) 各種委員会の議事録について</li> <li>(4) 11月1日付辞令交付について</li> <li>(5) 日野病院組合議会定例会の開催について(11/30予定)</li> <li>(6) 感染症に罹患した職員の取扱いについて</li> <li>(7) マニュアルの変更について</li> <li>(8) 日野町コミュニティーチャンネルについて</li> <li>(9) 施設基準の変更について</li> <li>(10) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度へき地医療拠点病院設備整備事業補助金の交付決定について</li> <li>・互助会忘年会について</li> <li>・日南病院創設60周年住民シンポジウム開催について</li> </ul> </li> </ul>
第8回	R4.11.29	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 10月末経営概況について</li> <li>(2) 10月分各種統計について</li> <li>(3) 各種委員会の議事録について</li> <li>(4) 12月1日付辞令交付について</li> <li>(5) 令和5年度当初予算要求について</li> <li>(6) 日野病院組合議会の開催について(11/30開催予定)</li> <li>(7) 日野町コミュニティーチャンネルについて</li> <li>(8) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年人事院勧告に基づく給与改正について</li> <li>・互助会抽選会の開催について(12/14)</li> <li>・職員の新型コロナワクチン接種について</li> </ul> </li> </ul>
第9回	R4.12.28	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 11月末経営概況について</li> <li>(2) 11月分各種統計について</li> <li>(3) 各種委員会の議事録について</li> <li>(4) 1月1日付辞令交付について</li> <li>(5) 仕事納め式及び仕事始め式(辞令交付)について</li> <li>(6) 奨学生の募集について</li> <li>(7) 日野町コミュニティーチャンネルについて</li> <li>(8) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年末年始における帰省及び県外について(届出書の提出)</li> <li>・年末年始における勤務手当等加算について</li> </ul> </li> </ul>
第10回	R5.1.26	9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 12月末経営概況について</li> <li>(2) 12月分各種統計について</li> <li>(3) 各種委員会の議事録について</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>(4) 2月1日付辞令交付について</li> <li>(5) 今後の実習生の受入予定について</li> <li>(6) 令和5年度医師異動について(県派遣医師等)</li> <li>(7) 日野病院組合議会定例会の開催について(2/28)</li> <li>(8) 令和4年度決算見込及び令和5年度当初予算の状況について</li> <li>(9) 令和5年度医療機器の購入予定について</li> <li>(10) 外来診察医の変更について</li> <li>(11) 日野町コミュニティーチャンネルについて</li> <li>(12) 施設基準の変更について</li> <li>(13) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度医療機器の購入状況について</li> </ul> </li> </ul>
第11回	R5.2.22	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 1月末経営概況について</li> <li>(2) 1月分各種統計について</li> <li>(3) 各種委員会の議事録について</li> <li>(4) 3月1日付辞令交付について</li> <li>(5) 日野病院組合議会定例会について(2/28)</li> <li>(6) 外来担当医師及び外来診療体制の変更について(4月から)</li> <li>(7) 業務改善提案書について</li> <li>(8) 職員表彰について</li> <li>(9) 日野町コミュニティーチャンネルについて</li> </ul>
第12回	R5.3.29	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 2月末経営概況について</li> <li>(2) 2月分各種統計について</li> <li>(3) 各種委員会の議事録について</li> <li>(4) 4月1日付辞令交付について</li> <li>(5) 今後の実習生の受入予定について</li> <li>(6) 新規採用職員オリエンテーションの実施について(4/3)</li> <li>(7) 外来診察及び医師の変更について(4月～)</li> <li>(8) 令和4年度部門別目標評価及び令和5年度部門別目標の提出について</li> <li>(9) 業務改善提案書について</li> <li>(10) マニュアルの変更について</li> <li>(11) 日野町コミュニティーチャンネルについて</li> <li>(12) 施設基準の変更について</li> <li>(13) 患者様の声について</li> <li>(14) その他</li> </ul>

### 3. 情報システム管理委員会

#### (1) 電子カルテ検討委員会

##### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	R4.5.11	19名	・Q&A管理台帳確認 ・新年度担当者変更 ・眼科電子カルテ導入 ・褥瘡DESIGN-R2020への変更 ・看護必要度評価表変更 ・当院電子カルテシステムインフラ調査について ・小児科カルテ共有化について

##### 活動報告

- ・眼科ファイリングシステムを導入。
- ・褥瘡DESIGN-R2020へ変更を行った。
- ・看護必要度評価表の変更を7月1日から行った。
- ・当院の電子カルテシステムについて第三者機関の調査が行われ概ね問題ないとの報告を受けた。

#### 4. 診療局会議

##### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R4.4.12	9名	各部署からの意見・報告、病院長からの報告(带状疱疹ワクチンについて・包括病床について・職員のコロナ陽性について・健康診断について等)
第2回	R4.5.10	11名	各部署からの意見・報告、病院長からの報告(在宅ハイフローセラピーについて・眼科の電子カルテ運用について・包括病床について・PCR検査について等)
第3回	R4.6.14	11名	各部署からの意見・報告、病院長からの報告(情報通信機器を用いた栄養指導について・MRI・CTの予約について・放射線画像保管の扱いについて・優良自治体病院の表彰について等)
第4回	R4.7.12	10名	各部署からの意見・報告(施設基準の臨時的取扱いについて・CT・MRIの予約、読影について・薬事審議会・PCR検査について・伯耆町認知症検査について等)
第5回	R4.8.9	9名	各部署からの意見・報告、病院長からの報告(PCR検査について・入院患者でコロナの人の扱いについて等)
第6回	R4.9.13	6名	各部署からの意見・報告、病院長からの報告(薬事審議会・マイナンバーカード利用について・同意書綴りについて・入院制限について等)
第7回	R4.10.11	9名	各部署からの意見・報告、病院長からの報告(老健あやめへの入所について・インフルエンザ予防接種について等)
第8回	R4.11.8	10名	各部署からの意見・報告、病院長からの報告(行政検査について・マイナンバーカードへの対応について・内視鏡検査について・インフルエンザ予防接種の待機時間について等)
第9回	R4.12.20	6名	各部署からの意見・報告、病院長からの報告(薬事審議会・コロナの感染状況について・病棟Nsの業務について等)
第10回	R5.1.17	9名	各部署からの意見・報告、病院長からの報告(コロナ陽性者発生状況について・電子処方箋について・PCRオーダーについて・内科の人事について等)
第11回	R5.2.14	8名	各部署からの意見・報告、病院長からの報告(検査機械の入れ替えについて・コロナの状況について・3階の部屋確保について・コロナ病床の解体について・病棟Nsへの指示について・面会について等)
第12回	R5.3.14	9名	各部署からの意見・報告、病院長からの報告(在院日数等の基準について・地域包括ケア入院医療管理料1に係る施設基準について等)

##### 活動報告

各部署からの意見・報告により懸案事項などを共有し、解決に至るよう検討した。

## 5. 医療技術局運営会議

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R4.4.28	5名	各部署からの意見・報告、管理職会議の報告(3年度決算概要、部門別目標、委員会編成について等)
第2回	R4.5.26	4名	各部署からの意見・報告、管理職会議の報告(経営状況、部門別各種統計調べ、自治体立優良表彰について等)
第3回	R4.6.30	5名	各部署からの意見・報告、管理職会議の報告(経営状況、人事異動、日南病院への診療放射線技師派遣について等)
第4回	R4.9.1	5名	各部署からの意見・報告、管理職会議の報告(経営状況、人事異動、日野病院組合議会全員協議会について等)
第5回	R4.9.29	5名	各部署からの意見・報告、管理職会議の報告(経営状況、人事異動、へき地医療拠点病院設備整備費事業について等)
第6回	R4.12.1	5名	各部署からの意見・報告、管理職会議の報告(経営状況、人事異動、令和5年度予算要求について、新型コロナウイルスワクチン接種について等)
第7回	R5.1.5	5名	各部署からの意見・報告、管理職会議の報告(経営状況、人事異動、年末年始における勤務手当等加算について等)
第8回	R5.2.2	5名	各部署からの意見・報告、管理職会議の報告(経営状況、人事異動、日野病院組合議会全員協議会について等)
第9回	R5.3.2	5名	各部署からの意見・報告、管理職会議の報告(経営状況、人事異動、日野病院組合議会全員協議会、職員表彰について等)

### 活動報告

管理職会議の報告及び各部署での懸案事項などを共有し、解決に至るよう検討した。また提案事項などを確認し、病院運営会議に諮った。

## (1) 検査室運営委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R4.6.8	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人紹介(池嶋 志隆)</li> <li>・令和3年度検査件数及び収支報告</li> <li>・部門目標</li> <li>・外部精度管理調査 結果報告 ニットーボー(R4年2月 実施)</li> <li>・尿分析装置更新</li> <li>・遠心機更新</li> </ul>
第2回	R4.9.21	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナPCR検査試薬の供給状況</li> <li>・外部精度管理調査 結果報告 Wako(R4年5月 実施) テタナーサーベイ(R4年6月 実施)</li> <li>・へき地医療補助金事業</li> </ul>
第3回	R4.12.14	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・へき地医療補助金事業に伴う機器更新</li> <li>・病理診断管理加算の算定について</li> </ul>
第4回	R5.3.8	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生化学自動分析装置導入工程表</li> <li>・外部精度管理調査 結果報告 日本医師会精度管理調査(R4年9月 実施)</li> <li>・令和5年度 臨床検査室の体制予定</li> </ul>

## 8. 地域連携推進委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
令和4年度第1回 地域連携推進委員会	R4.5.12	10名	1. 入院時カンファレンスについて 2. 受診/MRI・CT予約について
第2回	R4.7.7	7名	1.伯耆町もの忘れ検診・第二段階精密検査の受け入れについて 2.MRI・CT予約の流れ 3.紹介元医療機関への読影結果報告方法の見直し
第3回	R4.8.18	8名	マニュアルの作成について(① 紹介元医療機関へ読影結果FAX送信②伯耆町もの忘れ検診③MRI・CT予約、その他)
第4回	R4.9.22	7名	マニュアルの改訂について(① 紹介元医療機関へ読影結果FAX送信②伯耆町もの忘れ検診③MRI・CT予約、その他)
第5回	R4.11.17	10名	1.入院時カンファレンス一覧表改訂について(令和4年11月4日～)2. 往診対応について
第6回	R5.4.6	10名	1. 入院時カンファレンス・一覧表改訂(令和5年4月4日～) 2. 透析車両の購入を目的としたクラウドファンディング → 中止 3. 診療圏域の施設状況について 4. 令和5年度地域連携推進室の体制について 5. 入院時情報提供書・訪問看護報告書の処理方法について

### 活動報告

全国自治体病院学会	R4.11.9	行政との協働による透析患者送迎サービス導入におけるMSWのソーシャルアクション 山口浩一
-----------	---------	--

## 9. 輸血委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者人数	内容
第1回	R4.5.31	9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸血委員会要綱および活動指針、令和4年度輸血委員会名簿・役割確認</li> <li>・部門目標(令和3年度:反省、令和4年度:目標設定)</li> <li>・診療科別血液製剤使用状況(令和4年4月)報告</li> <li>・輸血後感染症検査実施状況(令和4年4月～5月)報告</li> <li>・日赤輸血情報「輸血用血液製剤の診療報酬及び薬価・医療品コード・レセプト電算コード等について」 「輸血用血液製剤のWEB発注への全面移行について」 「血液安全監視体制年報(2020年版)について」</li> <li>・高カリウム血症患者への赤血球輸血に関する注意点</li> <li>・輸血同意書の取得頻度(再周知)</li> <li>・不規則抗体検査について</li> </ul>
第2回	R4.9.5	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科別血液製剤使用状況(令和4年5月、6月、7月、8月)報告</li> <li>・輸血後感染症検査実施状況(令和4年6月～8月)報告</li> <li>・令和3年度 輸血後感染症検査実施率 最終報告</li> <li>・日赤輸血情報「血液製剤に係る遡及調査がドラインの一部改正(E型肝炎ウイルスの遡及調査)について」 「輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例ー2021年ー」 「赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用ー2021年ー」 「中四国ブロックと全国の献血・供給状況について」 「血液センターではどんな検査をしているの? ～感染症検査業務について～」</li> <li>・夜間・休日等の時間外運用『手書き輸血伝票』: 製剤種類ごとでの作成のお願い</li> </ul>
第3回	R4.11.28	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科別血液製剤使用状況(令和4年9月、10月)報告</li> <li>・輸血後感染症検査実施状況(令和4年9月～11月)報告</li> <li>・日赤輸血情報「洗浄調製を行う二次製剤 (照射)洗浄赤血球-LR『日赤』及び照射洗浄血小板-LR『日赤』について」 「中四国ブロック内医療機関対象 オンライン勉強会のご案内」</li> <li>・高カリウム血症患者への赤血球輸血について(カリウム吸着フィルター適応症例・使用方法等)</li> </ul>
第4回	R5.2.8	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科別血液製剤使用状況(令和4年11月、12月、令和5年1月)報告</li> <li>・輸血後感染症検査実施状況(令和4年12月～令和5年1月)報告</li> <li>・日赤輸血情報「血小板製剤の輸血による細菌感染が疑われた事例について」 「(照射)赤血球液-LR『日赤』の有効期間変更のお知らせ」 「(照射)解凍赤血球液-LR『日赤』及び(照射)合成血液-LR『日赤』について」</li> <li>・交差適合試験陽性事例について</li> </ul>
第5回	R5.4.12	9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科別血液製剤使用状況(令和5年2月、3月)報告</li> <li>・令和4年度 血液製剤発注・廃棄全集計報告</li> <li>・輸血後感染症検査実施状況(令和5年2月～3月)報告</li> <li>・日赤輸血情報「人血小板濃厚液の使用時の安全確保措置の周知徹底について」 「血液製剤発注システムがさらに便利になりました(2023年3月22日～)」 「輸血用血液製剤の取り扱いについて」 「血液製剤と細菌感染 等」 「山陰医療機関対象 オンライン勉強会のご案内(4月、5月)」</li> <li>・アルブミン製剤投与時の患者観察について</li> <li>・赤血球製剤の輸血時の温度 / 出庫～輸血実施までの室温下での制限時間について</li> </ul>

## 10. 物流委員会

### (1) SPD委員会 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R4.5.16	7名	定数変更5件(シンガープラスチックグローブ、インセパック、マイクロポア他) 新規採用2件(ピュアバリアHDモイストジェル、ユニバーサルプレート) サンプル申請2件(伸縮円穴ドレープ、シユアフィット) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第2回	R4.6.13	7名	定数変更4件(手術用手袋、マイクロポア、エクステンションチューブ、メディマットライト) サンプル申請1件(エンドマスク) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第3回	R4.8.8	6名	定数変更8件(ネラトンカテーテル、ディスク蛇巻、袖付きエプロン他) サンプル申請2件(メディセーフファインタッチディスク、検診ロールシート) 新規採用2件(長腹部砕石位用ドレープ、MRスポット) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第4回	R4.9.12	7名	定数変更6件(袖付きエプロン、アルコール綿、ペリケア、アルウェッティ除菌クロス他) サンプル申請1件(下巻き訪台) 新規採用3件(メディセーフファインタッチディスク、SLDバイアル、プリサイズビスタライト) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第5回	R4.10.18	8名	診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第6回	R4.11.14	7名	定数変更3件(スキンマーカ、オールシリコンフォーリーキット・カテーテル) サンプル申請1件(スキンマーカ) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第7回	R4.12.12	6名	定数変更6件(ECG電極、モイスキパッドミニ、ソフライト他) 新規採用1件(ビナファイン) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第8回	R5.1.16	7名	定数変更3件(シリンジ30ml、ビナファイン、ホローファイバーファイアライザー) サンプル申請1件(クリアッシュ) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第9回	R5.2.13	4名	定数変更4件(スキンステップラーリムーバー、ハイドロサイトADジェントル他) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第10回	R5.3.13	9名	定数変更4件(マイコリンス剤、リクセル、アクセスバン、シリンジ10ml) サンプル申請1件(採尿バッグ) 新規採用5件(アクセスバン、マスキュア回路、腹水濾過フィルタ他) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第11回	R5.4.10	7名	定数変更3件(外モレ安心パット、吸収シート、ソフライト) 新規採用2件(Epixユニバーサルクリップアプライヤー2種) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他

### (2) 委託業者連絡委員会 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R4.5.10	6名	各部署、サンククリーンからの連絡事項確認・検討
第2回	R4.6.14	6名	各部署、サンククリーンからの連絡事項確認・検討
第3回	R4.7.19	4名	各部署、サンククリーンからの連絡事項確認・検討
第4回	R4.9.13	4名	各部署、サンククリーンからの連絡事項確認・検討

第5回	R4.10.11	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第6回	R4.12.13	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第7回	R5.1.10	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第8回	R5.2.14	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第9回	R5.3.14	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第10回	R5.4.11	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

## 11. 経営企画委員会

### (1) 保険診療委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R4.7.12	10名	・PCR検査の検査目的のカルテ記載について
第2回	R4.9.13	6名	・10月からの診療報酬点数見直し(マイナンバーでの保険証確認)について
第3回	R4.11.8	10名	・生保の行政指導指摘事項について

#### 活動報告

- ・PCR保険適応について対象、対象外について整理。周知。
- ・マイナンバー認証の有無で保険点数に差が出ることを周知。
- ・指導/管理料について指摘を受けた事をふまえ改善を図った。

### (2) 褥瘡NST委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
褥瘡 NST委 員会	R4.5.9	15名	部門別目標、発生率報告 褥瘡対策チーム設置 褥瘡対策チーム員の選出
褥瘡 対策 チーム		7名	診療報酬改訂に伴う評価表の変更、褥瘡対策計画書の切り替えについて 褥瘡回診・NSTミーティングの当番
褥瘡 NST委 員会	R4.6.13	12名	発生率報告 褥瘡症例検討 NST関連報告
褥瘡 対策 チーム		6名	日本臨床栄養代謝学会5月開催 山陰臨床栄養研究会、環日本海NSTフォーラム案内
褥瘡 NST委 員会	R4.7.11	10名	発生率報告 褥瘡症例検討 NST関連報告
褥瘡 対策 チーム		4名	
褥瘡 NST委 員会	R4.9.12	10名	発生率報告 褥瘡症例検討 日本褥瘡学会学術集会について(9月)オンライン開催 NST関連報告
褥瘡 対策 チーム		4名	
褥瘡 NST委 員会	R4.10.24	13名	発生率報告 褥瘡症例検討 日本褥瘡学会学術集会について(9月)2名参加 NST関連報告
褥瘡 対策 チーム		5名	

褥瘡 NST委 員会	R4.11.14	13名	発生率報告 褥瘡症例検討 NST関連報告 NSTWEBセミナー案内
褥瘡 対策 チーム		5名	
褥瘡 NST委 員会	R4.12.12	13名	発生率報告 褥瘡症例検討 NST関連報告
褥瘡 対策 チーム		8名	
褥瘡 NST委 員会	R5.1.16	8名	発生率報告 褥瘡症例検討 日本褥瘡学会中国四国地方会学術集会案内(3月)
褥瘡 対策 チーム		6名	NST関連報告 日本臨床栄養代謝学会学術集会案内
褥瘡 NST委 員会	R7.2.13	14名	発生率報告 褥瘡症例検討 スキンケア資料各部署配布
褥瘡 対策 チーム		8名	日本褥瘡学会中四国地方会について(3月) NST関連報告
褥瘡 NST委 員会	R5.3.13	12	発生率報告 褥瘡症例検討 日本褥瘡中四国地方会(3月6日)WEB 参加4名
褥瘡 対策 チーム		7	NST関連報告
褥瘡 NST委 員会	R5.4.10	12名	発生率報告 褥瘡症例検討 NST関連報告
褥瘡 対策 チーム		7名	日本臨床栄養代謝学会5月開催案内

### (3) 栄養管理委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R4.6.13	10名	COVID-19入院患者の配茶について オンライン外来栄養指導について 退院時患者様からのご意見報告 医師検食について 食材費高騰による影響について
第2回	R4.9.20	5名	栄養補助食品(たんぱくパウダー)採用について COVID-19患者食事対応について 濃厚流動食の在庫管理について

			退院時の患者様からのご意見 栄養補助食品リニューアルの報告(すっきりクリーム、PGソフト・ソフトエース) 食材費高騰による影響について
第3回	R5.2.7	8名	採用栄養補助食品の変更について 濃厚流動食オーダについて 備蓄食品の更新について 停電時の食事提供について 退院時の患者様からのご意見報告

## 12. 医療安全管理委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者人数	内容
第1回	R4.5.16	10名	インシデントレポート集計結果報告(4月分)、各ワーキング報告 医療安全情報:「使用済み内視鏡の別患者への使用」 令和3年度委員会のまとめ、インシデント年間集計結果
第2回	R4.6.20	11名	インシデントレポート集計結果報告(5月分)、各ワーキング報告 医療安全情報:「抗がん剤投与前の血液検査の未確認」 インシデントレポート内容共有(2例):輸液管理について
第3回	R4.8.20	10名	インシデントレポート集計結果報告(6・7月分)、各ワーキング報告 医療安全情報:「下肢閉塞性動脈硬化症の患者の弾性ストッキングの着用」 「温めたタオルによる熱傷」
第4回	開催なし		
第5回	R4.9.12	11名	インシデントレポート集計結果報告(8月分)、各ワーキング報告 医療安全情報:なし インシデントレポート内容共有(2例):ポート皮下漏れにて再留置、内服指示の伝達ミス
第6回	R4.10.17	12名	インシデントレポート集計結果報告(9月分)、各ワーキング報告 医療安全情報:「膀胱留置カテーテルの接続口の選択間違い」 インシデントレポート内容共有(2例):注射の重複準備、点滴実施時間の遅延
第7回	R4.11.21	8名	インシデントレポート集計結果報告(10月分)、各ワーキング報告 医療安全情報:「医療関連機器による圧迫創傷」 針刺し事故について:針付きシリンジを放置しない、マニュアルの周知徹底、12/5に研修予定
第8回	R4.12.26	10名	インシデントレポート集計結果報告(11月分)、各ワーキング報告 医療安全情報:「薬剤の投与経路間違い」→注射薬・それ以外の薬剤は色で区別する 針刺し事故についての研修を12/5に実施 診療放射線安全管理委員会主催の研修実施:参加率 79.3%)
第9回	R5.1.16	12名	インシデントレポート集計結果報告(12月分)、各ワーキング報告 医療安全情報:「容器取り違えによる高濃度のアドレナリンの局所注射」 インシデントレポート内容共有(1例):入院費支払いについて
第10回	R5.2.20	10名	インシデントレポート集計結果報告(1月分)、各ワーキング報告 医療安全情報:「テスト肺使用による人工呼吸器回路の再接続忘れ」 「照合の未実施による誤った患者への検査・処置」 スタットコールについて:「111」にコールし、事務室が全館にコールすることを徹底 埋め込みポート取り扱いについての研修を2/21, 2/22に開催予定
第11回	R5.3.20	10名	インシデントレポート集計結果報告(2月分)、各ワーキング報告 医療安全情報:なし 埋め込みポート取り扱いについてマニュアル整備予定 身体拘束についての研修を予定
第12回	R5.4.17	12名	インシデントレポート集計結果報告(3月分)、各ワーキング報告 医療安全情報:なし インシデントレポート内容共有:検査患者間違い事例についての対策として、氏名の確認、認証作業を確実に実施することを共有した

## 14. 院内感染対策委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R4.5.27	15名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・診療報酬改定・サル痘・小児急性肝炎・新型コロナウイルスなど
第2回	R4.6.24	14名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・サル痘・新型コロナウイルスなど
第3回	R4.7.29	15名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・鳥取県抗菌薬サーベイランス・サル痘・新型コロナウイルスなど
第4回	R4.8.26	16名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・海外感染症流行状況・合同カンファレンス・新型コロナウイルスなど
第5回	R4.9.30	15名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・海外感染症流行状況・合同カンファレンス・感染対策講習会など
第6回	R4.11.25	15名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・海外感染症流行状況・針刺し事故・予算など
第7回	R4.12.26	14名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・海外感染症流行状況・インフルエンザなど
第8回	R5.1.27	15名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・インフルエンザなど
第9回	R5.2.17	15名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・インフルエンザ・マールブルグ病など
第10回	R5.3.24	14名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・インフルエンザ・サーベイランス報告など
第11回	R5.4.28	16名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・インフルエンザ・合同カンファレンスなど

### 活動報告

- ・鳥取県院内感染対策講習会 参加
- ・厚労省院内感染対策講習会 参加
- ・米子保健所新型コロナウイルス対策会議 参加
- ・日本環境感染学会 参加
- ・マニュアルの改訂・周知

## (1)ICT委員会

### 活動報告

- ・院内ラウンド 32回
- ・感染情報レポート 随時更新
- ・院内研修会
  - ①新型コロナウイルス Web視聴
  - ②新型コロナウイルス Web視聴
- ・合同カンファレンス
  - ①新型コロナウイルス感染症対策 5/31 米子医療センター
  - ②新型コロナウイルス感染症陽性者発生時の対応 7/29 Web
  - ③日野病院感染対策現地確認・指導 8/23 日野病院( 指導 米子医療センター)
  - ④新型コロナウイルス感染症対策 9/27 Web
  - ⑤新型コロナウイルス感染症対策 11/27 Web
- ・連携強化加算 博愛病院・米子医療センター
- ・鳥取県抗菌薬サーベイランス 参加
- ・新型コロナウイルス会議開催

## 15. 労働安全衛生委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	R4.5.30	7名	・春の健康診断について ・ストレスチェックについて
第2回	R4.6.26	8名	・ストレスチェックについて
第3回	R4.7.25	6名	・放射線従事者の線量管理について報告 ・パワハラ研修の放映について ・春の検診における要検査未受診者について
第4回	R4.8.29	8名	・ストレスチェックの実施について ・パワハラ研修の放映について
第5回	R4.9.27	8名	・ストレスチェックについて報告 ・特定従事者健診について
第6回	R4.10.31	7名	・ストレスチェックの結果について
第7回	R4.11.28	6名	・令和4年度予算要求について ・ストレスチェックの来年度の実施に向けて
第8回	R4.12.27	6名	・メンタルヘルス研修会について
第9回	R5.1.30	6名	・メンタルヘルス研修会について
第10回	R5.2.27	5名	・メンタルヘルス研修会について
第11回	R5.3.27	5名	・春の健康診断について ・メンタルヘルス研修会について
第12回	R5.4.24	6名	・令和4年度安全衛生管理活動計画について ・メンタルヘルス研修会について ・健康診断における要検査対象者に対する呼びかけについて

## 16. 診療記録管理委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	R4.5.10	10名	・眼科ファイリングシステム導入について
第2回	R4.7.12	10名	・PCR検査時の検査目的記載について ・認知症スクリーニング検査対応について
第3回	R4.9.13	6名	・マイナンバー認証後の電子カルテ閲覧方法について ・同意書用冊子の作成、運用について
第4回	R4.11.8	10名	・指導料／管理料等のカルテ記載について ・マイナンバー認証後の電子カルテの閲覧方法について ・内視鏡検査時のカルテ記載注意事項について
第5回	R5.1.17	9名	・電子処方箋の対応について ・PCR検査オーダー時のコメント入力について

### 活動報告

眼科部門システムであるファイリングシステムを導入され、運用検討。周知を図った。  
マイナンバー認証後、カルテ画面にアイコンを表示させた上で周知を図った。  
電子処方箋の取組について検討を開始。

## 18. 接遇向上委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
1回	R4.5.18	7名	令和4年度委員会の目標設定 ワーキング内容の決定(アンケート8月・ポスター10月・研修会12月)
2回	R4.7.5	7名	満足度アンケート内容検討
3回	R4.9.8	5名	満足度アンケート内容検討 10月ポスター作製検討
4回	R4.11.8	4名	12月の研修会についての詳細の決定、準備(看護局のキャンディーリンクを使用する)
5回	R5.1.10	2名	12月の研修会⇒1月に変更、準備・キャンディーリンクが良くなかったので再検討
6回	R5.3.24	6名	研修会の振り返り、反省 ポスター実施可 アンケートは未実施

### 活動報告

ポスター作製・貼付(1回/年) 接遇研修会 3月6～10日 「医療接遇について」パワーポイントにまとめたものTVで説明、123名視聴があった。
--

## 2、統計

# 患者統計

## I. 外来患者数統計

### 1. 地域別統計

(人)

区分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	4,964	1,915	1,055	1,081	352	229	120	2	48	162
構成比(%)	100.0	38.6	21.3	21.8	7.1	4.6	2.4	0.0	1.0	3.3

### 2. 年齢階層別統計

(人)

区分	総数	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
男	2,277	16	73	71	65	53	87	128	165	190	167	220	316	242	197	171	116
女	2,687	15	68	75	63	54	86	100	126	174	159	237	340	283	327	317	263
計	4,964	31	141	146	128	107	173	228	291	364	326	457	656	525	524	488	379
構成比(%)	100.0	0.6	2.8	2.9	2.6	2.2	3.5	4.6	5.9	7.3	6.6	9.2	13.2	10.6	10.6	9.8	7.6

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

## II. 入院患者数統計

### 1. 地域別統計

(人)

区分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	663	261	102	176	57	28	14	0	6	19
構成比(%)	100.0	39.4	15.4	26.5	8.6	4.2	2.1	0.0	0.9	2.9

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

### 2. 診療科別・年齢階層別・入院歴数

(人)

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
総数	計	834	100.0	82.2	1	1	1	5	--	3	11	38	42	87	97	128	181	239
	男	380	100.0	79.7	1	1	1	2	--	2	7	23	20	55	57	54	78	79
	女	454	100.0	84.2	--	--	--	3	--	1	4	15	22	32	40	74	103	160
構成比(%)	計	100.0	--	--	0.1	0.1	0.1	0.6	--	0.4	1.3	4.6	5.0	10.4	11.6	15.3	21.7	28.7
	男	100.0	--	--	0.3	0.3	0.3	0.5	--	0.5	1.8	6.1	5.3	14.5	15.0	14.2	20.5	20.8
	女	100.0	--	--	--	--	--	0.7	--	0.2	0.9	3.3	4.8	7.0	8.8	16.3	22.7	35.2
内科	計	484	58.0	83.4	--	--	--	4	--	2	7	21	18	41	52	69	106	164
	男	226	59.5	82.1	--	--	--	1	--	1	5	7	8	30	38	25	52	59
	女	258	56.8	84.6	--	--	--	3	--	1	2	14	10	11	14	44	54	105
外科	計	64	7.7	73.8	--	1	1	1	--	--	2	9	10	9	7	3	11	10
	男	42	11.1	69.0	--	1	1	1	--	--	1	9	7	7	6	2	2	5
	女	22	4.8	82.9	--	--	--	--	--	--	1	--	3	2	1	1	9	5
整形外科	計	113	13.5	83.5	--	--	--	--	--	--	--	3	6	16	6	20	35	27
	男	30	7.9	79.5	--	--	--	--	--	--	--	2	2	9	2	2	9	4
	女	83	18.3	84.9	--	--	--	--	--	--	--	1	4	7	4	18	26	23
眼科	計	75	9.0	76.0	--	--	--	--	--	--	1	5	6	12	24	21	5	1
	男	38	10.0	76.7	--	--	--	--	--	--	--	5	2	3	8	16	4	--
	女	37	8.1	75.2	--	--	--	--	--	--	1	--	4	9	16	5	1	1
小児科	計	1	0.1	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	1	0.3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
総診	計	97	11.6	85.8	--	--	--	--	--	1	1	--	2	9	8	15	24	37
	男	43	11.3	82.7	--	--	--	--	--	1	1	--	1	6	3	9	11	11
	女	54	11.9	88.3	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3	5	6	13	26

3.診療科別・在院期間別・入退院歴数

(人)

		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
総数	計	834	100.0	27,040	32.4	252	150	97	89	126	58	46	13	3	--
	男	380	100.0	11,203	29.5	123	82	45	32	56	22	12	6	2	--
	女	454	100.0	15,837	34.9	129	68	52	57	70	36	34	7	1	--
構成比 (%)	計	100.0	--	--	--	30.2	18.0	11.6	10.7	15.1	7.0	5.5	1.6	0.4	--
	男	100.0	--	--	--	32.4	21.6	11.8	8.4	14.7	5.8	3.2	1.6	0.5	--
	女	100.0	--	--	--	28.4	15.0	11.5	12.6	15.4	7.9	7.5	1.5	0.2	--
内科	計	484	58.0	17,741	36.7	126	106	55	48	67	34	34	11	3	--
	男	226	59.5	7,874	34.8	56	59	25	21	34	15	9	5	2	--
	女	258	56.8	9,867	38.2	70	47	30	27	33	19	25	6	1	--
外科	計	64	7.7	1,275	19.9	21	9	16	8	6	3	1	--	--	--
	男	42	11.1	718	17.1	16	6	10	6	2	2	--	--	--	--
	女	22	4.8	557	25.3	5	3	6	2	4	1	1	--	--	--
整形外科	計	113	13.5	4,300	38.1	11	15	9	25	31	17	5	--	--	--
	男	30	7.9	1,000	33.3	3	6	3	3	10	5	--	--	--	--
	女	83	18.3	3,300	39.8	8	9	6	22	21	12	5	--	--	--
眼科	計	75	9.0	252	3.4	72	2	1	--	--	--	--	--	--	--
	男	38	10.0	148	3.9	35	2	1	--	--	--	--	--	--	--
	女	37	8.1	104	2.8	37	--	--	--	--	--	--	--	--	--
小児科	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
総診	計	97	11.6	3,470	35.8	21	18	16	8	22	4	6	2	--	--
	男	43	11.3	1,461	34.0	12	9	6	2	10	--	3	1	--	--
	女	54	11.9	2,009	37.2	9	9	10	6	12	4	3	1	--	--

4.診療科別・退院月別・入退院歴数

(人)

		総数	構成比 (%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡
総数	計	834	100.0	61	77	81	67	45	62	72	60	87	61	71	90	98
	男	380	100.0	25	37	31	32	23	28	39	25	45	30	26	39	44
	女	454	100.0	36	40	50	35	22	34	33	35	42	31	45	51	54
構成比 (%)	計	100.0	--	7.3	9.2	9.7	8.0	5.4	7.4	8.6	7.2	10.4	7.3	8.5	10.8	11.8
	男	100.0	--	6.6	9.7	8.2	8.4	6.1	7.4	10.3	6.6	11.8	7.9	6.8	10.3	11.6
	女	100.0	--	7.9	8.8	11.0	7.7	4.8	7.5	7.3	7.7	9.3	6.8	9.9	11.2	11.9
内科	計	484	58.0	32	45	50	43	21	38	43	37	51	40	37	47	61
	男	226	59.5	15	25	18	22	12	18	19	17	25	18	14	23	26
	女	258	56.8	17	20	32	21	9	20	24	20	26	22	23	24	35
外科	計	64	7.7	9	4	6	7	6	2	3	2	7	2	6	10	5
	男	42	11.1	5	1	4	4	5	1	3	1	6	2	3	7	4
	女	22	4.8	4	3	2	3	1	1	--	1	1	--	3	3	1
整形外科	計	113	13.5	9	13	7	5	9	3	14	5	10	7	17	14	2
	男	30	7.9	--	4	1	--	3	2	7	--	3	3	4	3	1
	女	83	18.3	9	9	6	5	6	1	7	5	7	4	13	11	1
眼科	計	75	9.0	1	3	9	2	2	7	9	6	11	8	6	11	--
	男	38	10.0	1	2	4	1	--	2	8	2	7	6	4	1	--
	女	37	8.1	--	1	5	1	2	5	1	4	4	2	2	10	--
小児科	計	1	0.1	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
	男	1	0.3	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
	女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
総診	計	97	11.6	10	12	9	10	7	12	3	10	7	4	5	8	30
	男	43	11.3	4	5	4	5	3	5	2	5	3	1	1	5	13
	女	54	11.9	6	7	5	5	4	7	1	5	4	3	4	3	17

## 疾病統計（入院患者）

疾病大分類別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	834	100.0	484	64	113	75	1	97
		男	380	100.0	226	42	30	38	1	43
		女	454	100.0	258	22	83	37	--	54
	構成比(%)	計	100.0	--	58.0	7.7	13.5	9.0	0.1	11.6
		男	100.0	--	59.5	11.1	7.9	10.0	0.3	11.3
		女	100.0	--	56.8	4.8	18.3	8.1	--	11.9
	該当なし	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
I	感染症及び寄生虫症	計	27	3.2	20	--	1	--	--	6
		男	9	2.4	6	--	1	--	--	2
		女	18	4.0	14	--	--	--	--	4
II	新生物<腫瘍>	計	63	7.6	37	19	--	--	--	7
		男	41	10.8	23	15	--	--	--	3
		女	22	4.8	14	4	--	--	--	4
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	6	0.7	4	--	--	--	--	2
		男	3	0.8	3	--	--	--	--	--
		女	3	0.7	1	--	--	--	--	2
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	25	3.0	23	--	--	--	--	2
		男	14	3.7	13	--	--	--	--	1
		女	11	2.4	10	--	--	--	--	1
V	精神及び行動の障害	計	10	1.2	10	--	--	--	--	--
		男	5	1.3	5	--	--	--	--	--
		女	5	1.1	5	--	--	--	--	--
VI	神経系の疾患	計	30	3.6	24	--	1	--	--	5
		男	15	3.9	13	--	1	--	--	1
		女	15	3.3	11	--	--	--	--	4
VII	眼及び付属器の疾患	計	75	9.0	--	--	--	75	--	--
		男	38	10.0	--	--	--	38	--	--
		女	37	8.1	--	--	--	37	--	--
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	6	0.7	5	--	--	--	--	1
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	4	0.9	3	--	--	--	--	1
IX	循環器系の疾患	計	115	13.8	97	2	--	--	--	16
		男	45	11.8	35	1	--	--	--	9
		女	70	15.4	62	1	--	--	--	7
X	呼吸器系の疾患	計	93	11.2	68	--	1	--	1	23
		男	51	13.4	37	--	--	--	1	13
		女	42	9.3	31	--	1	--	--	10
X I	消化器系の疾患	計	85	10.2	49	32	--	--	--	4
		男	46	12.1	23	20	--	--	--	3
		女	39	8.6	26	12	--	--	--	1
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	計	7	0.8	5	1	--	--	--	1
		男	5	1.3	4	--	--	--	--	1
		女	2	0.4	1	1	--	--	--	--
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	38	4.6	8	--	30	--	--	--
		男	15	3.9	6	--	9	--	--	--
		女	23	5.1	2	--	21	--	--	--
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	計	53	6.4	44	--	--	--	--	9
		男	23	6.1	20	--	--	--	--	3
		女	30	6.6	24	--	--	--	--	6
X V	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	計	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

疾病大分類別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
X VI	周産期に発生した病態	計	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	61	7.3	40	2	--	--	--	19
		男	20	5.3	14	1	--	--	--	5
		女	41	9.0	26	1	--	--	--	14
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	106	12.7	25	5	75	--	--	1
		男	35	9.2	15	3	16	--	--	1
		女	71	15.6	10	2	59	--	--	--
X X	傷病及び死亡の外因	計	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	計	23	2.8	15	2	5	--	--	1
		男	11	2.9	6	1	3	--	--	1
		女	12	2.6	9	1	2	--	--	--
X X II	特殊目的用コード	計	10	1.2	10	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	9	2.0	9	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
総数	計	計	834	100.0	484	64	113	75	1	97
		男	380	100.0	226	42	30	38	1	43
		女	454	100.0	258	22	83	37	--	54
	構成比(%)	計	100.0	--	58.0	7.7	13.5	9.0	0.1	11.6
		男	100.0	--	59.5	11.1	7.9	10.0	0.3	11.3
		女	100.0	--	56.8	4.8	18.3	8.1	--	11.9
A047	[M]クロストリジウム・ ディフィシルによる全腸炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
A049	[M]細菌性腸管感染症、詳 細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
A081	[M]ノーウォーク様ウイル スによる急性胃腸症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
A09	[M]その他の胃腸炎及び大腸炎、 感染症及び詳細不明の原因による もの	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
A099	[M]詳細不明の原因による 胃腸炎及び大腸炎	計	10	1.2	8	--	--	--	--	2
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	8	1.8	6	--	--	--	--	2
A310	[M]肺非結核性抗酸菌感染 症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
A410	[M]黄色ブドウ球菌による 敗血症	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
A411	[M]その他の明示されたブ ドウ球菌による敗血症	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
A418	[M]その他の明示された敗 血症	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
A419	[M]敗血症、詳細不明	計	4	0.5	3	--	--	--	--	1
		男	3	0.8	2	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
A499	[M]細菌感染症、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	--	1
A810	[M]クロイツフェルト・ヤコブ< Creutzfeldt-Jakob>病	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
B022	[M]帯状疱疹、その他の神 経系合併症を伴うもの	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
B029	[M]帯状疱疹、合併症を伴 わないもの	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
C109	[M]中咽頭、部位不明【中咽頭の 悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
C169	[M]胃、部位不明【胃の悪 性新生物<腫瘍>】	計	9	1.1	5	3	--	--	--	1
		男	6	1.6	3	3	--	--	--	--
		女	3	0.7	2	--	--	--	--	1

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
C180	[M]盲腸【結腸の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	--	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C182	[M]上行結腸【結腸の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	--	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C186	[M]下行結腸【結腸の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C189	[M]結腸、部位不明【結腸の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	--	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	--	--	--	--
C20	[M]直腸の悪性新生物<腫瘍>	計	6	0.7	1	5	--	--	--	--
		男	3	0.8	--	3	--	--	--	--
		女	3	0.7	1	2	--	--	--	--
C220	[M]肝細胞癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>】	計	3	0.4	3	--	--	--	--	--
		男	3	0.8	3	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C227	[M]その他の明示された肝の癌(腫)【肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
C241	[M]ファーター<Vater>乳頭膨大部【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C259	[M]膵、部位不明【膵の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
C341	[M]上葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C349	[M]気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>】	計	5	0.6	3	--	--	--	--	2
		男	3	0.8	1	--	--	--	--	2
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
C539	[M]子宮頸(部)、部位不明【子宮頸部の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
C61	[M]前立腺の悪性新生物<腫瘍>	計	2	0.2	1	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	1	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C65	[M]腎盂の悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C66	[M]尿管の悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C713	[M]頭頂葉【脳の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
C719	[M]脳、部位不明【脳の悪性新生物<腫瘍>】	計	4	0.5	4	--	--	--	--	--
		男	4	1.1	4	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C782	[M]胸膜の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
C786	[M]後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C787	[M]肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	2	0.2	--	2	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
C793	[M]脳及び脳髄膜の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
C795	[M]骨及び骨髄の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	6	0.7	6	--	--	--	--	--
		男	6	1.6	6	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C859	[M]非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫、型不明	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
C900	[M]多発性骨髄腫	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
D320	[M]脳髄膜【髄膜の良性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
D374	[M]結腸【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
D376	[M]肝、胆のう<嚢>及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
D500	[M]失血による鉄欠乏性貧血(慢性)	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
D509	[M]鉄欠乏性貧血、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
D649	[M]貧血、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
D689	[M]凝固障害、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
E10	[M]1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
E146	[M]その他の明示された合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
E162	[M]低血糖症、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
E41	[M]栄養性消耗症<マラスム>	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ICD10別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
E46	[M]詳細不明のタンパク<蛋白> エネルギー性栄養失調(症)	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
E512	[M]ウェルニッケ<Wernicke>脳症<エンセファロパチシ>-->	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
E835	[M]カルシウム代謝障害	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
E86	[M]体液量減少(症)	計	10	1.2	9	--	--	--	--	1
		男	5	1.3	4	--	--	--	--	1
		女	5	1.1	5	--	--	--	--	--
E871	[M]低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	--	1
E875	[M]高カリウム<K>血症	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
F019	[M]血管性認知症、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
F03	[M]詳細不明の認知症	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
F102	[M]依存症候群【アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害】	計	3	0.4	3	--	--	--	--	--
		男	3	0.8	3	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
F191	[M]有害な使用【多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
F459	[M]身体表現性障害、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
F489	[M]神経症性障害、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
F508	[M]その他の摂食障害	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
G039	[M]髄膜炎、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
G20	[M]パーキンソン<Parkinson>病	計	4	0.5	4	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
G231	[M]進行性核上性眼筋麻痺[スティール・リチャードソン・オルゼウスキー<Steele-Rice>	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
G309	[M]アルツハイマー<Alzheimer>病、詳細不明	計	8	1.0	6	--	--	--	--	2
		男	3	0.8	3	--	--	--	--	--
		女	5	1.1	3	--	--	--	--	2
G318	[M]神経系のその他の明示された変性疾患	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
G409	[M]てんかん、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳細不明	計	3	0.4	3	--	--	--	--	--
		男	3	0.8	3	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
G473	[M]睡眠時無呼吸	計	4	0.5	3	--	--	--	--	1
		男	4	1.1	3	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
G562	[M]尺骨神経の病変	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
G580	[M]肋間ニューロパチ<シ>—	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
G903	[M]多系統変性(症)	計	5	0.6	5	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.1	5	--	--	--	--	--
H110	[M]翼状片	計	2	0.2	--	--	--	2	--	--
		男	2	0.5	--	--	--	2	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
H250	[M]老人性初発白内障	計	6	0.7	--	--	--	6	--	--
		男	4	1.1	--	--	--	4	--	--
		女	2	0.4	--	--	--	2	--	--
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計	67	8.0	--	--	--	67	--	--
		男	32	8.4	--	--	--	32	--	--
		女	35	7.7	--	--	--	35	--	--
H811	[M]良性発作性めまい<眩暈(症)>	計	3	0.4	3	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
H813	[M]その他の末梢性めまい<眩暈(症)>	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
H814	[M]中枢性めまい<眩暈(症)>	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
H819	[M]前庭機能障害、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I10	[M]本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I201	[M]記録されたれん<攣>縮を伴う狭心症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I209	[M]狭心症、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
I219	[M]急性心筋梗塞、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I350	[M]大動脈弁狭窄(症)	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
I441	[M]房室ブロック、第2度	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I480	[M]発作性心房細動	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
I489	[M]心房細動及び心房粗動、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I500	[M]うっ血性心不全	計	18	2.2	18	--	--	--	--	--
		男	7	1.8	7	--	--	--	--	--
		女	11	2.4	11	--	--	--	--	--
I509	[M]心不全、詳細不明	計	58	7.0	46	2	--	--	--	10
		男	24	6.3	18	1	--	--	--	5
		女	34	7.5	28	1	--	--	--	5
I610	[M](大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	3	0.4	3	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.7	3	--	--	--	--	--
I620	[M]硬膜下出血(急性)(非外傷性)	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I633	[M]脳動脈の血栓症による脳梗塞	計	6	0.7	5	--	--	--	--	1
		男	3	0.8	2	--	--	--	--	1
		女	3	0.7	3	--	--	--	--	--
I635	[M]脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	3	0.4	3	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
I638	[M]その他の脳梗塞	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計	8	1.0	4	--	--	--	--	4
		男	4	1.1	1	--	--	--	--	3
		女	4	0.9	3	--	--	--	--	1
I671	[M]脳動脈瘤、非<未>破裂性	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I7020	[I*]下肢閉塞性動脈硬化症	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
I743	[M]下肢の動脈の塞栓症及び血栓症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I802	[M]下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓(性)静脈炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計	7	0.8	3	--	--	--	--	4
		男	3	0.8	--	--	--	--	--	3
		女	4	0.9	3	--	--	--	--	1
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	3	0.4	2	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.7	2	--	--	--	--	1

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
J189	[M]肺炎、詳細不明	計	28	3.4	21	--	1	--	--	6
		男	15	3.9	11	--	--	--	--	4
		女	13	2.9	10	--	1	--	--	2
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.3	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J439	[M]肺気腫、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.4	2	--	--	--	--	1
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
J46	[M]喘息発作重積状態	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計	34	4.1	24	--	--	--	--	10
		男	17	4.5	11	--	--	--	--	6
		女	17	3.7	13	--	--	--	--	4
J849	[M]間質性肺疾患、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
J852	[M]肺炎を伴わない肺膿瘍	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
J869	[M]瘻(孔)を伴わない膿胸(症)	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J90	[M]胸水、他に分類されないもの	計	4	0.5	4	--	--	--	--	--
		男	4	1.1	4	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J931	[M]その他の自然気胸	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J9609	[I]急性呼吸不全	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J9619	[I]慢性呼吸不全	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J9699	[I]呼吸不全	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
K112	[M]唾液腺炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K210	[M]食道炎を伴う胃食道逆流症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K251	[M]急性、穿孔を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K284	[M]慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃空腸潰瘍】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ICD10別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
K289	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃空腸潰瘍】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K350	[I]虫垂炎性腹膜炎	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K358	[M]急性虫垂炎、その他及び詳細不明	計	2	0.2	1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K402	[M]両側性そけい<鼠径>ヘルニア、閉塞及びえ<壊>瘻を伴わないもの	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K409	[M]一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア、閉塞及びえ<壊>瘻を伴わないもの	計	9	1.1	--	9	--	--	--	--
		男	8	2.1	--	8	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
K439	[M]その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア、閉塞及びえ<壊>瘻を伴わないもの	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計	4	0.5	4	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	3	0.7	3	--	--	--	--	--
K562	[M]軸捻(転)	計	4	0.5	--	4	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	3	0.7	--	3	--	--	--	--
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	6	0.7	6	--	--	--	--	--
		男	5	1.3	5	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K572	[M]穿孔及び膿瘍を伴う大腸の憩室性疾患	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
K573	[M]穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
K593	[M]巨大結腸、他に分類されないもの	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K635	[M]大腸<結腸>のポリープ	計	10	1.2	9	--	--	--	--	1
		男	5	1.3	4	--	--	--	--	1
		女	5	1.1	5	--	--	--	--	--
K650	[M]急性腹膜炎	計	2	0.2	--	1	--	--	--	1
		男	2	0.5	--	1	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K703	[M]アルコール性肝硬変	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K709	[M]アルコール性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K767	[M]肝腎症候群	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K769	[M]肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
K802	[M]胆のう<囊>炎を伴わない胆のう<囊>結石	計	2	0.2	--	2	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	6	0.7	3	2	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	--	1
		女	5	1.1	3	2	--	--	--	--
K805	[M]胆管炎及び胆のう<囊>>炎を伴わない胆管結石	計	2	0.2	--	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K810	[M]急性胆のう<囊>炎	計	6	0.7	1	5	--	--	--	--
		男	3	0.8	--	3	--	--	--	--
		女	3	0.7	1	2	--	--	--	--
K830	[M]胆管炎	計	5	0.6	5	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	4	0.9	4	--	--	--	--	--
K831	[M]胆管閉塞	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K838	[M]胆道のその他の明示された疾患	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K859	[M]急性膵炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K913	[M]術後腸閉塞	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
K921	[M]メレナ	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	6	0.7	5	--	--	--	--	1
		男	3	0.8	3	--	--	--	--	--
		女	3	0.7	2	--	--	--	--	1
L033	[M]体幹の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	3	0.4	2	--	--	--	--	1
		男	3	0.8	2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
L309	[M]皮膚炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
L853	[M]皮膚乾燥症<乾皮症>	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
L899	[M]じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域、詳細不明	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
M0091	[I]左化膿性関節炎・肩関節	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M1126	[I]左膝関節偽痛風	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
M1316	[I*]左膝関節炎	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--	--
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計	14	1.7	--	--	14	--	--	--
		男	3	0.8	--	--	3	--	--	--
		女	11	2.4	--	--	11	--	--	--
M318	[M]その他の明示されたえ ＜壊＞死性血管障害	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M353	[M]リウマチ性多発筋痛症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
M4652	[I]頸椎化膿性脊椎炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M4786	[I]腰椎症	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
M4806	[I*]腰部脊柱管狭窄症	計	5	0.6	1	--	4	--	--	--
		男	2	0.5	1	--	1	--	--	--
		女	3	0.7	--	--	3	--	--	--
M5456	[I]急性腰痛症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
M6259	[I]廃用症候群	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M6289	[I*]横紋筋融解	計	3	0.4	3	--	--	--	--	--
		男	3	0.8	3	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M7056	[I]左化膿性膝蓋部滑液包炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M8048	[I]ステロイド性脊椎圧迫骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M8149	[I]第5腰椎ステロイド性骨粗鬆症	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
M8705	[I*]左特発性大腿骨内顆骨壊死	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--	--
N10	[M]急性尿細管間質性腎炎	計	12	1.4	10	--	--	--	--	2
		男	4	1.1	3	--	--	--	--	1
		女	8	1.8	7	--	--	--	--	1
N119	[M]慢性尿細管間質性腎炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
N12	[M]尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
N183	[M]慢性腎臓病、ステージ3	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
N185	[M]慢性腎臓病、ステージ5	計	6	0.7	6	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	6	1.3	6	--	--	--	--	--
N189	[M]慢性腎臓病、詳細不明	計	6	0.7	6	--	--	--	--	--
		男	6	1.6	6	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
N210	[M]膀胱結石	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	21	2.5	15	--	--	--	--	6
		男	10	2.6	9	--	--	--	--	1
		女	11	2.4	6	--	--	--	--	5
R042	[M]喀血	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
R090	[M]窒息	計	3	0.4	3	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.7	3	--	--	--	--	--
R101	[M]上腹部に局限した疼痛	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	--	1
R195	[M]その他の異常便	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
R233	[M]特発性斑状出血【その他の皮膚変化】	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
R31	[M]詳細不明の血尿	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
R33	[M]尿閉	計	2	0.2	--	--	--	--	--	2
		男	1	0.3	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	4	0.5	3	--	--	--	--	1
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	--	1
R42	[M]めまい<眩暈>感及びよろめき感	計	4	0.5	2	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.9	2	--	--	--	--	2
R509	[M]発熱、詳細不明	計	3	0.4	3	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
R53	[M]倦怠(感)及び疲労	計	3	0.4	2	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	--	1
R54	[M]老衰	計	19	2.3	14	--	--	--	--	5
		男	4	1.1	2	--	--	--	--	2
		女	15	3.3	12	--	--	--	--	3
R568	[M]その他及び詳細不明の けいれん<痙攣>	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
R630	[M]食欲不振	計	13	1.6	7	--	--	--	--	6
		男	6	1.6	5	--	--	--	--	1
		女	7	1.5	2	--	--	--	--	5
R688	[M]その他の明示された全 身症状及び徴候	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
R739	[M]高血糖、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S0270	[I]左顔面多発骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S060	[M]振とう<盪>(症)	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S064	[M]硬膜外出血	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
S0650	[I]左急性硬膜下血腫・頭蓋内に達 する開放創合併なし	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
S066	[M]外傷性くも膜下出血	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
S099	[M]頭部の詳細不明の損傷	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
S2200	[I*]第12胸椎圧迫骨折	計	9	1.1	--	--	9	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	8	1.8	--	--	8	--	--	--
S2240	[I]肋骨多発骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S2720	[I]左外傷性血気胸・胸腔に 達する開放創合併なし	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S310	[M]下背部及び骨盤部の開放創 【腹部、下背部及び骨盤部の開放 創】	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S3200	[I*]腰椎圧迫骨折	計	21	2.5	5	--	16	--	--	--
		男	8	2.1	4	--	4	--	--	--
		女	13	2.9	1	--	12	--	--	--
S3210	[I*]右仙骨骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ICD10別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
S3230	[I]右腸骨骨折	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
S3240	[I]右寛骨白骨折	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S3280	[I*]右坐骨骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--	--
S341	[M]腰髄のその他の損傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S4200	[I]左鎖骨遠位端骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S4220	[I*]右上腕骨外科頸骨折	計	3	0.4	--	--	3	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.7	--	--	3	--	--	--
S430	[M]肩関節脱臼	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S5250	[I*]左橈骨遠位端骨折	計	3	0.4	--	--	3	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.7	--	--	3	--	--	--
S5260	[I]左橈骨尺骨遠位端骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S701	[M]大腿の挫傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S7200	[I*]左大腿骨頸部骨折	計	10	1.2	--	--	9	--	--	1
		男	4	1.1	--	--	3	--	--	1
		女	6	1.3	--	--	6	--	--	--
S7210	[I*]右大腿骨転子部骨折	計	15	1.8	2	--	13	--	--	--
		男	3	0.8	2	--	1	--	--	--
		女	12	2.6	--	--	12	--	--	--
S7230	[I]左大腿骨骨幹部骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S7240	[I*]左大腿骨顆上骨折の術後	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S801	[M]下腿のその他及び部位不明の挫傷	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S8200	[I]左膝蓋骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S8220	[I]右脛骨腓骨骨折の術後	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S8260	[I*]左足関節外果骨折	計	2	0.2	1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	1	--	--	--

ICD10別・診療科別・病名数

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診	
S9200	[I]右踵骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S9230	[I]右中足骨骨折	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
T0210	[I]胸腰椎圧迫骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
T08-0	[I]第3腰椎椎体圧迫骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
T130	[M]下肢の表在損傷、部位不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
T140	[M]部位不明の表在損傷	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
T1420	[I]右アキレス腱剥離骨折	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
T427	[M]抗てんかん薬及び鎮静・催眠薬、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
T630	[M]ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
T809	[M]輸液、輸血及び治療用注射に続発する詳細不明の合併症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
T835	[M]尿路系プロステーシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
T845	[M]体内関節プロステーシスによる感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
T941	[M]損傷の続発・後遺症、部位の明示されないもの	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
U071	[M]エマーゼンシーコードU07.1	計	10	1.2	10	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--	--
		女	9	2.0	9	--	--	--	--	--
Z501	[M]その他の理学療法	計	22	2.6	15	2	4	--	--	1
		男	10	2.6	6	1	2	--	--	1
		女	12	2.6	9	1	2	--	--	--
Z966	[M]整形外科的関節挿入物の存在	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	年齢階層																
					0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
総数	計	834	100.0	82.2	--	--	1	--	1	1	5	--	3	11	38	42	87	97	128	181	239
	男	380	100.0	79.7	--	--	1	--	1	1	2	--	2	7	23	20	55	57	54	78	79
	女	454	100.0	84.2	--	--	--	--	--	--	3	--	1	4	15	22	32	40	74	103	160
構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	0.1	--	0.1	0.1	0.6	--	0.4	1.3	4.6	5.0	10.4	11.6	15.3	21.7	28.7
	男	100.0	--	--	--	--	0.3	--	0.3	0.5	--	0.5	1.8	6.1	5.3	14.5	15.0	14.2	20.5	20.8	
	女	100.0	--	--	--	--	--	--	--	0.7	--	0.2	0.9	3.3	4.8	7.0	8.8	16.3	22.7	35.2	
A047	[M]クロストリジウム・ディフィンルによる全腸炎	計	1	0.1	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
A049	[M]細菌性腸管感染症、詳細不明	男	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.3	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
A081	[M]ノーウォーク様ウイルスによる急性胃腸症	計	1	0.1	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
A09	[M]その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	男	1	0.1	29.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	29.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
A099	[M]詳細不明の原因による胃腸炎及び大腸炎	男	10	1.2	78.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	2	--	2	--	3
		女	2	0.5	87.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
A310	[M]肺非結核性抗酸菌感染症	男	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
A410	[M]黄色ブドウ球菌による敗血症	男	1	0.1	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.3	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
A411	[M]その他の明示されたブドウ球菌による敗血症	男	1	0.1	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
A418	[M]その他の明示された敗血症	男	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.3	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
A419	[M]敗血症、詳細不明	男	4	0.5	91.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3
		女	3	0.8	92.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2
A499	[M]細菌感染症、詳細不明	男	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	2	0.2	91.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
A810	[M]クロイツフェルト・ヤコブ<Creutzfeldt-Jakob>病	男	1	0.1	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1
B022	[M]帯状疱疹、その他の神経系合併症を伴うもの	男	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	1	0.3	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
B029	[M]帯状疱疹、合併症を伴わないもの	男	1	0.1	99.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	99.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
C109	[M]中咽頭、部位不明【中咽頭の悪性新生物<腫瘍>】	男	1	0.1	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
C169	[M]胃、部位不明【胃の悪性新生物<腫瘍>】	男	9	1.1	81.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	1	3	--	2	
		女	6	1.6	75.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	1	2	--	--	
C180	[M]盲腸【結腸の悪性新生物<腫瘍>】	男	2	0.2	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	1	--	2
		女	2	0.5	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	1	--	2
C182	[M]上行結腸【結腸の悪性新生物<腫瘍>】	男	2	0.2	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.5	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--
C186	[M]下行結腸【結腸の悪性新生物<腫瘍>】	男	1	0.1	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.3	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
C189	[M]結腸、部位不明【結腸の悪性新生物<腫瘍>】	男	2	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1
		女	2	0.4	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	1
C20	[M]直腸の悪性新生物<腫瘍>	男	6	0.7	68.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	4	1	--	--	--	--
		女	3	0.8	64.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	--	--	--	--	--
C220	[M]肝細胞癌【肝及び胆膵管の悪性新生物<腫瘍>】	男	3	0.4	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3
		女	3	0.8	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3
C227	[M]その他の明示された肝の癌(腫)【肝及び胆膵管の悪性新生物<腫瘍>】	男	2	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--
		女	2	0.4	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--
C241	[M]ファーター< Vater >乳頭膨大部【その他及び部位不明の胆膵の悪性新生物<腫瘍>】	男	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.3	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
C259	[M]膵、部位不明【膵の悪性新生物<腫瘍>】	男	1	0.1	63.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	63.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
C341	[M]上葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>】	男	1	0.1	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.3	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
C349	[M]気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>】	男	5	0.6	85.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	4	--
		女	3	0.8	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	--
C539	[M]子宮頸(部)、部位不明【子宮頸部の悪性新生物<腫瘍>】	男	1	0.1	52.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	52.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
C61	[M]前立腺の悪性新生物<腫瘍>	男	2	0.2	88.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		女	2	0.5	88.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
C65	[M]腎盂の悪性新生物<腫瘍>	男	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.3	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
C66	[M]尿管の悪性新生物<腫瘍>	男	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.3	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
C713	[M]頭頂葉【脳の悪性新生物<腫瘍>】	男	2	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.3	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
C719	[M]脳、部位不明【脳の悪性新生物<腫瘍>】	男	4	0.5	70.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	4	--	--	--	--	--	--
		女	4	1.1	70.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	4	--	--	--	--	--	--
C782	[M]胸膜の続発性悪性新生物<腫瘍>	男	1	0.1	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
C786	[M]後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物<腫瘍>	男	1	0.1	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.3	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
C787	[M]肝及び胆膵管の続発性悪性新生物<腫瘍>	男	2	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		女	1	0.3	70.0	--	--														





I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

		計	総数	構成比(%)	平均年齢	年齢階層																		
						0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳+		
J9619	[I]慢性呼吸不全	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--				
		男女	1	0.3	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--				
J9699	[I]呼吸不全	計	1	0.1	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.2	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K112	[M]唾液腺炎	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K210	[M]食道炎を伴う胃食道逆流症	計	1	0.1	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K251	[M]急性、穿孔を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--				
		男女	1	0.3	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--				
K284	[M]慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃空腸潰瘍】	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.3	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K289	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃空腸潰瘍】	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.3	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K350	[I]虫垂炎性腹膜炎	計	1	0.1	12.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--				
		男女	1	0.3	12.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--				
K358	[M]急性虫垂炎、その他及び詳細不明	計	2	0.2	19.5	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--				
		男女	1	0.3	17.0	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--			
K402	[M]両側性そけい尿管ヘルニア、閉塞及びえく瘻を伴わないもの	計	1	0.1	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--				
		男女	1	0.3	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--				
K409	[M]一側性又は患側不明のそけい尿管ヘルニア、閉塞及びえく瘻を伴わないもの	計	9	1.1	75.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	2	1	2				
		男女	8	2.1	74.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	2	1	1				
K439	[M]その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア、閉塞及びえく瘻を伴わないもの	計	1	0.1	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.2	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計	4	0.5	69.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	--	--	--	1				
		男女	1	0.3	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	--	--	--	1				
K562	[M]軸捻(転)	計	4	0.5	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	2				
		男女	1	0.3	63.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	2				
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	6	0.7	74.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	4	--	1	--				
		男女	5	1.3	72.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	4	--	--	--				
K572	[M]穿孔及び膿瘍を伴う大腸憩室性疾患	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K573	[M]穿孔又は膿瘍を伴わない大腸憩室性疾患	計	2	0.2	86.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
		男女	2	0.4	86.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1			
K593	[M]巨大結腸、他に分類されないもの	計	1	0.1	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--				
		男女	1	0.3	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--			
K635	[M]大腸<結腸>のポリープ	計	10	1.2	76.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	3	--	1	4				
		男女	5	1.3	78.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1	2				
K650	[M]急性腹膜炎	計	2	0.2	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--				
		男女	2	0.5	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--				
K703	[M]アルコール性肝硬変	計	1	0.1	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--				
		男女	1	0.3	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--				
K709	[M]アルコール性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
		男女	1	0.3	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--			
K767	[M]肝腎症候群	計	1	0.1	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--				
		男女	1	0.3	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--				
K769	[M]肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K802	[M]胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	2	0.2	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--				
		男女	1	0.3	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--				
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	6	0.7	84.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	2				
		男女	1	0.3	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	2				
K805	[M]胆管炎及び胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計	2	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--				
		男女	2	0.5	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--				
K810	[M]急性胆のう<嚢>炎	計	6	0.7	82.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	2				
		男女	3	0.8	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	1				
K830	[M]胆管炎	計	5	0.6	81.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	3	--				
		男女	1	0.3	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1				
K831	[M]胆管閉塞	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.3	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K838	[M]胆道のその他の明示された疾患	計	1	0.1	101.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.2	101.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K859	[M]急性膵炎、詳細不明	計	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--				
		男女	1	0.3	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--			
K913	[M]術後腸閉塞	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K921	[M]メレナ	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.3	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	6	0.7	88.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1	3				
		男女	3	0.8	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1				
L033	[M]体幹の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	1	0.1	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.2	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
L039	[M]蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	3	0.4	81.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1				
		男女	3	0.8	81.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1				
L309	[M]皮膚炎、詳細不明	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.3	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
L853	[M]皮膚乾燥症<乾皮症>	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.3	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
L899	[M]じょく<痔>瘻性潰瘍及び圧迫領域、詳細不明	計	1	0.1	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
		男女	1	0.2	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				

I CD10別・年齢階層別・病名数

		計	総数	構成比(%)	平均年齢	年齢階層																		
						0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳+		
M0091	[I]左化膿性関節炎・肩関節	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--		
		男女	1	0.3	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
M1126	[I]左膝関節偽痛風	計	1	0.1	103.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
		男女	1	0.2	103.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
M1316	[*]左膝関節炎	計	2	0.2	85.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	
		男女	2	0.4	85.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	1	0.1	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	
		男女	1	0.3	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計	14	1.7	80.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3	1	4	5	--	--	--	
		男女	3	0.8	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	1	--	1	--	
M318	[M]その他の明示されたえく 瘻>死性血管障害	計	1	0.1	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	4	4	--	--	1	
		男女	1	0.3	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
M353	[M]リウマチ性多発筋痛症	計	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	
		男女	1	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
M4652	[I]頸椎化膿性脊椎炎	計	1	0.1	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
		男女	1	0.3	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
M4786	[I]腰椎症	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	
		男女	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	
M4806	[*]腰部脊柱管狭窄症	計	5	0.6	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	1	1	1	1	
		男女	2	0.5	83.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	
M5456	[I]急性腰痛症	計	1	0.1	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
		男女	1	0.2	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
M6259	[I]廃用症候群	計	1	0.1	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
		男女	1	0.3	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
M6289	[*]横紋筋融解	計	3	0.4	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--	1	
		男女	3	0.8	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--	1	
M7056	[I]左化膿性膝蓋部滑液包炎	計	1	0.1	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
		男女	1	0.3	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
M8048	[I]ステロイド性脊椎圧迫骨折	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
		男女	1	0.3	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
M8149	[I]第5腰椎ステロイド性骨粗 鬆症	計	1	0.1	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	
		男女	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
M8705	[*]左特発性大腿骨内顆骨壊 死	計	2	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	
		男女	2	0.4	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	
N10	[M]急性尿細管間質性腎炎	計	12	1.4	85.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	1	4	4	--	--	4	
		男女	4	1.1	84.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	2	1	2	1	1	
N119	[M]慢性尿細管間質性腎炎、 詳細不明	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
		男女	1	0.3	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
N12	[M]尿細管間質性腎炎、急性又は慢 性と明示されないもの	計	1	0.1	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
		男女	1	0.2	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計	2	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	
		男女	1	0.3	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	
N183	[M]慢性腎臓病、ステージ3	計	1	0.1	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
		男女	1	0.3	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
N185	[M]慢性腎臓病、ステージ5	計	6	0.7	88.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	4	--	4	
		男女	6	1.3	88.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	4	--	
N189	[M]慢性腎臓病、詳細不明	計	6	0.7	71.8	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	3	1	--	--	1	--	--	1	
		男女	6	1.6	71.8	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--	1	--	--	
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	2	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1	
		男女	2	0.4	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1	
N210	[M]膀胱結石	計	1	0.1	101.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	
		男女	1	0.2	101.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	21	2.5	85.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	1	4	7	7	--	--	7	
		男女	10	2.6	84.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	1	4	3	--	--	3	
R042	[M]咯血	計	1	0.1	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男女	1	0.2	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
R090	[M]窒息	計	3	0.4	86.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	
		男女	3	0.7	86.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	
R101	[M]上腹部に局限した疼痛	計	1	0.1	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
		男女	1	0.3	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	2	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	1	
		男女	2	0.4	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	
R195	[M]その他の異常便	計	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	
		男女	1	0.3	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	
R233	[M]特発性斑状出血【その他 の皮膚変化】	計	1	0.1	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
		男女	1	0.2	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
R31	[M]詳細不明の血尿	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	
		男女	1	0.3	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	
R33	[M]尿閉	計	2	0.2	87.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1	
		男女	1	0.3	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	4	0.5	70.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	1	
		男女	2	0.5	77.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--	
R42	[M]めまい<眩暈>感及びよ ろめき感	計	4	0.5	86.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	2	--	2	
		男女	4	0.9	86.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	2	--	2	
R509	[M]発熱、詳細不明	計	3	0.4	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	--	--	--	--	
		男女	1	0.3	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--	--	
R53	[M]倦怠(感)及び疲労	計	1	0.3	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	
		男女	2	0.4	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1	
R54	[M]老衰	計	19	2.3	92.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	4	13	--	13	
		男女	4	1.1	91.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	--	2	
		計	15	3.3	93																			



ICD10別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
					--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T1420	[i]右アキレス腱断裂骨折	計	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男女	1	0.3	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
T427	[M]抗てんかん薬及び鎮静・催眠薬、詳細不明	計	2	0.2	73.5	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	1
		男女	1	0.3	54.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
T630	[M]ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.3	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	2	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1
		男女	1	0.3	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	1	0.2	99.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
T809	[M]輸液、輸血及び治療用注射に続発する詳細不明の合併症	計	1	0.1	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男女	1	0.3	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
T835	[M]尿路系プロステータス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男女	1	0.3	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
T845	[M]体内関節プロステータスによる感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男女	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
T941	[M]損傷の続発・後遺症、部位の明示されないもの	計	1	0.1	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男女	1	0.2	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
U071	[U]エマージェンシーコード U07.1	計	10	1.2	85.3	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	6
		男女	9	2.0	85.1	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	5
Z501	[M]その他の理学療法	計	22	2.6	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	3	6	4	5
		男女	10	2.6	79.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	1	1	2	2
Z966	[M]整形外科的関節挿入物の存在	計	12	2.6	84.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	5	2	3
		男女	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男女	1	0.3	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--



ICD10別・在院期間別・病名数

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
C786	[M]後腹膜及び膵臓の統発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.3	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
C787	[M]肝及び肝内胆管の統発性悪性新生物<腫瘍>	計	2	0.2	32	16.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.3	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
C793	[M]脳及び脳髄膜の統発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C795	[M]骨及び骨髄の統発性悪性新生物<腫瘍>	計	6	0.7	79	13.2	1	3	2	--	--	--	--	--	--
	男女	6	1.6	79	13.2	1	3	2	--	--	--	--	--	--	--
C859	[M]非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫、型不明	計	1	0.1	53	53.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	53	53.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
C900	[M]多発性骨髄腫	計	1	0.1	250	250.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--
	男女	1	0.2	250	250.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
D320	[M]脳髄膜【髄膜の良性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D374	[M]結腸【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D376	[M]肝、胆のう<嚢>及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.3	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
D500	[M]失血による鉄欠乏性貧血（慢性）	計	1	0.1	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.3	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
D509	[M]鉄欠乏性貧血、詳細不明	計	2	0.2	36	18.0	--	--	2	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.3	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
D649	[M]貧血、詳細不明	計	2	0.2	198	99.0	--	1	--	--	--	--	1	--	--
	男女	1	0.3	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
D689	[M]凝固障害、詳細不明	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
E10	[M]1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	計	2	0.2	97	48.5	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	2	0.4	97	48.5	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.3	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
E146	[M]その他の明示された合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.1	141	141.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
	男女	1	0.2	141	141.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
E162	[M]低血糖症、詳細不明	計	1	0.1	66	66.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
	男女	1	0.3	66	66.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
E41	[M]栄養性消耗症<マラスム>	計	1	0.1	58	58.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	1	0.3	58	58.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
E46	[M]詳細不明のタンパク<蛋白>エネルギー栄養失調（症）	計	2	0.2	148	74.0	--	--	1	--	--	--	1	--	--
	男女	2	0.5	148	74.0	--	--	1	--	--	--	--	1	--	--
E512	[M]ウェルニッケ<Wernicke>脳症<エンセファロパチ<シ>>	計	2	0.2	37	18.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--
	男女	2	0.5	37	18.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
E835	[M]カルシウム代謝障害	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	1	0.3	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
E86	[M]体液量減少（症）	計	10	1.2	256	25.6	3	2	2	1	--	2	--	--	--
	男女	5	1.3	112	22.4	2	1	1	--	--	1	--	--	--	--
E871	[M]低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	41	20.5	--	1	--	1	--	--	--	--	--
	男女	2	0.4	41	20.5	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--
E875	[M]高カリウム<K>血症	計	2	0.2	18	9.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.3	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F019	[M]血管性認知症、詳細不明	計	1	0.1	110	110.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--
	男女	1	0.2	110	110.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
F03	[M]詳細不明の認知症	計	2	0.2	8	4.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	2	0.5	8	4.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F102	[M]依存症候群【アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害】	計	3	0.4	29	9.7	2	--	1	--	--	--	--	--	--
	男女	3	0.8	29	9.7	2	--	1	--	--	--	--	--	--	--
F191	[M]有害な使用【多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	43	43.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
F459	[M]身体表現性障害、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F489	[M]神経症性障害、詳細不明	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
F508	[M]その他の摂食障害	計	1	0.1	99	99.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--
	男女	1	0.2	99	99.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
G039	[M]髄膜炎、詳細不明	計	1	0.1	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
G20	[M]パーキンソン<Parkinson>病	計	4	0.5	409	102.3	--	--	--	1	--	1	1	--	--
	男女	2	0.5	214	107.0	--	--	--	1	--	--	--	1	--	--
G231	[M]進行性上肢麻痺病【ステイラーリチャードソン・オズボーン<Steigler-Richardson-Osborne>病】	計	1	0.1	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	1	0.3	29	29.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
G309	[M]アルツハイマー<Alzheimer>病、詳細不明	計	8	1.0	466	58.3	2	2	--	1	1	2	--	--	--
	男女	3	0.8	263	87.7	--	--	--	--	1	1	1	--	--	--
G318	[M]神経系のその他の明示された変性疾患	計	5	1.1	203	40.6	2	2	--	--	--	1	--	--	--
	男女	1	0.1	46	46.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
G318	[M]神経系のその他の明示された変性疾患	計	1	0.2	46	46.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
	男女	1	0.2	46	46.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--

ICD10別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-		
G409	[M]てんかん、詳細不明	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳細不明	計	3	0.4	15	5.0	3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男女	3	0.8	15	5.0	3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G473	[M]睡眠時無呼吸	計	4	0.5	8	2.0	4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	4	1.1	8	2.0	4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G562	[M]尺骨神経の病変	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G580	[M]肋間ニューロパチ<シ>ー	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G903	[M]多系統変性(症)	計	5	0.6	57	11.4	2	2	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	5	1.1	57	11.4	2	2	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
H110	[M]翼状片	計	2	0.2	4	2.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.5	4	2.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
H250	[M]老人性初発白内障	計	6	0.7	40	6.7	4	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	4	1.1	34	8.5	2	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計	67	8.0	208	3.1	66	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	32	8.4	110	3.4	31	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
H811	[M]良性発作性めまい<眩暈(症)>	計	3	0.4	15	5.0	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.5	12	6.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
H813	[M]その他の末梢性めまい<眩暈(症)>	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
H814	[M]中枢性めまい<眩暈(症)>	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
H819	[M]前庭機能障害、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I10	[M]本態性(原発性<一過性>)高血圧(症)	計	2	0.2	23	11.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I201	[M]記録されたれんく撃>縮を伴う狭心症	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I209	[M]狭心症、詳細不明	計	1	0.1	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I219	[M]急性心筋梗塞、詳細不明	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I350	[M]大動脈弁狭窄(症)	計	2	0.2	33	16.5	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I441	[M]房室ブロック、第2度	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I480	[M]発作性心房細動	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I489	[M]心房細動及び心房粗動、詳細不明	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I500	[M]うっ血性心不全	計	18	2.2	510	28.3	2	5	--	5	4	2	--	--	--	--	--	--
		男女	7	1.8	127	18.1	1	4	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
I509	[M]心不全、詳細不明	計	58	7.0	2,025	34.9	11	16	4	11	6	5	4	1	--	--	--	--
		男女	24	6.3	604	25.2	4	9	--	5	4	2	--	--	--	--	--	--
I610	[M](大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	3	0.4	151	50.3	--	--	1	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男女	3	0.7	151	50.3	--	--	1	--	1	1	--	--	--	--	--	--
I620	[M]硬膜下出血(急性)(非外傷性)	計	2	0.2	111	55.5	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	49	49.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
I633	[M]脳動脈の血栓症による脳梗塞	計	6	0.7	167	27.8	--	1	2	--	3	--	--	--	--	--	--	--
		男女	3	0.8	75	25.0	--	1	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
I635	[M]脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	3	0.4	40	13.3	--	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	18	18.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I638	[M]その他の脳梗塞	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計	8	1.0	474	59.3	1	1	--	--	4	--	2	--	--	--	--	--
		男女	4	1.1	227	56.8	1	1	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
I671	[M]脳動脈瘤、非<未>破裂性	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I7020	[*]下肢閉塞性動脈硬化症	計	2	0.2	163	81.5	--	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	2	0.4	163	81.5	--	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--	--
I743	[M]下肢の動脈の血栓症及び血栓症	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I802	[M]下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓(性)静脈炎	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計	7	0.8	288	41.1	1	3	1	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	3	0.8	240	80.0	--	1	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	4	0.9	48	12.0	1	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	3	0.4	23	7.7	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	3	0.7	23	7.7	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ICD10別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-	
J189	[M]肺炎、詳細不明	計	28	3.4	998	35.6	3	8	4	1	8	1	3	--	--	--	
		男	15	3.9	490	32.7	2	6	1	--	4	1	1	--	--	--	--
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J439	[M]肺炎腫、詳細不明	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.4	89	29.7	1	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	38	19.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
J46	[M]喘息発作重積状態	計	1	0.1	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J690	[M]食物及び吐物による肺炎	計	34	4.1	1,457	42.9	3	5	5	7	8	1	5	--	--	--	--
		男	17	4.5	696	40.9	--	3	2	3	7	--	2	--	--	--	--
J849	[M]間質性肺疾患、詳細不明	計	2	0.2	135	67.5	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	106	106.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
J852	[M]肺炎を伴わない肺膿瘍	計	2	0.2	348	174.0	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
		男	1	0.3	210	210.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
J869	[M]瘻(孔)を伴わない膿胸(症)	計	2	0.2	122	61.0	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	122	61.0	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
J90	[M]胸水、他に分類されないもの	計	4	0.5	33	8.3	3	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	4	1.1	33	8.3	3	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J931	[M]その他の自然気胸	計	2	0.2	21	10.5	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	21	10.5	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J9609	[I]急性呼吸不全	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J9619	[I]慢性呼吸不全	計	1	0.1	26	26.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	26	26.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
J9699	[I]呼吸不全	計	1	0.1	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K112	[M]唾液腺炎	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K210	[M]食道炎を伴う胃食道逆流症	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K251	[M]急性、穿孔を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
K284	[M]慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃空腸潰瘍】	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K289	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃空腸潰瘍】	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K350	[I]虫垂炎性腹膜炎	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K358	[M]急性虫垂炎、その他及び詳細不明	計	2	0.2	6	3.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K402	[M]両側性そけい<鼠径>ヘルニア、閉塞及びえく<瘻>を伴わないもの	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K409	[M]一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア、閉塞及びえく<瘻>を伴わないもの	計	9	1.1	70	7.8	6	3	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	8	2.1	59	7.4	6	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K439	[M]その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア、閉塞及びえく<瘻>を伴わないもの	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計	4	0.5	27	6.8	3	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K562	[M]軸捻(転)	計	4	0.5	73	18.3	--	1	2	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	16	16.0	--	1	1	1	--	--	--	--	--	--	--
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	6	0.7	143	23.8	--	2	2	--	2	--	--	--	--	--	--
		男	5	1.3	121	24.2	--	2	1	--	2	--	--	--	--	--	--
K572	[M]穿孔及び膿瘍を伴う大腸の憩室性疾患	計	1	0.1	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K573	[M]穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	2	0.2	18	9.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.4	18	9.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K593	[M]巨大結腸、他に分類されないもの	計	1	0.1	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K635	[M]大腸<結腸>のポリープ	計	10	1.2	24	2.4	10	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	5	1.3	12	2.4	5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K650	[M]急性腹膜炎	計	2	0.2	36	18.0	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	36	18.0	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
K703	[M]アルコール性肝硬変	計	1	0.1	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K709	[M]アルコール性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K767	[M]肝腎症候群	計	1	0.1	175	175.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	175	175.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
K769	[M]肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--

ICD10別・在院期間別・病名数

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
K802	[M]胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	2	0.2	16	8.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	6	0.7	98	16.3	2	--	3	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K805	[M]胆管炎及び胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計	2	0.2	16	8.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	16	8.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--
K810	[M]急性胆のう<嚢>炎	計	6	0.7	131	21.8	1	1	--	2	2	--	--	--	--
		男	3	0.8	43	14.3	1	1	--	1	--	--	--	--	--
K830	[M]胆管炎	計	5	0.6	49	9.8	2	2	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K831	[M]胆管閉塞	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K838	[M]胆道のその他の明示された疾患	計	1	0.1	45	45.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	45	45.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K859	[M]急性膵炎、詳細不明	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K913	[M]術後腸閉塞	計	1	0.1	47	47.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	47	47.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K921	[M]メレナ	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	6	0.7	113	18.8	1	2	1	1	--	--	--	--	--
		男	3	0.8	60	20.0	--	2	--	1	--	--	--	--	--
L033	[M]体幹の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	1	0.1	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	3	0.4	58	19.3	--	1	1	--	1	--	--	--	--
		男	3	0.8	58	19.3	--	1	1	--	1	--	--	--	--
L309	[M]皮膚炎、詳細不明	計	1	0.1	24	24.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	24	24.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
L853	[M]皮膚乾燥症<乾皮症>	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
L899	[M]じょく<瘡>瘡性潰瘍及び圧迫領域、詳細不明	計	1	0.1	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
M0091	[I]左化膿性関節炎・肩関節	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
M1126	[I]左膝関節偽痛風	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
M1316	[I]*左膝関節炎	計	2	0.2	29	14.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.4	29	14.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	1	0.1	41	41.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	41	41.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計	14	1.7	507	36.2	--	--	10	2	2	--	--	--	--
		男	3	0.8	160	53.3	--	--	1	--	2	--	--	--	--
M318	[M]その他の明示されたえく瘡>死性血管障害	計	1	0.1	54	54.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	54	54.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M353	[M]リウマチ性多発筋痛症	計	1	0.1	102	102.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	102	102.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
M4652	[I]頸椎化膿性脊椎炎	計	1	0.1	26	26.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	26	26.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
M4786	[I]腰椎症	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
M4806	[I]*腰部脊柱管狭窄症	計	5	0.6	103	20.6	2	--	1	--	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	23	11.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--
M5456	[I]急性腰痛症	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
M6259	[I]廃用症候群	計	1	0.1	53	53.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	53	53.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M6289	[I]*横紋筋融解	計	3	0.4	85	28.3	1	1	--	--	1	--	--	--	--
		男	3	0.8	85	28.3	1	1	--	--	1	--	--	--	--
M7056	[I]左化膿性膝蓋部滑液包炎	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
M8048	[I]ステロイド性脊椎圧迫骨折	計	1	0.1	33	33.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	33	33.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M8149	[I]第5腰椎ステロイド性骨粗鬆症	計	1	0.1	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
M8705	[I]*左特発性大腿骨内顆骨壊死	計	2	0.2	74	37.0	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.4	74	37.0	--	--	1	1	--	--	--	--	--
N10	[M]急性尿管間質性腎炎	計	12	1.4	411	34.3	2	4	4	--	1	--	1	--	--
		男	4	1.1	118	29.5	2	--	1	--	1	--	--	--	--
N119	[M]慢性尿管間質性腎炎、詳細不明	計	1	0.1	33	33.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	33	33.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
N12	[M]尿管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--

ICD10別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計	2	0.2	64	32.0	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
N183	[M]慢性腎臓病、ステージ3	計	1	0.1	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
N185	[M]慢性腎臓病、ステージ5	計	6	0.7	221	36.8	--	3	--	--	1	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N189	[M]慢性腎臓病、詳細不明	計	6	0.7	93	15.5	2	2	--	2	--	--	--	--	--	--
		男	6	1.6	93	15.5	2	2	--	2	--	--	--	--	--	--
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	2	0.2	18	9.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N210	[M]膀胱結石	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	21	2.5	802	38.2	4	5	5	2	1	1	3	--	--	--
		男	10	2.6	419	41.9	1	3	2	1	1	1	1	--	--	--
R042	[M]喀血	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R090	[M]窒息	計	3	0.4	25	8.3	2	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R101	[M]上腹部に限局した疼痛	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	2	0.2	28	14.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R195	[M]その他の異常便	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R233	[M]特発性斑状出血【その他の皮膚変化】	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R31	[M]詳細不明の血尿	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R33	[M]尿閉	計	2	0.2	64	32.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	4	0.5	76	19.0	3	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	7	3.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R42	[M]めまい<眩暈>感及びよろめき感	計	4	0.5	27	6.8	2	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R509	[M]発熱、詳細不明	計	3	0.4	80	26.7	--	1	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
R53	[M]倦怠(感)及び疲労	計	3	0.4	47	15.7	1	1	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
R54	[M]老衰	計	19	2.3	2,528	133.1	--	--	--	--	6	3	6	2	2	--
		男	4	1.1	765	191.3	--	--	--	--	2	2	--	1	1	--
R568	[M]その他及び詳細不明のけいれん<痙攣>	計	1	0.1	47	47.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R630	[M]食欲不振	計	13	1.6	620	47.7	2	1	1	1	3	4	1	--	--	--
		男	6	1.6	187	31.2	2	--	1	1	1	1	--	--	--	--
R688	[M]その他の明示された全身症状及び徴候	計	1	0.1	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
R739	[M]高血糖、詳細不明	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S0270	[I]左顔面多発骨折	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S060	[M]振とう<暈>(症)	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S064	[M]硬膜外出血	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S0650	[I]左急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	計	1	0.1	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S066	[M]外傷性くも膜下出血	計	1	0.1	27	27.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	27	27.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S099	[M]頭部の詳細不明の損傷	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S2200	[*]第12胸椎圧迫骨折	計	9	1.1	294	32.7	1	2	1	2	1	2	--	--	--	--
		男	1	0.3	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S2240	[I]肋骨多発骨折	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S2720	[I]左外傷性血気胸・胸腔に達する開放創合併なし	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S310	[M]下背部及び骨盤部の開放創【腹部、下背部及び骨盤部の開放創】	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S3200	[*]腰椎圧迫骨折	計	21	2.5	724	34.5	2	4	2	6	3	3	1	--	--	--
		男	8	2.1	287	35.9	1	1	1	2	1	2	--	--	--	--
S3210	[*]右仙骨骨折	計	2	0.2	47	23.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	47	23.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--

ICD10別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
S3230	[I]右腸骨骨折	計	1	0.1	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S3240	[I]右寛骨臼骨折	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S3280	[I*]右坐骨骨折	計	2	0.2	110	55.0	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
S341	[M]腰髄のその他の損傷	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S4200	[I]左鎖骨遠位端骨折	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S4220	[I*]右上腕骨外科頸骨折	計	3	0.4	240	80.0	--	--	--	--	1	1	1	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--	--	--
S430	[M]肩関節脱臼	計	1	0.1	86	86.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	86	86.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
S5250	[I*]左橈骨遠位端骨折	計	3	0.4	71	23.7	1	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		男女	3	0.7	71	23.7	1	--	--	1	1	--	--	--	--	--
S5260	[I]左橈骨尺骨遠位端骨折	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S701	[M]大腿の挫傷	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S7200	[I*]左大腿骨頸部骨折	計	10	1.2	430	43.0	2	1	--	2	2	2	1	--	--	--
		男女	4	1.1	136	34.0	2	--	--	2	1	1	1	--	--	--
S7210	[I*]右大腿骨転子部骨折	計	15	1.8	796	53.1	2	1	--	2	5	4	--	1	--	--
		男女	3	0.8	260	86.7	1	--	--	--	1	1	--	1	--	--
S7230	[I]左大腿骨骨幹部骨折	計	1	0.1	90	90.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	90	90.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
S7240	[I*]左大腿骨頸上骨折の術後	計	2	0.2	85	42.5	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	47	47.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S801	[M]下腿のその他及び部位不明の挫傷	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S8200	[I]左膝蓋骨骨折	計	1	0.1	46	46.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	46	46.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S8220	[I]右脛骨腓骨骨折の術後	計	1	0.1	45	45.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	45	45.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S8260	[I*]左足関節外果骨折	計	2	0.2	188	94.0	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
		男女	2	0.4	188	94.0	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
S9200	[I]右踵骨骨折	計	1	0.1	38	38.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	38	38.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S9230	[I]右中足骨骨折	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
T0210	[I]胸腰椎圧迫骨折	計	1	0.1	30	30.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	30	30.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T08-0	[I]第3腰椎椎体圧迫骨折	計	1	0.1	56	56.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	56	56.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T130	[M]下肢の表在損傷、部位不明	計	1	0.1	59	59.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	59	59.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T140	[M]部位不明の表在損傷	計	1	0.1	74	74.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.3	74	74.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
T1420	[I]右アキレス腱剥離骨折	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T427	[M]抗てんかん薬及び鎮静・催眠薬、詳細不明	計	2	0.2	49	24.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	46	46.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T630	[M]へび毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	2	0.2	7	3.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T809	[M]輸液、輸血及び治療用注射に就発する詳細不明の合併症	計	1	0.1	176	176.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男女	1	0.3	176	176.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
T835	[M]尿路系プロステーシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	127	127.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男女	1	0.3	127	127.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
T845	[M]体内関節プロステーシスによる感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	44	44.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	44	44.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T941	[M]損傷の続発・後遺症、部位の明示されないもの	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
U071	[M]エマーゼンシーコードU07.1	計	10	1.2	317	31.7	2	1	--	--	4	1	--	--	--	--
		男女	1	0.3	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
Z501	[M]その他の理学療法	計	22	2.6	830	37.7	2	3	4	3	6	2	2	--	--	--
		男女	10	2.6	326	32.6	1	2	2	--	4	1	--	--	--	
Z966	[M]整形外科的関節挿入物の存在	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--

疾病中分類別・上位疾病別・病名数

番号	順位	コード	分類名	件数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	平均年齢
1	1	096	その他の型の心疾患	81	9.7	2,581	31.9	88.0
2	2	079	水晶体の障害	73	8.8	248	3.4	75.8
3	3	191	全身症状及び徴候	40	4.8	3,343	83.6	90.0
4	4	102	インフルエンザ及び肺炎	38	4.6	1,309	34.4	87.6
5	5	106	外的因子による肺疾患	34	4.1	1,457	42.9	86.6
6	6	023	消化器の悪性新生物<腫瘍>	29	3.5	599	20.7	76.2
7	6	200	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	29	3.5	986	34.0	81.6
8	6	204	股関節部及び大腿の損傷	29	3.5	1,418	48.9	85.9
9	9	116	腸のその他の疾患	28	3.4	329	11.8	76.4
10	10	097	脳血管疾患	25	3.0	983	39.3	83.0
11	11	119	胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害	24	2.9	369	15.4	81.2
12	12	223	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	22	2.6	830	37.7	82.0
13	13	149	尿路系のその他の疾患	21	2.5	802	38.2	85.8
14	14	053	代謝障害	15	1.8	347	23.1	85.7
15	14	131	関節症	15	1.8	548	36.5	79.5
16	14	146	腎不全	15	1.8	406	27.1	81.8
17	17	001	腸管感染症	14	1.7	137	9.8	74.6
18	17	145	腎尿細管間質性疾患	14	1.7	451	32.2	84.7
19	19	034	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	11	1.3	141	12.8	80.8
20	19	114	ヘルニア	11	1.3	90	8.2	77.2
21	19	199	胸部<郭>損傷	11	1.3	344	31.3	88.2

# 部門別統計

# 日野病院部門別各種統計調べ(No.1)

## 1、病院事業関係

(単位:人)

人工透析状況	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
実日数	259	255	249	249	254	254	0
実患者数	179	176	179	195	210	180	△ 30
延べ患者数	2,121	2,142	2,108	2,274	2,391	2,117	△ 274

(単位:件)

内視鏡検査	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
上部消化管内視鏡	735	737	791	914	884	960	76
胃透視	0	1	5	4	0	0	0
下部消化管内視鏡	139	126	182	165	165	183	18
嚥下カメラ	1	0	1	0	0	0	0
気管支鏡	11	2	0	0	0	1	1
胃ろう造設	13	15	12	14	5	10	5
膀胱鏡	21	16	9	9	17	24	7
尿管ステント交換	9	13	8	16	6	21	15

(単位:件)

超音波診断検査	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
腹部エコー	939	1,051	1,163	1,107	1,241	1,165	△ 76
心エコー	220	164	282	367	419	402	△ 17
その他エコー	263	230	208	233	317	178	△ 139

(単位:件)

検査室状況	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
生化学セット	10,944	10,816	11,796	11,861	12,640	12,503	△ 137
血液一般検査	9,711	9,519	10,296	10,584	11,561	11,708	147
凝固検査	2,669	2,889	2,763	2,581	3,355	2,849	△ 506
尿検査	4,557	5,214	5,735	5,771	6,058	6,409	351
PCR検査	0	0	0	628	1,583	5,605	4,022
心電図	1,728	1,763	1,859	2,059	2,120	2,132	12
呼吸機能	368	318	348	368	416	400	△ 16
誘発筋電図	126	72	101	110	102	8	△ 94
眼底カメラ	288	279	288	294	318	365	47
脳波	27	13	12	18	12	7	△ 5
血圧脈波	197	234	234	273	251	295	44
計	30,615	31,117	33,432	34,547	38,416	42,281	3,865

(単位:件)

放射線状況	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
一般撮影	6,739	6,052	6,251	5,308	5,646	5,064	△ 582
ポータブル撮影	802	584	541	650	552	486	△ 66
外科用イメージ撮影	86	72	61	81	21	50	29
骨塩定量	787	828	886	780	754	679	△ 75
マンモ撮影	11	17	13	19	11	4	△ 7
造影・透視	110	150	134	158	93	93	0
訪問撮影	19	25	25	19	21	6	△ 15
CT検査	2,001	1,963	2,183	2,296	2,305	2,163	△ 142
MRI検査	1,166	1,054	1,057	1,179	1,347	1,236	△ 111
計	11,721	10,745	11,151	10,490	10,750	9,781	△ 969
遠隔読影	3,240	3,091	3,573	3,944	4,124	3,698	△ 426

(単位:件)

検査実施状況	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
人間ドック	107	107	115	128	138	133	△ 5
人間ドック(MRI含)	42	28	28	35	46	58	12
共済組合ドック	71	67	61	67	80	81	1
脳ドック	65	70	81	54	44	67	23
生活習慣病健診	134	145	164	174	179	186	7
子宮がん	27	38	33	42	42	50	8
乳がんマンモ	1	7	6	9	5	0	△ 5
骨塩	23	37	37	24	29	19	△ 10
胃がん	0	0	0	37	80	82	2
原爆検診	2	1	1	1	2	0	△ 2
予防接種	1,760	1,988	2,132	2,340	2,142	2,157	15
特定健診	11	10	6	15	6	5	△ 1
事業所健診	39	53	51	46	60	68	8
DWIBS	0	0	0	0	3	30	27
計	2,282	2,551	2,715	2,972	2,856	2,936	80

## 日野病院部門別各種統計調べ(No.2)

(単位:件)

手術件数	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
外科	68	66	59	71	63	72	9
整形外科	165	135	145	144	120	56	△ 64
眼科	90	98	95	55	58	82	24
脳外科	0	0	2	0	0	0	0
計	323	299	301	270	241	210	△ 31

(単位:単位数)

作業療法状況	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
運動器Ⅰ	1,862	1,006	590	1,329	859	1,800	941
呼吸器Ⅰ	1,276	86	167	551	296	683	387
脳血管Ⅱ	1,984	1,436	370	1,800	1,323	2,112	789
地域包括ケア病床分	1,765	1,384	1,023	2,451	2,285	2,990	705
単位数合計	6,887	3,912	2,150	6,131	4,763	7,585	2,822

(単位:件)

薬状局況	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
服薬指導(人数)	406	356	412	394	348	290	△ 58
服薬指導(件数)	716	626	696	747	727	550	△ 177
処方箋枚数	9,750	10,036	11,946	11,048	12,347	12,244	△ 103
薬剤数	28,019	26,115	34,210	35,318	38,383	38,218	△ 165
注射薬枚数	13,620	12,718	12,884	13,634	13,965	13,742	△ 223
中心静脈栄養本数	2,615	2,973	2,919	4,618	3,908	3,281	△ 627
疑義照会	811	758	700	596	648	787	139

(単位:単位数)

言語聴覚療法状況	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
呼吸器Ⅰ	0	0	0	1,366	1,812	1,548	△ 264
脳血管Ⅱ	2,639	2,116	1,093	1,968	1,960	2,100	140
脳血管Ⅲ	0	0	312	0	0	0	0
地域包括ケア病床分	107	69	12	12	2	0	△ 2
単位数合計	2,746	2,185	1,417	3,346	3,774	3,648	△ 126
摂食機能療法(件数)	3,235	3,389	3,315	2,401	1,648	1,668	20

(単位:件)

栄養管理室状況	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
入院時食事療養	73,484	71,079	73,877	68,742	69,647	66,250	△ 3,397
特別食加算	30,952	33,841	36,346	38,096	36,894	37,985	1,091
食堂加算	24,956	24,400	25,134	23,481	23,778	22,622	△ 1,156
入院時延べ食数	73,484	71,079	73,877	68,742	69,647	66,250	△ 3,397
外来透折食	867	662	588	497	390	422	32
栄養指導	548	559	669	810	689	661	△ 28
栄養情報提供加算	0	0	0	79	79	101	22
その他のイベント等指導	87	171	67	0	0	0	0

(単位:単位数)

リハビリテーション合計	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
運動器Ⅰ	11,331	11,230	9,240	9,426	9,681	10,565	884
呼吸器Ⅰ	5,112	4,728	4,280	4,691	6,170	5,677	△ 493
脳血管Ⅱ	9,470	7,550	3,236	8,425	8,467	9,321	854
脳血管Ⅲ	0	0	687	0	0	0	0
地域包括ケア病床分	15,351	15,809	14,908	17,304	16,929	15,613	△ 1,316
単位数合計	41,264	39,317	32,351	39,846	41,247	41,176	△ 71

### 2、在宅介護支援事業関係

(単位:人)

訪問看護	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
実利用者数	503	508	537	636	612	663	51
延べ利用者数	1,920	1,760	1,863	1,999	1,762	1,856	94

(単位:人)

訪問リハビリ	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
実利用者数	777	831	908	915	871	937	66
延べ利用者数	4,074	4,354	4,460	4,733	4,602	4,943	341

(単位:件)

居宅支援	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
介護	1,075	1,120	1,182	1,143	983	809	△ 174
予防	609	610	564	519	494	435	△ 59

(単位:単位数)

理学療法状況	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	差引
運動器Ⅰ	9,469	10,224	8,650	8,097	8,822	8,765	△ 57
呼吸器Ⅰ	3,836	4,642	4,113	2,774	4,062	3,446	△ 616
脳血管Ⅱ	4,847	3,998	1,773	4,657	5,184	5,109	△ 75
脳血管Ⅲ	0	0	375	0	0	0	0
地域包括ケア病床分	13,479	14,356	13,873	14,841	14,642	12,623	△ 2,019
単位数合計	31,631	33,220	28,784	30,369	32,710	29,943	△ 2,767
消炎鎮痛(件数)	520	320	263	433	181	210	29
退院時指導(件数)	330	364	370	396	391	356	△ 35
退院前指導(件数)	112	102	119	126	132	106	△ 26

メディカルソーシャルワーカー業務統計(令和4年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
援助 件数		431	360	368	384	404	451	519	530	425	529	533	558	5,492
入院・外来の内訳	入院	360	291	274	280	288	326	403	420	350	432	436	457	4,317
	外来	71	69	94	104	116	125	116	110	75	97	97	101	1,175
新規・継続の内訳	新規	48	56	52	48	69	69	60	70	41	61	53	49	676
	継続	383	304	316	336	335	382	459	460	384	468	480	509	4,816
援助内容	経済的・社会的問題の解決調整	30	27	9	13	30	24	30	35	20	28	28	24	298
	診療関係の援助	176	132	173	173	192	201	246	255	190	216	240	231	2,425
	人間関係の援助	61	24	37	33	48	44	47	52	38	51	66	49	550
	心理情緒的問題の援助	81	29	28	35	33	52	58	66	33	39	41	41	536
	社会復帰・退院援助	299	246	218	233	213	265	286	302	261	348	341	354	3,366
	関係(者)機関との連携・協力	328	271	278	283	304	340	374	410	357	406	413	412	4,176
面接等対象者	医師	275	200	193	203	192	231	261	270	269	289	290	277	2,950
	看護師	157	114	123	126	125	172	185	200	181	179	202	214	1,978
	職員	107	95	96	120	83	149	159	170	139	124	159	144	1,545
	本人	233	181	166	156	181	165	218	219	205	229	222	210	2,385
	家族	210	166	171	137	158	172	236	240	193	241	218	232	2,374
	関係機関	328	271	278	283	304	340	374	388	357	406	413	412	4,154
	その他	1	4	2	4	1	2	0	2	2	10	4	3	35
援助方法	面接	212	152	127	137	146	126	178	180	139	169	187	152	1,905
	協議	72	58	54	62	40	62	77	78	62	57	70	73	765
	訪問	12	9	5	5	9	9	7	8	13	3	12	10	102
	電話	317	284	288	283	333	367	394	410	395	483	482	463	4,499
	文書	47	65	55	57	45	75	91	95	68	87	61	80	826
新規紹介経路	医師	27	31	21	24	29	34	26	27	34	42	36	26	357
	看護師	22	13	15	14	18	29	18	20	23	26	17	21	236
	職員	7	10	7	7	11	18	20	21	12	11	16	3	143
	本人	20	35	28	20	34	31	27	28	25	26	21	17	312
	家族	6	21	12	10	9	18	19	20	14	21	13	8	171
	関係機関	34	39	44	39	56	60	44	60	36	49	42	39	542
	その他	0	4	0	1	1	0	2	1	0	1	0	0	10
介護支援連携指導(400点)		6	5	5	5	4	5	4	7	4	2	3	5	55
退院後訪問(580点)														0
退院支援計画(700点)		13	27	21	17	18	23	20	20	19	16	19	20	233
退院時共同指導(2000点)														0
在宅患者緊急時カンファレンス(200点)														0

# 3、業績

## **職員の表彰等**（令和4年4月～令和5年3月）

**令和4年度薬事功労者厚生労働大臣表彰**（令和4年10月6日受賞）

森田俊博（薬剤師）

**第30回日本癌治療学会学術集会 Medical Staff Award**（令和4年10月22日受賞）

山本直子（副医療技術局長）

**第2回便秘エコー研究会最優秀演題賞**（令和4年12月18日受賞）

野村友輪子（看護師）

**令和4年度職員表彰**（令和5年3月31日受賞）

長尾孝夫（臨床検査室長）、上田宏美（准看護師）、吉原早月（クラーク）、福田さゆり（クラーク）

## **論文誌上发表**（令和4年1月～令和4年12月）

### 1. 原著論文

#### **Prevalence and Characteristics of Hepatic Hemangioma Associated with Coagulopathy and Its Predictive Risk Factors**

Shigeo Maruyama, Tomomitsu Matono and Masahiko Koda

J. Clin. Med. 2022, 11(15), 4347; <https://doi.org/10.3390/jcm11154347>

#### **当院における医師からのインシデントレポート：他職種との比較および現状と課題**

谷口雄司、齋藤憲輝、吉持智恵、米山久美子、井上幸次

精神科 40 巻 Page186-194

#### **Multicenter prospective observational study of fungal keratitis in Japan: analyses of culture-positive cases.**

Inoue Y, Ohashi Y, Shimomura Y, Sotozono C, Hatano H, Fukuda M, Eguchi H, Araki-Sasaki K, Suzuki T, Hoshi S, Asari S, Sunada A, Kimura K, Yaguchi T, Makimura K, Multicenter Study Group of Fungal Keratitis in Japan

Jpn J Ophthalmol 66:227-239, 2022 [doi.org/10.1007/s10384-022-00904-5](https://doi.org/10.1007/s10384-022-00904-5)

**Multicenter prospective observational study of fungal keratitis in Japan:  
Analyses of in vitro susceptibility tests for combinations of drugs.**

Kimura K, Inoue Y, Asari S, Sunada A, Ohashi Y, Shimomura Y, Sotozono C, Hatano H, Fukuda M, Eguchi H, Araki-Sasaki K, Suzuki T, Hoshi S, Tobe T, Yaguchi T, Makimura K, Multicenter Study Group of Fungal Keratitis in Japan  
Jpn J Ophthalmol 66:240-253, 2022 doi.org/ 10.1007/s10384-022-00907-2

**細菌性眼瞼炎に対するアジスロマイシン点眼液を用いた治療プロトコルの検討—第一報：  
臨床経過の検討**

子島良平、井上智之、加治優一、鈴木崇、服部貴明、星最智、戸所大輔、江口洋、井上幸次  
あたらしい眼科 39 巻 Page999-1004

**Analysis of treatment protocols using azithromycin eye drops for bacterial blepharitis:  
second report—bacteriological investigation**

Nejima R, Eguchi H, Todokoro T, Inoue T, Kaji Y, Suzuki T, Hattori T, Hoshi S, Sasaki Y, & Inoue Y  
Jpn J Ophthalmol 66:579-589, 2022 doi: 10.1007/s10384-022-00947-8

**血液透析患者における腸管気腫症による食欲不振 症例報告  
(Anorexia in a hemodialysis patient due to pneumatosis intestinalis: A case report)**

Son Daisuke, Inoue Kazuoki, Lee Young, Kamimoto Minako, Imaoka Shintaro, Yamamoto Shiori, Hamada Toshihiro, Taniguchi Shin-ichi, Koda Masahiko  
Journal of General and Family Medicine (2189-6577) 23 巻 1 号 Page41-43 (2022. 01)

## 2. 総説・解説論文

**感染性角膜炎診療ガイドライン(第2版)**

井上幸次  
眼科 64 巻 Page1235-1241 (2022)

**特定健康診査・後期高齢者健診からの非ウイルス性肝疾患拾い上げ**

孝田雅彦  
疾病構造の地域特性対策専門委員会報告 36 巻 Page8-9 (2022. 05)

**中山間地域における地域医療連携ネットワーク構築を目的に医療福祉従事者の意見を反映し  
開発した情報共有アプリケーションの運用**

田中武志、山口浩一、井上和興、孫大輔、孝田雅彦、谷口晋一  
日本プライマリ・ケア連合学会誌 (2185-2928) 45 巻 3 号 Page102-105 (2022. 09)

### 3. 著書

#### 細隙灯顕微鏡検査

#### 今日の眼疾患治療指針 第4版 (大路正人、他編)

井上幸次

医学書院 Page49-52

### 4. 会議録/症例報告

#### 生活習慣病患者における炭水化物摂取量・食品多様性得点による食事内容の検討

権代恭介、白岩幸水恵、孝田雅彦、池田紗矢、中井翼、平井実佳子、佐々木修一

日本病態栄養学会誌 (1345-8167) 24-25 巻 Suppl. Page S-17 (2022. 01)

#### 後期高齢者の消化器領域悪性腫瘍診断における全身拡散強調画像 (DWIBS) の有用性

平井実佳子、佐々木修一、孝田雅彦

日本消化器病学会雑誌 (0446-6586) 119 巻臨増総会 Page A368 (2022. 03)

#### 新規ミセル化技術で開発したビタミンK製剤は胆汁うっ滞による凝固能異常を回復させる

星野由樹、杉原誉明、木原琢也、池田傑、松木由佳子、神田努、永原天和、植木賢、

孝田雅彦、磯本一

肝臓 (0451-4203) 63 巻 Suppl. 1 Page A357 (2022. 04)

#### 健診からの肝臓がん高リスク患者拾い上げ

孝田雅彦、三好謙一、廣田綺羅々、山下裕子

鳥取医学雑誌 (0388-3795) 50 巻 1-2 号 Page62 (2022. 06)

#### 時間予約制導入による外来待ち時間の変化と患者の実感

山形睦美、孝田雅彦、池田清香

日本医療マネジメント学会雑誌 (1881-2503) 23 巻 Suppl, Page180 (2022. 07)

#### 地域健診からの肝臓がん高リスク患者拾い上げの試み

孝田雅彦、三好謙一、岡野淳一

肝臓 (0451-4203) 63 巻 Suppl. 2 Page A557 (2022. 09)

#### 肝血管腫の自然経過と治療の必要性

丸山茂雄、孝田雅彦、的野智光

日本消化器病学会雑誌 (0446-6586) 119 巻臨増大会 Page A758 (2022. 10)

## 5. その他

### **日野病院病院長コラム 第 61 回 新型コロナウイルス オミクロン（o）株の再襲来**

孝田雅彦

広報ひの 1 月号（令和 4 年 1 月発行） p15, 2022

### **日野病院の医療機器充実化**

孝田雅彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 73 号（令和 4 年 1 月発行） p2, 2022

### **新春随想「令和 3 年度へき地医療貢献者表彰」を受賞して—地域医療における白内障手術—**

玉井嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 73 回(令和 4 年 1 月発行)p3,2022

### **令和 3 年度へき地医療貢献者表彰を受賞して —地域医療における白内障—**

玉井嗣彦

全国自治体病院協議会雑誌 第 61 巻 第 1 号(令和 4 年 1 月発行)p47-49,2022

### **日野病院病院長コラム 第 62 回 最も怖いがん 膵臓がん**

孝田雅彦

広報ひの 2 月号（令和 4 年 2 月発行） p11, 2022

### **日野病院病院長コラム 第 63 回 家族にこんな症状の人はいませんか？**

#### **認知症の周辺症状—その① 「財布を盗られた」もの盗られ妄想**

孝田雅彦

広報ひの 3 月号（令和 4 年 3 月発行） p11, 2022

### **井上幸次教授ご退官を間近に控えて**

玉井嗣彦

鳥取県眼科医会会報 第 45 号（令和 4 年 3 月 11 日発行） p2-3, 2022

### **「あなたの健康、目の健康」**

玉井嗣彦

米子ロータリークラブ週報（令和 4 年 3 月 11 日発行） p2, 2022

### **日野病院病院長コラム 第 64 回 家族にこんな症状の人はいませんか？**

#### **認知症の症状 - その② 徘徊**

孝田雅彦

広報ひの 4 月号（令和 4 年 4 月発行） p19, 2022

**日野病院病院長コラム 第 65 回 家族にこんな症状の人はいませんか？**

**認知症の症状 - その③ 怒りっぽい、暴言、暴力**

孝田雅彦

広報ひの 5 月号（令和 4 年 5 月発行） p11, 2022

**人の本性を制御できるのは道徳的行為**

孝田雅彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 74 号（令和 4 年 5 月発行） p 2, 2022

**名誉病院長就任のご挨拶**

井上幸次

日野病院組合だより せせらぎ 第 74 号（令和 4 年 5 月発行） p3, 2022

**日野病院院長コラム第 66 回 健診で分かる肝臓がんのなりやすさ**

**- FIB - 4 を用いた肝臓がん高危険者の拾い上げ事業 -**

孝田雅彦

広報ひの 6 月号（令和 4 年 6 月発行） p15, 2022

**日野病院病院長コラム 第 67 回 熱中症 今年はやっぱり危険、もっと危険**

孝田雅彦

広報ひの 7 月号（令和 4 年 7 月発行） p11, 2022

**日野病院病院長コラム 第 68 回 オンライン診療しています - 上手に使えるとっても便利！ -**

孝田雅彦

広報ひの 8 月号（令和 4 年 8 月発行） p11, 2022

**日野病院病院長コラム 第 69 回 フルーツがおいしい季節 高カリウム血症にご用心**

孝田雅彦

広報ひの 9 月号（令和 4 年 9 月発行） p11, 2022

**院内における新型コロナウイルスクラスター発生のご報告とお詫び**

孝田雅彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 75 号（令和 4 年 9 月発行） p 2, 2022

**ウイルスという名の賢者**

井上幸次

日野病院組合だより せせらぎ 第 75 号（令和 4 年 9 月発行） p3, 2022

**日野病院病院長コラム 第 70 回 統計学 - 医療に必須の知識です**

孝田雅彦

広報ひの 10 月号 (令和 4 年 10 月発行) p11, 2022

**日野病院病院長コラム 第 71 回 おなかの石はやっかい その 1 胆石**

孝田雅彦

広報ひの 11 月号 (令和 4 年 11 月発行) p15, 2022

**日野病院病院長コラム 第 72 回 お酒の話 その 1 肝臓の障害**

孝田雅彦

広報ひの 12 月号 (令和 4 年 12 月発行) p19, 2022

**学会等発表** (令和 4 年 1 月～令和 4 年 12 月)

**1. 国内学会**

**非 B 非 C スクリーニング現状と今後の展望** (令和 4 年 3 月 17 日 WEB)

住民健診からの肝臓がん高リスク群拾い上げの試み

孝田雅彦

**2021 年度鳥取県放射線技師学術大会・がん研究会** (令和 4 年 3 月 13 日 鳥取 WEB)

1. 5T MRI アップグレードにおける臨床的効果

福田里奈、松田貴寛、佐々木健二、足羽康治

**2021 年度鳥取県放射線技師学術大会・がん研究会** (令和 4 年 3 月 13 日 鳥取 WEB)

1. 5T MRI アップグレードにおける臨床的効果

福田里奈、松田貴寛、佐々木健二、足羽康治

**第 126 回日本眼科学会総会** (令和 4 年 4 月 14 日-17 日 大阪)

単純ヘルペスウイルス角膜炎再発とウイルス再活性化に関わる要因の評価

大松寛、宮崎大、清水由美子、春木智子、井上幸次

感染性角膜炎の AI 診断における病原体特異的所見の自動抽出手法の開発

宮崎大、綾塚祐二、中川雄次、小山あゆみ、春木智子、井上幸次

**第 108 回日本消化器病学会総会（令和 4 年 4 月 21 日 東京）**

後期高齢者の消化器領域悪性腫瘍診断における全身拡散強調画像（DWIBS）の有用性  
平井実佳子、孝田雅彦、佐々木修一

**第 66 回山陰眼科集談会（令和 4 年 5 月 15 日 出雲 WEB）**

単純ヘルペスウイルスとメチシリン耐性ブドウ球菌の混合感染による角膜炎の 1 例  
森山望、春木智子、清水由美子、宮崎大、井上幸次

実質型角膜ヘルペス治療中止後の涙液中サイトカインの経時推移と再発の関連  
春木智子、岡本直記、清水由美子、宮崎大、井上幸次

白内障術後 60 年以上経過して発症した水晶体起因性続発緑内障の 1 例  
稲田耕大、春木智子、宮崎大、井上幸次

**令和 4 年度鳥取県医学会（令和 4 年 6 月 19 日 鳥取）**

健診からの肝臓がん高リスク患者拾い上げ  
孝田雅彦、三好謙一、廣田綺羅々、山下裕子

**第 58 回日本眼感染症学会（令和 4 年 7 月 8 日-10 日 広島）**

単純ヘルペスウイルスとメチシリン耐性ブドウ球菌の混合感染による角膜炎の 1 例  
森山望、春木智子、清水由美子、宮崎大、井上幸次

実質型角膜ヘルペス治療中止後の涙液中サイトカインの経時推移と再発の関連  
春木智子、宮崎大、岡本直記、清水由美子、井上幸次

**第 55 回日本眼炎症学会（令和 4 年 7 月 8 日-10 日 広島）**

ヤマカガシ頸腺毒による角結膜炎の 1 例—フウセントウワタ眼障害との比較検討—（ポスター）  
松浦一貴、井上幸次、寺坂祐樹

**第 24 回日本医療マネジメント学会（令和 4 年 8 月 8 日-9 日 神戸）**

時間予約制導入が待ち時間に与える影響と患者の実態  
山形睦美

**日本超音波医学会第 58 回中国地方会学術集会（令和 4 年 9 月 3 日 米子 WEB）**

看護師による腹部エコー直腸内便貯留の評価  
野村友輪子、松田遥菜、妹尾小百合、池田清香、孝田雅彦

**第 16 回看護協会看護研究学会（令和 4 年 9 月 8 日）**

A 病棟の転倒・転落のインシデントにおける課題  
久光優希、生田磨美、朝野純子、妹尾小百合

**第 76 回日本臨床眼科学会（令和 4 年 10 月 13 日-16 日 東京）**

眼瞼炎のアジスロマイシン点眼治療前後の自覚症状の変化に関する因子分析

鈴木崇、子島良平、井上智之、加治優一、服部貴明、星最智、戸所大輔、江口洋、井上幸次

悩ましい結膜炎の鑑別・治療

井上幸次

**第 5 回日本眼科アレルギー学会学術集会（令和 4 年 11 月 5 日-6 日 米子）**

アレルギー疾患の単純ヘルペスウイルス角膜炎再発への寄与の構造方程式モデリング

大松寛、宮崎大、清水由美子、春木智子、井上幸次

**第 60 回全国自治体病院学会（令和 4 年 11 月 10 日 沖縄）**

行政との協働による透析患者送迎サービス導入における MSW のソーシャルアクション  
（ポスター）

山口浩一、緒形崇子、田中恵、近藤智富美、小川勝、角嶋美鈴、池田清香、孝田雅彦

看護師による便秘エコーの有用性（ポスター）

野村友輪子、松田遥菜、妹尾小百合、池田清香、孝田雅彦

直腸内便貯留に対する看護師による便秘エコー経腹アプローチと経臀裂アプローチの比較  
（ポスター）

松田遥菜、野村友輪子、妹尾小百合、池田清香、孝田雅彦

時間予約制導入が外来待ち時間に与える影響と患者の実感（ポスター）

山形睦美、孝田雅彦、孫大輔、佐々木修一、村上空里、石飛明日香、長尾加奈子、朝野純子、野坂由貴子、池田清香、河本亮介、福田さゆり

高齢者肺炎の治癒診断における携帯超音波による肺 POCUS の有用性（ポスター）

孝田雅彦

**自治体病院全国大会 2022 経営セミナー（令和 4 年 11 月 15 日 東京）**

超高齢化、高齢人口減少地区における小自治体病院の役割と戦略

孝田雅彦

**第 2 回慢性便秘エコー研究会（令和 4 年 12 月 17 日 東京）**

看護師によるエコーを用いた便秘の評価

野村友輪子、松田遥菜、妹尾小百合、池田清香、孝田雅彦

**第 127 回日本内科学会中国地方会（令和 4 年 12 月 17 日 岡山）**

間質性肺炎を合併した AFP 産生胃がんの 1 例

孝田雅彦、北浦剛、中井翼、下坂拓矢、佐々木修一、佐藤尚喜

**2. 研究会 その他**

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和 4 年 1 月放送）**

日野病院だより：「冬の室内での注意点」

中井翼

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和 4 年 2 月放送）**

日野病院だより：「胃カメラ検査」

平井実佳子

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和 4 年 3 月放送）**

日野病院だより：「MRI 健診 DWIBS」

松田貴寛

**米子ロータリークラブ 第 3305 回例会（令和 4 年 3 月 4 日 ANAクラウンプラザホテル米子）**

プログラム「卓話」 「あなたの健康、目の健康」

玉井嗣彦

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和 4 年 4 月放送）**

日野病院だより：「新入職員紹介」

松田貴寛

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和 4 年 5 月放送）**

日野病院だより：「言語聴覚士の仕事」

木村哲人

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和 4 年 6 月放送）**

日野病院だより：「熱中症について」

城間奈々子、境田明日香

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和 4 年 7 月放送）**

日野病院だより：「白内障手術が日帰りも可能に」

井上幸次

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和4年8月放送）**

日野病院だより：「Hino's Kitchen」

権代恭介

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和4年9月放送）**

日野病院だより：「新型コロナウイルス」

朝野純子、小川香織

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和4年10月放送）**

日野病院だより：「眼科からのお知らせ」

徳岡靖子

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和4年11月放送）**

日野病院だより：「工夫された福祉用具」

田中武志

**中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和4年12月放送）**

日野病院だより：「転倒予防」

大塚健一

## 4、新聞記事等

# 日野病院病院長コラム

(広報ひの)

## 認知症の周辺症状—その② 徘徊

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



### 認知症による徘徊 記憶障害と見当識障害

「○○さんの行方が分かりません」このような地域の放送を聞いたことはないでしょうか。

徘徊は認知症の患者さんでよく見られます。徘徊と言っても、何の目的もなくうろろしているわけではないようです。家を出るときは職場に行こうと思ったり、家族の元へ行こうと思ったりしているようですが、途中で目的地を忘れてしまったり、自分がどこにいるのか分からなくなってしまうったり、あるいは、自分が何をしようとしているのかも忘れてしまいます。医学的に述べると、徘徊

は記憶障害と見当識障害によって起こります。記憶障害は前回述べましたので、今回は見当識障害について述べます。

見当識とは時間と場所空間の中に自分を位置づける能力です。見当識が障害されると時間が分からなくなり、季節・日付も分からなくなり、現在と過去の区別がつかなくなり、若いころの自分を今の自分と違い、鏡に映った年老いた自分が分からず、他人と違って話しかけたりします。場所の見当識障害が起こると毎日歩いている道が分からなくなり、近所で迷子になったり、家の中でトイレが分からなくなってお漏らしをすることもあります。

次に、自分の年齢や周囲の人との関係性が分からなくなったり、家族が分からなくなったり、家族を見て「どなた様ですか？」と聞くようなことになります。毎日お世話をしている家族が分からなくなると、家族にとつてはとてもショックなことです。見当識障害は時間・場所・人の順にあらわれます。

### 徘徊を予防するために 大切なことは

さて、徘徊に話を戻しましょう。徘徊が起こると、交通事故にあつたり、けがをしたり、場合によっては死亡する場合があります。介護者は患者を心配して近所を探し回ったり、警察に連絡したりと、身体的にも精神的にもヘトヘトになってしまうと、高齢化社会における大きな社会問題です。

では、どのようにして予防すれば良いでしょうか。確実な対策はありませんが、いくつか試みるべきことがあります。まず、患者のストレスを

減らすことです。自宅に居場所がないとか、恐怖を感じるかもしれないようにしてください。次に、趣味や仕事など役割を与えることです。畑仕事や編み物、集中できるものであればなんでも良いと思います。体調や生活のリズムを整え、気持ちを落ち着かせるのも大切です。腰痛や頻尿、不眠があれば徘徊のリスクは増加します。持病があれば治療しましょう。

徘徊は家族だけで対処しようと思わず、地域のコミュニケーションの利用などで介護者の負担を減らすことが、患者にとつてもいい影響を与えます。



## 認知症の周辺症状－その③

### 怒りっぽい、暴言、暴力

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



#### 前頭葉の委縮で起こる 人格変化の症状

「怒りっぽくなった」「暴言を吐く」「暴力をふるう」これも認知症の患者さんでよく見られます。これは主に前頭葉の萎縮による症状です。

前頭葉は人間が他の動物と比べて最も発達した部位であり、人格に関わるとともに人間の社会的行動、感情をコントロールする役割があります。お酒に酔っ払うと暴言を吐いたり、暴れたり、あるいは陽気になったり、泣き上戸になったりします。これは、アルコールにより前頭葉の働きが麻痺して感情のコントロー

ルができなくなった状態です。

アルツハイマー型認知症では側頭葉の萎縮が最初に来るため記憶障害がまずあらわれ、その後、前頭葉の萎縮が来るためこのような症状は病状が進行してから起こります。

一方、前頭葉側頭葉型認知症は前頭葉が早く、急速に萎縮するため、記憶障害よりも人格変化が早く起こり、発症早期から怒りっぽくなります。

#### 落ち着いて否定せず 肯定的に対応を

怒りの原因を調べると、①周囲の状況が理解できず混乱している②周囲の

人との関係性もつれる③体調不良が怒りにすり替わっている、などがあります。では、どのように対処すれば良いでしょうか。

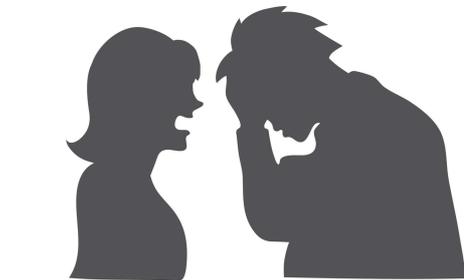
まず、してはいけないことは、怒っている人を叱ることです。暴言を吐かれればつい反論し叱ってしまいがちになります。怒っている理由が分かっているのに、忘れてしまっています。

また、怒りの原因である妄想や勘違いは訂正が不可能です。叱ると叱られたことはわかって、なぜ叱られたかは理解できないため、より感情的になってしまいます。興

奮しているときはその場を離れ、様子を見るのが無難です。落ち着いてくれば声をかけて話を聞いて、否定せずに肯定的に対応しましょう。

しかし、暴言・暴力が頻回になれば医師に相談し、薬物療法を加えることも必要になります。介護者がギブアップ状態になる前に、早めに一度相談し、経過を見ながら必要時に薬物を追加するのが良いと思います。

認知症の患者への対応は長く、根気のいる、正解のないものです。介護者が疲弊しないように助け合っていきましょう。



# 健診で分かる肝臓がんのなりやすさ

## —FIB-4 を用いた肝臓がん高危険者の拾い上げ事業—

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



ウイルスだけじゃない？  
肝臓がんの原因の変化

肝臓がんは、日本人のがん死亡原因の第5位です。これまでの町報でも何度か肝臓病についてお知らせしてきましたが、今回は昨年からは日野郡・西伯郡で行っている、肝臓がんになりやすい患者さんの拾い上げと定期検査についてお知らせします。

肝臓がんの原因は、30年前はC型肝炎ウイルスとB型肝炎ウイルスが90%を占めていました。その後、抗ウイルス剤の進歩によりC型肝炎はウイルスを排除することができるようになり、B型肝炎ではウイルスの活動をとめることによって、

ウイルス性肝臓がんは年々減少しました。

ところが、最近ではウイルス以外の肝臓がんが増えています。最近3年間の鳥取県の肝臓がんの60%は、ウイルス以外が原因です。

### 高危険者を発見する

#### FIB・4インデックス

では、このウイルス以外による肝臓がんの原因は何でしょうか。

それは、脂肪肝とアルコールが半分半分です。しかも、これらの患者さんはウイルス性肝臓病の患者さんとは異なり、日ごろ肝臓病として病院に通院していないため、肝臓がんが発見されたときには手遅れのことが多い、治療が困難です。

そこで、鳥取県肝臓がん対策専門委員会では、非ウイルス性の肝臓がんの高危険者を見つける方法として、FIB・4インデックスを使用することにしました。これは、健診で測定される肝臓検査のASTとALTと、医療機関で測定する血小板から計算できます。

FIB・4が2.67以下

上の人は、2.67以下の人より6倍から11倍、肝臓がんが発症しやすいことが分かっています。役場から健診（特定健康診査、後期高齢者健診）で生活習慣病のある患者さんは、FIB・4を測定することをお勧めする通知が来ますので、かかりつけ医の先生に通知をお渡しし、ぜひ受けてください。後日、FIB・4の結果を役場から報告します。

FIB・4が2.67以上であった高危険患者さんは、医療機関で精密検査（超音波検査、腫瘍マーカー）、また、年2回の定期検査を受けることが大切です。

高危険の人では、年に1%、つまり10年で10%、20年で20%の患者さんに肝臓がん

が発症します。FIB・4値が高ければ高いほど発がんの頻度は増加します。

毎年の定期検査は特に重要です。定期検査は血液検査と超音波検査だけです。決して苦しい検査ではありません。日ごろかかりつけ医に診てもらっているも、腹部超音波検査をしていなければ肝臓がんは見つかりません。必ず定期検査を受けるようにしてください。

肝臓がんは早期に見つけることによって、10年、20年と長生きができる時代になりました。簡単な検査です。ぜひ一度FIB・4の測定をお勧めします。



日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



後を絶たない熱中症  
「自分は大丈夫」は危険？

これまでも3回、夏の町報に熱中症について書いてきました。今年は空梅雨で、6月末から35度以上の猛暑日や40度の記録的な暑さが全国で報じられています。

もう日野町の皆さんは熱中症対策を理解できていると思つていましたが、今年もやはり、熱中症で入院してくる患者さんが後を絶ちません。患者さんに聞くと、これぐらいは今までしていたから大丈夫と思つた、もう少しだけだからいいだろうと思つた、などといわれます。

これらは、何の根拠もな

いのに自分だけは大丈夫と思つてしまう人間の習性です。行動経済学では正常性バイアスと呼ばれます。

また、正常性バイアスは人数が多いほどかかりやすいといった特徴があります。多人数でゲートボールをしていて、熱中症の初期症状が出てくるのに他の人たちが一見普通にしてしていると、自分も大丈夫と考えて異常に気付くのが遅れ、何人もの人が熱中症になってしまいます。

人の行動は、必ずしも合理的ではないのです。後でゆっくり考えると間違っていると思われることも、そのときにはその行動が正しいと判断してしまいます。ほとんどの患者さんは、熱中症になった後で危険なこととは分かっていたのにやめられなかったと話しています。ではどうすれば良いのでしょうか。

逆にこの行動経済学の理論を利用する方法があります。先ほどの例では、ゲートボールを1時間すれば、みんな10分間休憩して水分を取れることをルールとして決めれば良いのです。こ

れは周囲の人を気にする「社会的選好」を利用したものです。

熱中症予防の基本を守り  
楽しい夏を過ごしましょう

それでは、もう一度熱中症予防の基本を復習しましょう。

①日中の暑い時間帯、日差しが強い時間は外に出ない。どうしても出るときは日傘、帽子を着用しましょう。

②屋外では時間を決めて休憩と水分補給を行う。1時間ごとの休憩と1日1、2リットル以上の水分を取りましょう。

③屋内でも冷房をつけて、水分補給を行う。風通しを良くし、室温を確認しまし

う。

④夜間でも熱帯夜では冷房、扇風機をつけ、水分を取る。入浴前後、起床時は必ず水分を補給しましょう。

⑤それでも頭痛、吐き気、めまい、倦怠感が出てきたら、すぐに病院を受診してください。受診までの間に、涼しい場所に移動し、衣服を緩めて、首、脇、足の付け根を冷やしましょう。

熱中症の予防法は知っていることばかりです。正常性バイアスに陥らないように、休憩や水分摂取を習慣づけることが大切です。

これからが夏本番、楽しい夏を悲しい夏にしないように、家族みんなで予防を心がけましょう。



日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



コロナ禍で需要が高まる  
オンライン診療

新型コロナウイルスはB.A.5が全国でまん延し、鳥取県でも毎日のように感染者の記録を更新しています。残念ながら日野病院でもクラスターが発生し、その対応に難渋しています。幸い、今のところ重症者はなく、いづれも軽症です。おそらく、B.A.5は病原性が弱いのとワクチン接種の効果があり、皆さん軽症で済んでいるものと思います。

油断はできませんが、そろそろ新型コロナウイルスも普通の風邪として対応する時がきたように思います。感染しない、させないように感

染予防は怠らないようにしましょう。

さて、昨年より日野病院ではオンライン診療を開始しています。新型コロナウイルスなどの新興感染症のため病院への受診を控えたい、交通の便が悪く頻回に通院できない、病状が安定しており、いつもの薬がほしい、病状について相談したい、など、オンライン診療の需要はたくさんあります。

当初、日野病院では新型コロナウイルスのパンデミックに備えて、オンライン診療ができるように体制を作りました。幸い、受診控えが必要なほどの状況にはならなかったのですが、今後はオンライン診療の範囲を広げていきたいと考えています。では、オンライン診療にはどのような準備がいるのでしょうか。

病院側ではパソコンとインターネットの回線、医師の研修・登録（現在は孝田、佐々木が登録済み）、患者さん側ではビデオカメラ付きパソコンか、スマートフォンと自宅インターネットに接続できる回線、支払いのためにクレジットカード

が必要で。これだけでオンライン診療は可能です。

処方せんは病院から薬局に送られるので薬は薬局に取りに行けば良いです。配達をしてくれる薬局であれば自宅で受け取れます。接続の仕方は病院で一度事務員が指導しますので心配はありませんが、日ごろ、パソコンやスマートフォンを使わない人には少し難しいかもしれません。ご家族に慣れた人がいれば簡単にできると思います。

オンライン診療を  
上手に使用って負担軽減へ

オンライン診療が便利な具体例を考えてみましょう。  
①新しい薬が投与され、副作用がないかチェックしたい。効果を主治医と確認したい。

②いつも飲んでいる睡眠薬を処方してほしい。

③次の受診日までまだ日数があるが、少し体調に気になることがあり相談したい。  
④前回の検査結果を教えてください。  
⑤自宅で測定している血圧や血糖の経過をみてもらいたい。  
いかがですか。あなたも使えそうなものはありますか？

数年後には、まずオンライン診療のみでもらい、その中から必要な患者さんが受診する時代が来ると思います。対面診療に比べまだまだ制限は多いですが、オンライン診療についてより詳細な説明が聞きたい人は、日野病院かかりつけ医または事務にご相談ください。



# 第69回 フルーツがおいしい季節 高カリウム血症にご用心

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



## 果物や生野菜に多く含まれるカリウム

夏の終わりから秋になると外来の患者さんでよく見られるのが、高K（カリウム）血症です。日野病院で血液検査をしてもらったら、Kと書いてある値を見てください。3.5から5.0くらいまでが正常です。5を超えたら、食事に気を付けましょう。

カリウムの多い食品は果物や生野菜です。秋は柿、梨、りんご、桃、ぶどう、みかん、メロン、キウイなどフルーツのおいしい季節です。でもこれらにはカリウムがたくさん含まれています。日野郡の名産品トマ

ト、これは他の野菜に比べるとカリウムは少なめですが、日野のトマトはおいしいためたくさん摂取する人が多く、高カリウム血症になってしまいます。

## 腎臓が悪い人は要注意 高カリウム血症

「カリウムは血圧にいいというじゃないか。どうして悪いんだ」と反論する人がおられると思います。カリウムを多く取ると、ナトリウムの排泄が増加して高血圧の予防になります。しかしこれは、腎臓の働きが良い人に言えることです。

高齢になってくると腎臓の働きは徐々に低下し、日常的には問題なくても、カリウムの排泄能力が低下するため、高カリウム血症になりやすいのです。特に、高血圧、慢性腎臓病のある人は、降圧剤を内服している人はカリウムが上昇しやすいので気をつけましょう。

では、高カリウム血症になればどんな症状が出るのでしょうか。重要なものは不整脈です。心臓は電気信号によって脈を打っています。高カリウム血症はこの

電気信号の電導を妨げるため、突然の心停止を来します。心電図をとると血中カリウム値が5.5くらいから変化があらわれますが、自覚的には重篤な不整脈が出るまで症状がないため、突然死となってしまうます。

## おいしいフルーツでも食べ過ぎは禁物

治療は、血中カリウム値が5.5から6.0までは食事療法と、カリウムを上昇させる薬を飲んでいる場合は薬を中止・変更します。生野菜は湯通しして、カリウムをお湯の中に流してから食べてください。果物は控えましょう。

6.0から6.5はカリウムを低下させる内服薬を

投与し、入院するか、重症に経過を見ます。6.5以上は入院し、カリウムの吸着剤の内服、肛門からの注腸、点滴にてカリウムを低下させます。腎不全で高カリウム血症になっている場合は緊急透析が必要です。

このように、カリウムは多すぎると毒になります。柿がおいしい、トマトが大好きとあって、自分の体を考えずにたくさん食べると大変なことになります。過ぎたるは及ばざるがごとし、何事もほどほどです。





日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

医学、医療と切り離せない  
統計学

今回は少し難しいかも知れませんが、医学、医療を考える上でとっても大切な統計学についてお話しします。統計と聞いただけで読むのをやめたという人も、今回は試しに読んでみてください。

先日、新型コロナウイルスに感染した患者さんは10日であった療養期間を7日間に短縮すると厚生省が発表しました。ここで一般の人は、7日経てばウイルスは出なくなつてまわりに感染させないと考える人が多いと思います。

一方、統計を知る人は、

ウイルスが消失する期間のばらつきはどうなっているかを考えます。ウイルスは、感染したすべての患者さんから突然7日で消えるわけではありません。ある程度のばらつきを持って消失します。

大部分の患者、例えば95%の患者においてウイルスが消えるのが7±2日(5~9日)であるとする、10日後での解除で患者さんがその後周りの人に感染させる危険性は5%以下となります。一方、7日後の解除では、ウイルスを排出している患者は25%と報告されています。

この結果を聞いて、今回の解除時期の変更をどのように判断しますか。ウィズコロナで経済を回すためにこれくらいのリスクは仕方がないとするか、ダメとするかは、医療・統計の問題ではなく、政治判断です。

統計学から見る  
医療の選択について

次は、治療法の選択の問題です。

例えば、肝臓がんの治療法として、針を穿刺して焼

灼する方法と手術をして肝臓の一部とともに切除する方法があります。これらの方法は、がんが3個以内でそれぞれ2センチ以下の大きさ、また一部の肝臓を取っても肝臓の働きが維持できる患者で行われます。焼灼法は患者さんの負担は少なく、1日で治療でき数日で退院できます。切除では負担は大きいものの焼灼法よりも確実です。

2つの方法で治療した患者のその後の生存率をみると、5年生存率は両者とも約80%で統計学的にも両方に差を認めません。統計学的には差はないので、みんな負担の少ない焼灼法をするでしょうか。ガイドラインではどちらでも良いとなっております。

しかし、専門家はここでさらに考えます。生存曲線を詳しくみると、切除は術直後に生存率が90%に減少しています。つまり、術後経過が悪くて10%の人が亡くなっているのです。一方、焼灼法では術後亡くなる人はなく、5年の間にゆっくりと生存率が80%に下がります。5年以降も徐々に低

下し、10年生存率は60%になります。切除では術直後に90%になりますが、その後の低下は小さく、5年で80%ですが、10年でも75%を維持します。

こうなると、あなたどちらを選択しますか。患者さんが80歳であれば焼灼法が良いかもしれません。60歳であれば切除が良いかも重視するか、長期の生存率を重視するか、悩ましい問題です。

統計学は判断する材料を与えてくれるため、必ず理解する必要があります。しかし、統計がすべてではなく、最終的にはその人の価値判断に委ねられることも多く、感情に流されたり、思考停止にならないように冷静に考えることが大切です。





日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

### 油断ならない胆石 詰まると激しい痛みも

秋は健康診断の季節です。年末に向けて、体に無理が来ていないかチェックしてもらいましょう。

そのときはぜひ、超音波検査を受けてください。超音波検査は痛くもかゆくもない検査で、おなか全体を調べることができます。この超音波検査でよく発見されるのが胆石です。胆石は成人の10人に1人が持っているといわれています。ありふれた病気ではありますが、決して油断して良い病気ではありません。

一言で胆石と言っても、胆石のある場所によって

その病態は大きく異なります。最も多いのが胆嚢内にある胆石で、80%、次は総胆管内が20%、肝内胆管は数%です。できる場所によって胆石の成分は異なりますが、主にコレステロールとビリルビン、カルシウムが含まれています。

胆嚢胆石はコレステロールが多く、総胆管結石はビリルビンカルシウム石が多いのですが、これらの成分が混じったものが最も多くみられます。胆嚢に石があってもコロコロ転がっているときにはほとんど症状はありません。

しかし、胆石が胆嚢の出口や細い胆管に詰まると、突然激しい痛みが出現します。主におなかのみぞおちから右上が痛み、右肩の方にも響くような痛みが起ります。これを胆石発作といえます。

胆石が詰まったり、離れたりすると弱い痛みが食後の度に起こるようなこともあります。特に脂っこいものを食べると胆嚢が大きく収縮するため、胆石がスボットとつまって激痛が起ります。

胆管が完全につまると黄疸が出ます。この状態に細菌感染症を併発すると重症となり、一刻も早く治療しないと、細菌が全身に回って敗血症となり死亡にまで至ります。

### 胆石を発見するために 超音波検査を受けましょう

このようなことが急に起こらないよう超音波検査を受けて、胆石がないか確認しましょう。総胆管に胆石がある場合は早急に胆石を取る必要があります。今では内視鏡によって胆石を取り除いて掃除することができます。

胆嚢と総胆管の両方に胆石があるときは総胆管の石を内視鏡で取った後、胆嚢を切除する必要があります。一回の手術で両方を取ることもあります。少しおなかの傷が大きくなります。胆嚢にだけ石があり、

症状がない無症状胆石の場合は経過観察となります。コレステロール結石の場合はウルソデオキシコール酸という薬を使って、胆石を溶かし、胆汁の流れも良くします。

無症状胆石の患者さんが将来胆石発作をおこすかどうかは半々と言われています。急におなか痛くなつた時、医師に胆石持ちであることを必ず話してください。診断の助けになり、治療も早くできるようになります。

でも、胆石ができないようにするのが一番です。肥満、糖尿病、高脂血症は危険因子で、脂っこいもの、コレステロールの多い食事、カロリーの取り過ぎに注意しましょう。超音波検査で胆石が見つかったら慌てず騒がず、日野病院の医師に相談してください。



日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

### 過度の飲酒は禁物 アルコールによる健康障害

「もういくつねるとお正月 お正月には・・・」

滝廉太郎の「お正月」ですが、「・・・」に飲酒がくする大人が多いのではないのでしょうか。今回は、アルコールによる健康障害のお話をしたいと思います。

皆さんはどれくらいアルコール類を飲まれるでしょうか。日本人の年間アルコール消費量は、国民1人あたりエタノール7.2L、年つまり19.7ml/日、日本酒にして約1合です。しかし、全く飲まない人やたまにしか飲まない人もいますので、日本酒にして3合以

上の多量飲酒者は860万人と推定されています。

過度の飲酒は消化器、循環器、脳、神経に障害を与え、寿命を短くすることは多くの論文で証明されています。

近年、ウイルス性肝硬変が減少したもののアルコール性肝硬変、肝がんは増加傾向にあります。アルコールの代謝は遺伝子によって規定されているため、人によって大きくその能力が異なります。

アルコールによる障害は主にエタノールが分解されてできるアセトアルデヒドによって引き起こされ、このアセトアルデヒドが分解される能力が重要です。分解の非常に遅い人は下戸で全くお酒は飲めません。やや遅い人はお酒を飲むとすぐに赤くなる、フラッシュヤーと呼びます。

フラッシュヤーはお酒を飲み続けるとだんだん飲める量が増えてきますが、この人が最も健康障害を起こしやすいタイプです。分解のやや速い人は酔いますが、あまり顔は赤くなりません。分解の非常に速い人は

酔いませんし、顔が赤くもなりません。

健康障害を起こしやすい順番は、分解のやや遅い人Vやや速い人V非常に速い人V非常に遅い人です。基本的には男3合（エタノール60g）以上、女2合（エタノール40g）以上の飲酒は肝障害を起こします。女性は男性よりも少ない飲酒量で障害を起こします。女性ホルモンがエタノールの分解を遅らせるため、女性に障害が出やすくなります。

### 正月や宴会、日頃から 良い飲酒を心掛けて

肝臓が障害されると脂肪肝から肝硬変、肝臓がんへと進展していきます。この診断には超音波検査が有効で、日野病院では肝脂肪量や肝臓の硬さを測ることができます。肝臓が硬くなればすぐにでも減酒、禁酒をする必要があります。

お酒をたくさん飲む人で特に気をつけたいといけなのは、日ごろ多めの飲酒があり、正月や宴会などで急に大量飲酒すると起こるアルコール性肝炎です。こ

れは急激に肝臓が破壊されるため、半数以上の人が死亡します。

当院でも過去5年間で2人の死亡がありました。大病院に転送し、さまざまな治療を行っても救命できませんでした。大量の飲酒は非常に危険であることを忘れないでください。常日ごろの飲酒においてもお酒だけを飲むのではなく、タンパク質やビタミンの豊富な酒の肴をつまみながら飲むようにしてください。

タンパク質やビタミンの不足は肝障害をより悪化させます。お正月も2合以内で酒の肴をつまみながらゆっくり飲むのが良い飲み方です。





日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

### お酒で引き起こされる さまざまな臓器障害

お酒の害といえば肝臓のことが強調されますが、実はさまざまな臓器に障害が起ります。

肝臓の次によく知られているのが膵臓です。アルコール膵炎には急性と慢性がありますが、いずれも飲み過ぎが原因です。肝臓とは異なり、膵炎は上腹部と背中に激しい痛みが起り、持続します。多くの患者さんは食事を取るたびに激しい痛みに襲われ、食事が取れなくなり、やせていきます。

また、膵臓が障害されることによって糖尿病も併発します。禁酒ができないア

ルコール性膵炎の患者さんは生命予後が悪く、つまり禁酒ができるかどうかはその人の寿命を決めます。

次に重要な障害は、心臓や血管系に対する影響です。日本酒換算で1合（アルコール20g）以下の飲酒は心臓に保護的に働くというデータもありますが、1合を超える心不全、不整脈、心房細動、高血圧、脳出血の発症を増加させたり、病状を悪化させます。飲み過ぎた翌日は不整脈が頻発することはよく経験します。

飲酒と認知症の関連も、最近よく研究されています。飲酒量と脳萎縮の程度は相関します。つまり、多く飲めば飲むほど脳は小さくなるということです。

また、大量飲酒者はそうでない人に比べて認知症は4.6倍、うつ病は3.7倍なりやすいことが分かっています。特に、中年の頃に飲酒量が多いと認知症の危険性が高くなります。さらに、アルコール依存症の患者さんでは、ウエルニツケーコルサコフ症候群と呼ばれる特徴的な脳障害が起

こります。これは物忘れ、時間や場所が分からなくなる見当識障害、作り話をしてしまう作話（さくわ）といった症状があらわれます。

飲酒の脳への障害機序はアルコールによる直接障害だけではなく、アルコール代謝に多くのビタミンB1が消費され、ビタミンB1欠乏による脳障害が加わります。前回は述べましたが、飲酒時にビタミンを多く含む食事をつまみにとることが大切です。

### 発がんリスクも 多量の飲酒は控えて

最後に、飲酒とがんについてお話しします。

飲酒では、アルコール自体とアルコールの代謝物であるアセトアルデヒドの両方に発がん作用があります。特に起こりやすいがんは肝臓がん、膵臓がん、大腸がん、食道がん、咽喉頭がん、乳がんです。

タバコを吸う方はさらに発がん率が高くなります。アセトアルデヒドの代謝が遅いフラッシュヤー（少量の飲酒で赤くなる人、二日酔

いになりやすい人）は特にがんの発生が多いので注意が必要です。禁酒によってある程度は発がんが抑制できますが、非飲酒者の発がん率までにはなりません。

ちなみに多くの臓器が障害されることを考えると、飲酒は1合以下が無難な量です。少ないと思うかもしれませんが、たまには2合、日ごろは1合にしましょう。

次回はお酒をやめたい、あるいは減らしたいと思っている人にその方法をお知らせします。



日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



**危険でない範囲の減酒  
ハームリダクション**

さて、今回はお酒を止めた、あるいは減らしたいと思っただけでもできない方にぜひ知ってもらいたいお話です。

まずお酒を止めないといけないかどうかは、かかりつけの先生に相談してみてください。自分で知りたいときは、AUDIT(\*)、AUDIT-C(\*\*)という質問票があります。AUDITで8点以上は危険な飲酒、15点以上はアルコール依存症です。AUDIT・CはAUDITの簡略版で、男性で5点、女性で4点以上は危険な飲

酒で、飲酒量を減らす必要があります。

これまでアルコール関連疾患があると禁酒というのが基本でした。しかし、一度に禁酒することが困難な患者さんが多く、禁酒までしなくても危険でない範囲までの減酒を行う方法が行われるようになりました。つまり、ハームリダクション(害を減らす)という考えです。

また、減酒のための薬も開発され、講習を受けた医師による処方が可能となりました。日野病院では私、孝田が資格を持っています。

**自分の飲酒量を知り  
生活環境の改善を**

では実際の減酒療法の方法を示します。まず、これまでどれくらい飲酒しているか知ることが必要です。飲酒日記をつけてもらい、飲酒量、飲み方、時間帯等をチェックし、目標飲酒量の設定を行います。生活環境の改善を行い、目標の飲酒量になるように努力しても

らい、必要であれば減酒薬であるセリンクロを投与して、3カ月後に効果の判定を行います。

目標に達しないときは話し合いながら、減酒の方法を工夫し、治療を継続します。目標に達すれば1年程度経過を見て、減酒が継続できていれば薬剤を中止します。必要があれば禁酒まで治療します。

減酒の方法を患者さんと医師が一緒に考えながら治療を進めていきます。治療の主人公は患者さんですので、少しでも減酒したいという意志がないと治療を続けることはできません。

**減酒療法の手助けに  
減酒薬セリンクロ**

次に減酒療法の手助けとなる薬、減酒薬セリンクロについて説明します。これまでも嫌酒薬(お酒を飲むと二日酔いの症状が強く出る薬)や断酒薬がありました。副作用などのためあまり使われませんでした。しかし、セリンクロは副作用も軽

度で後遺症が出ることはありません。

セリンクロを内服すると、お酒を飲んでいても程には欲しくなくなり、お酒を飲まなくても渴望感が出てくなくなります。通常、お酒を飲むと脳内のμ受容体が刺激され気持ちよくなり、もつと飲みたくなりますが、セリンクロはこの受容体をブロックしてあまり飲みたくなりにくくします。

また、アルコール依存症ではお酒を飲まない脳内のκ受容体を介して禁断症状があらわれますが、セリンクロはこのκ受容体も抑制するのでお酒を飲みたくなる渴望感が出なくなります。この薬を使うことで減酒があまり苦痛なくできるようになります。

医師に減酒、禁酒を勧められている方、アルコールによる何らかの障害が出ている方は一度私の外来を受診してください。きっと良い方法が見つかります。

(\*) AUDIT … <https://kurihama.hosp.go.jp/hospital/screening/audit.html>

(\*\*) AUDIT-C … <https://kurihama.hosp.go.jp/hospital/screening/audit-c.html>



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

**経験する頻度が高い疾患  
尿路結石**

「突然、背中から脇腹にかけて激しい痛みがおこり、脂汗がでて、トイレに行くと赤い尿（血尿）ができました」このような症状で救急受診される患者がおられます。

まず、考えられるのは尿路結石です。尿路結石は男で7人に1人、女で15人に1人が経験する非常に頻度の高い疾患です。尿路結石の痛み（腎臓痛）は激烈で、じっとしておれず、歩き回ったり、身をよじったりします。この痛みが1〜2時間続き、一旦収まっても排石されるまで周期的に繰り返します。

痛みの場所は結石の部位により異なりますが、脇腹、背中、下腹部、陰囊の方にも広がります。この痛みはおしつこの通路である尿路に石がつまることによつて起こりますが、ここに細菌が入ると発熱を併発し、尿路系の内圧が上昇すると血液中へ尿が逆流し、細菌が血中に入ることによつて、敗血症、敗血症性ショック、死亡にまで至ることがあります。

特に、高齢者では痛みの症状が軽くても感染を合併することが多く、重篤になりやすいので注意が必要です。

**水分不足、脂肪の多い食事が原因に**

では、結石はどうしてできるのでしょうか。

尿路結石の種類は85%がシュウ酸カルシウム、10%が尿酸です。尿が濃くなると、尿中のシュウ酸、カルシウム、尿酸が析出し、かたまり石となります。したがって、水分を控えたり、汗をかいて脱水になると起こりやすくなります。また、脂肪の多い食事は



腸で脂肪がカルシウムと結合するため、通常はカルシウムと結合して便中に排泄されるシュウ酸が血中に取り込まれ、尿に排泄されたときにカルシウムと結合して、結石を作ります。つまり、脂肪の取り過ぎは尿路結石の原因となります。結石ができてしまったときはどうすれば良いでしょうか。

5ミリ以下の小さな結石は、水分を多く取れば自然に尿中に排泄されることもあります。しかし、痛みが出た場合は治療が必要です。5ミリを超える結石は自然に排石されることは困難なので、体外衝撃波破碎療法や内視鏡を尿道から挿

入し、結石に直接レーザーを用いて破壊して排石します。

結石は再発率が高く、治療後は予防が大切です。水分を多く取ることで、脂肪摂取を減らすこと、シュウ酸を多く含む食品（ホウレンソウ、タケノコ、ナス、ピーナッツ、コーヒール、紅茶）を摂取するときは、カルシウムを多く含む食品（乳製品、エビ、カニ、小魚）を同時にとってください。

腎臓痛を経験した人は二度と経験したくないと言います。皆さんもぜひ予防に努めてください。



# その他の新聞記事

# 常勤1病院だけの日野郡



日野郡は、鳥取県日野郡の3町は郡内の小児科医を持続的に確保するため、連携して医師の受け入れ体制を整備に乗り出す。共同で小児科医を雇い、各町の公立医療機関を回って診療や予防接種、乳児健診などを担ってもらう。将来的に他の診療科にも及び、住民が地元で専門医の診療を受けられる環境を維持したい考えだ。

連携するのは、いずれも自治体経営の日野病院(日野町野田)、日南病院(日南町生山)、江尾診療所(江府町江尾)の3医療機関。小児科の常勤医がいるのは日野病院だけだが、高齢のため後継者が不足している。

地域医療を支える、いずれも自治体経営の(左から)江尾診療所(江府町江尾)、日野病院(日野町野田)、日南病院(日南町生山)＝コラーージュ

## 3医療機関が連携で後継

日野病院(日野町野田)、日南病院(日南町生山)、江尾診療所(江府町江尾)の3医療機関。小児科の常勤医がいるのは日野病院だけだが、高齢のため後継者が不足している。

日野病院(日野町野田)、日南病院(日南町生山)、江尾診療所(江府町江尾)の3医療機関。小児科の常勤医がいるのは日野病院だけだが、高齢のため後継者が不足している。

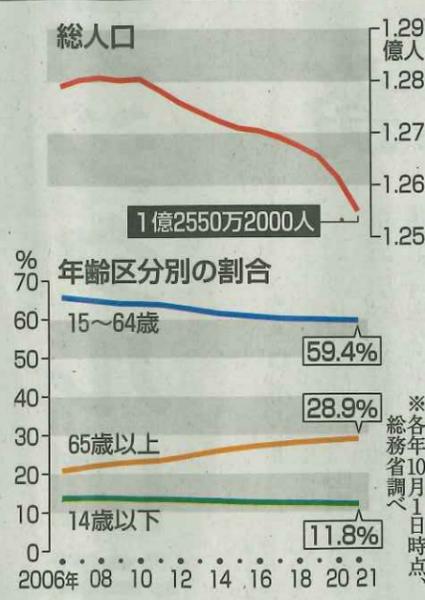
# 町の小児科医確保へ

総務省が15日公表した2021年10月1日時点の人口推計によると、外国人を含む総人口は1億2550万2千人で、前年からの減少数が過去最大の64万4千人となった。減少は11年連続。減少幅の拡大は、新型コロナウイルスによる外国人の出国制限が影響しており、感染症の深刻さを示した。都道府県別では東京が26年ぶりにマイナス。人口減少下で社会を維持する方策が求められる。(2面に関連記事)

## コロナ入国制限が影響

総人口減少の内訳は、「社会減」が3万5千人。死亡数が出生数を上回る。20年10月～21年10月はコロナ「自然減」が60万9千人で、ナの水際対策で、主に感染出国者が入国者を上回るが拡大している国からの入

国制限があった。社会減は11～20年は少子化が進む一方、外国人労働者が増加し、19年には20万9千人が沈没したと明らかにし



# 東京26年ぶりマイナス

# 人口64万人減 過去最大

都道府県別では、沖縄を除く46都道府県が減少した。減少率トップは秋田の1.52%で、青森1.35%、山形1.23%と続いた。島根は0.93%、鳥取は0.86%、兵庫は0.6%。埼玉、千葉、東京、神奈川、福岡の5都県は前年の増加から減少に転じた。埼玉、神奈川は比較可能な1950年以降で初のマイナス。

# 旗艦モスクワ 黒

## ウクライナ 民間死者の

【キーウ共同】ロシア国防省は14日、黒海艦隊旗艦モスクワが沈没したと明らかにし、民間死者は推定2万3千人を超えた。

ロシア国防省は15日、首都キーウ(キエフ)郊外のミサイル工場を巡航ミサイルで同日未明に攻撃したと発表した。ウクライナがロシアへの越境攻撃を継続すれば、報復措置としてキーウ攻撃を強化すると警告した。

の確保が急がれていた。

計画では、3町が人件費を分担して雇用した小児科医1人が、曜日を決めて3医療機関で診療。加えて、乳児健診や予防接種、学校医といった行政サービスも担い、郡内の小児医療を総合的に守る。医師が3医療機関のどこからでもカルテを確認できるように、各自治体の公共施設をつなぐ行政用回線「情報ハイウェイ」を活用した遠隔操作を検討する。

昨年10月、3町議会の合同勉強会で議員や町職員に説明し、賛同を得た。3月に各町長と共に鳥取大医学部付属病院を訪れ、医局と3町で雇用形態などを協議していくことを決めた。

持続可能な地域医療の構築を目指し、他の診療科にも同様の仕組みを広げたい考え。孝田病院長は「来てくれた先生が一番勉強になり、私たちが助かる。採算のために総合診療科だけにする病院もあるが、専門医の診療を地元で受けられることが患者の負担軽減につながる」と話している。

(本高屋修)

4月16日(土) 2022年(令和4年)

発行所 新日本海新聞社  
〒680-8688 鳥取市富安2丁目137  
電話(0857)21-2888(代表)

西部本社  
〒683-20 米子市西三柳3060  
電話(0859)34-8811(代表)

中部本社  
〒682-8505 倉吉市上井町1丁目156  
電話(0858)26-8300(代表)

郵便振替 01470-7-8099

ご購読のお問い合わせ  
☎0120-23-4141  
☎0857-21-2886 (平日9時～18時)

記事のお問い合わせ  
☎0857-21-2874

新聞にプラス! Net Nihonkai

GOODHILL Corporation

世界にはばたく

グッドヒル

きょうの紙面 旧暦3月16日 川端康成忌

女子高生が麒麟獅子舞

鳥取市の宇倍神社の御幸祭を17日に控え、青翔開智高の女子3人が、神事で披露する麒麟獅子舞の練習に励んでいる。

地域 しゃんしゃん祭 有観客で 25

総合 G7サミット、広島が有力 2

経済 日米財務相、為替を協議か 7

社会 尾身氏、社会活動止めず対策 27

文化 東京で錦木清方没後50年展 8

暮らし 持続可能な地域活動が重要 11

広場19 きょうの運勢11 おくやみ21

みみちゃんクイズ 数学編 (小学6年生)

赤、青、黄、白、緑の絵の具の中から4色を選

## 日野病院 ～地域医療の拠点として

20診療科と99病床を備える日野病院は、日野郡内外から患者が訪れる、山間地の中核病院。かかりつけ病院としてだけでなく、救急、ワクチン接種などの福祉行政も担い、地域医療を支えている。

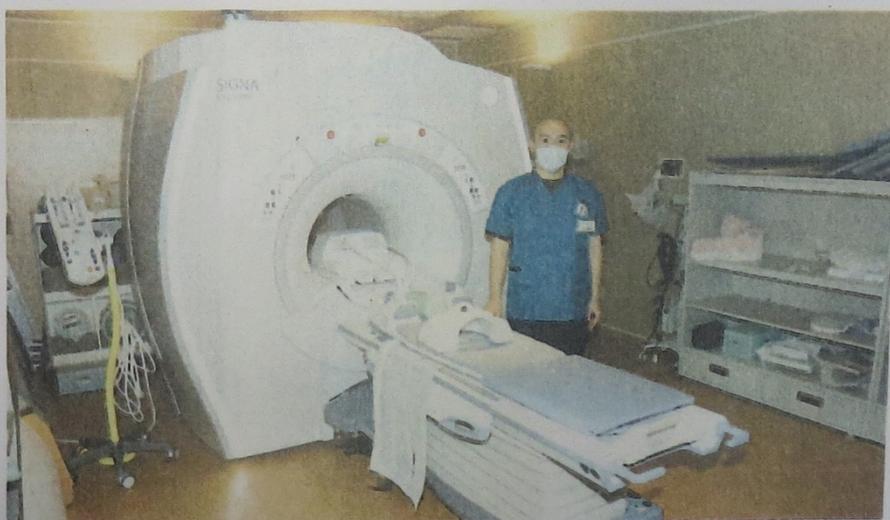
住民が最新医療を受けられるよう、高度医療機器を積極的に導入。昨年10月に導入した最新式MRIは、人工知能(AI)が大量の画像データを元に自動学習することで、患者の特徴に合わせて最適の画像を構成。画質が向上し、より小さな脳動脈瘤の検出

や全身がん検診も可能になった。

少子高齢化と人口減少が進む中、こうした良質な医療を維持するため、他病院の紹介患者を積極的に受け入れ、経営を改善。自治体病院では珍しく10年連続で黒字を達成した。今年からは地域連携や病院連携も進め、持続可能な医療体制の構築に乗り出す。

孝田雅彦病院長は「地域の皆さんにかかりつけ病院として総合的医療を継続して提供していきたい」と将来を見据えている。

日野病院が導入したAI搭載のMRI。全身がん検診や整形外科の予診など、あらゆる診療の場面で活用されている。



## 道路使用許可得ず 境港市が看板設置

5カ所、申請失念

境港市が警察に道路使用許可を申請せず、観光案内看板を公道に設置していたことが、22日の6月定例会議会で明らかになった。既に撤去しており、手続き後、7月下旬までに再度設置する予定。

市観光振興課によると、看板は水木しげるロードと境漁港間で周遊を促すことを目的に県道や市道沿いなどの計6カ所に設置した。うち私有地の1カ所を除く5カ所で道路使用許可の申請が必要だったが、失念していたという。管理者の県などから道路占用許可は受けていた。

1体が倒れ、その後、他の看板を含め補強で対処したが、安全確保のため5月中旬に全て撤去した。伊達憲太郎市長は、手続きに不手際があったことを認め「反省している。しっかりと計画を練って関係機関とも協議を重ねたい」と述べた。吉井巧議員（会派・自由未来）の一般質問に答えた。（松本稔史）

# 日野病院を会長表彰 地域貢献と黒字経営評価



自治体立優良病院会長表彰を受け、表彰状と盾を手にする孝田雅彦病院長（中央）ら病院スタッフ。鳥取県日野町日野、日野病院

## 自治体立優良病院

鳥取県西部の中山間地域で住民に寄り添う地域医療を実践する公立日野病院（日野町野田、99床）が、全国自治体病院協議会から2022年度自治体立優良病院の会長表彰を受けた。人口減少など厳しい経営環境の中で黒字を継続し、患者のQOL（生活の質）を重視した医療サービスが高く評価された。

日野、江府、伯耆3町が

運営する組合立。内科、外科、整形外科、総合診療科を中心とする21診療科と、二つの診療所があり、保健・福祉と連携した地域包括ケアを積極的に展開している。施設内の鳥取大地域医療総合教育研修センターは医師育成に注力し、全国モデルになっている。優良病院の主要な指標である病院事業利益は、07年度に黒字転換。赤字になった15年度を除き、安定的に収益を生み出し、外来・入

院患者が7万3116人になった21年度は過去最高の1億5千万円となる見通し。累積剰余金は7億9300万円。

## 江の川氾濫に備え 江津署が救助訓練

2018、20、21年と近年相次ぐ江の川氾濫に備えた救助訓練が21日、江津市渡津町の河口部河川敷であった。江津署員10人が、浸水被害で孤立した家屋までゴムボートで向かい、取り残された人を助け出す手順と動きを確かめた。写真。

浸水した住宅地に見立てた河川敷の砂地で実施。車いす利用者を含む2人を救助する想定で、ヘルメット



田雅彦病院長は「長年の経営努力が認められた。周辺の医療機関と連携を深めて医療スタッフの相互派遣を進め、持続可能な自治体病院を目指す」と話した。1095医療機関でつくる全国自治体病院協議会（小熊豊会長）が、全国自治体病院開設者協議会（会長・杉本達治福井県知事）とともに表彰。対象は地域医療に重要な役割を果たし、5年連続黒字の施設で、鳥取県内ではこれまでに県立中央病院（鳥取市）、日南病院（日南町）が選ばれた。（山根行雄）

や救命胴衣を着けた署員が救命索発射銃を使って渡したロープに沿ってボートをこぎ出し、水の流れや風にも苦慮しながら連携して取り組んだ。神原崇博警備課長は「技術や知識を高めて共有し、人命救助に生かしたい」と話した。（村上栄太郎）

## 市長の一日

【島根】

- （22日）
- △松江▽ 午前、市議会本会議。午後、同。内部協議。
- △浜田▽ 午前、内部協議。中国電力ネットワーク株式会社浜田ネットワークセンターの門村修一所長ら。市議会本会議。株式会社ベリーネの内田靖士代表取締役社長ら。午後、内部協議。株式会社キヌヤの領家康元代表取締役ら。
- △出雲▽ 午前、内部協議。午後、ダイハツメタルの金岡秀夫代表取締役社長ら。観光大使委嘱で2022ミス島根の幸田美沙さん。内部協議。
- △益田▽ 午前、執務。午後、内部協議。
- △大田▽ 午前、執務。内部協議。午後、同。市民と市長の「意見交換会」。
- △安来▽ 午前、執務。内部協議。午後、同。夢ランドしらさぎ振興事業団の太田健司理事長。中国電力島根原子力本部の北野立夫本部長ら。内部協議。
- △江津▽ 午前、市議会総務民生委員会。内部協議。県社会福祉

## 鳥取駅南にぎわい創出実験

今秋公園に飲食、物販ブース

鳥取駅周辺ににぎわいを、秋、駅南側の鳥取鉄道記念

もらう計画で、休日は集客イベントも開催する。10月中旬から11月上旬までの2週間程度を想定し、期間中に実施するアンケートで利

とっとり県からの

新型コロナウイルス感染症情報

新型コロナウィルス感染症特設サイト

LINE公式アカウント  
「鳥取県 新型コロナ対策 パータルサポート」

試験 宅地建物取引士資格試験

試験日 10月16日(日) 午後1時~3時



# 日野病院が会長表彰

自治体立優良病院表彰

## 安定黒字経営など評価

日野病院(日野町野田、孝田雅彦病院長)は、本年

自治体立優良病院表彰で  
会長表彰を受けた日野病  
院＝日野町野田

度の自治体立優良病院表彰  
で、全国自治体病院協議会  
と同病院開設者協議会の両  
会長表彰を受けた。安定し  
た黒字経営と地域医療への  
貢献が評価された。

同病院は日野、江府、伯耆3町による組合立。日野郡と岡山県北部の一部を診療圏とし1次、2次救急を受け入れる。21の専門診療科と2診療所を開設し、プライマリケアと専門医療を両立している。

高度医療機器導入による外来患者の増加で07年度に黒字化。21年度末の累積余剰金は約8億円となった。

へき地で働く医療人材の教育にも注力。14年に鳥取大地域医療総合教育研修センターを院内に設置し、地域医療を志す研修医らを受け入れている。日野郡の行政や医療機関とも連携し、

周辺人口の減少で06年度の累積欠損金が約6億円に上ったが、コスト削減や救急患者の積極的な受け入

医師の共同雇用や人材交流による持続可能な地域医療の構築を目指している。

孝田病院長は「コロナで職員の負担が増している中、表彰は関係者全員の励みになる」と喜んだ。表彰は1986年に始まり、鳥取県内では91年に日南病院(日南町)、2013年に県立中央病院(鳥取市)が受賞した。(本高屋修)

## 地域情報（県別）

## 【鳥取】2022年度自治体立優良病院を受賞、無医地区に診療所設置し医師派遣-孝田雅彦・日野病院院長に聞く◆Vol.1

2022年9月30日（金）配信 m3.com地域版

人口約2900人の鳥取県日野町にある日野病院が、2022年度の自治体立優良病院として表彰された。全国自治体病院協議会と全国自治体病院開設者協議会が、経営努力の成果が見られ、地域医療の確保に重要な役割を果たしている病院に贈る賞で、日野病院は両会長表彰に選ばれた。無医地区での診療所設置や、鳥取大学と連携した総合診療医育成などが評価されたが、どのような活動を行っているのか。院長の孝田雅彦氏に聞いた。（2022年8月31日オンラインインタビュー、計2回連載の1回目）

▼第2回はこちら（近日公開）

—まず日野病院の概要や、2022年度の両会長表彰を受賞した感想をお聞かせください。

当病院は、高齢化が進む鳥取県の中山間地にある、22診療科、99床の小さな病院です。医師数は現在、9人（内科4人、総合診療専攻医1人、外科1人、整形外科1人、小児科1人、眼科1人）です。このような病院が経営的にも維持できていて、いろいろな意味で評価されて受賞したというのは本当にうれしいことです。今回の表彰で、職員も自分が働いている病院が全国的な評価を受けたことに自信を持ち、先々のモチベーションにつながればよいなと思っています。



日野病院院長・孝田雅彦氏

—両会長表彰では、無医地区での診療所設置が評価されました。現在、日野町黒坂と伯耆町二部で診療所を運営していますが、どういった経緯で開設されたのでしょうか。

日野町黒坂にある黒坂診療所は、2005年2月に開所しました。地域で唯一の開業医の先生が辞められてしまい、住民からの要望を受けて設置することとなりました。現在は週2回、内科と外科の診療を行っており、当院から医師と看護師、事務職員を派遣しています。

伯耆町二部の二部診療所は、2007年6月に開きました。こちらも開業医の先生が辞められたのを受けて開所しました。当初は開業医の先生に週1回、当院の所属医師として内科の診療をしてもらっていましたが、途中からは当院が医師を派遣する形となりました。二部は交通の便があまりよくありませんので、診療所までの移動手段がない患者さんは、自宅と診療所の往復での送迎も行っています。

いずれの診療所にも、携帯型の心電計やレントゲン、タブレット型超音波画像診断装置を持って行って、検査ができるようにしています。しかし、ちゃんとした検査も行いたいので、年1回ぐらいは当院に来てもらって全身のチェックを行っています。その場合も、患者さんの状況によっては送迎をしています。



黒坂診療所



二部診療所

——2つの診療所の受診状況はどのように推移していますか。

どちらの地区も、年々人口が減少していますので、開設当初に比べると、患者数はかなり減っています。黒坂診療所は、ピークだった2008年ごろは年間約1800人が受診していましたが、現在は年間約500人です。二部診療所も、開設時は年間224人が来ていましたが、現在は70人ぐらいです。いずれもピーク時の3分の1以下となっていますね。

あまり効率的ではありませんが、国から補助金も出ますので、診療所の維持はできています。また、地域に診療所があることが、「ちゃんと日野病院から医師が来て診てもらえる」という住民の当院への信頼感、ひいては患者さんの確保につながります。

——日野病院は「出かける医療、近づく医療」を掲げ、訪問診療なども積極的に行っている印象です。具体的にはどのような活動を行っていますか。

訪問診療に訪問看護、訪問リハビリテーションに力を入れています。日野町内はもちろん、北は伯耆町や南部町、南は岡山県新見市とかなり広いエリアに患者さんがいますね。1カ所訪問するのに車で往復40分、50分かかってしまうこともあります。

当院で診ていて、通院がだんだん困難になってきたので訪問するケースもあれば、他の医療機関にかかっている通院が難しくなったため依頼されるケースもあります。訪問診療や訪問看護についても、患者数のピークは2018年ごろで、その後は減少しています。在宅の介護力が低下してしまっているんですね。当院を退院しても、一人暮らしで家に帰れず、福祉施設に入居するケースなどがあります。

訪問リハビリテーションについては、希望が多くて増えていましたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大をきっかけに減りました。COVID-19が拡大してからは、スタッフが防護服を着て訪問看護や訪問リハビリテーションに行っています。一軒回ったら別の防護服に着替えて次の患者さん宅を訪問するので、スタッフも大変です。



訪問診療の様子

——それでも訪問診療などを続けることは、どのような意義があると考えていますか。

患者さんの状況を継続的に見られることです。入院している時と在宅でいる時の患者さんは元気が全然違うんですよ。自宅だとよく話すし、活発に動かし、「もともとこんなに元気な人だったんだ」と再認識することがけっこうあります。

また、家の中を見ると生活状況が分かります。段差など家の造りもそうですが、少し認知症が進んでくると薬の飲み具合がおかしい、料理する時の火の元がちょっと危ない、台所に腐りかけの食材がある、などの傾向も見られます。こうした情報から「1人で暮らすのは無理かな」という判断もしやすくなります。しよっちゅう行く必要はないかもしれませんが、1カ月に1回、2カ月に1回といった頻度で患者さんの状況を見ることは大切だと思います。

——両会長表彰では、鳥取大学と連携した総合診療育成についても評価されました。具体的な取り組みについて聞かせてください。

当院は「地域の事は地域で学び、多職種連携、地域連携の実践できる医療人を育てる病院」をビジョンとし、地域医療の教育病院としての役割を果たしています。

鳥取大学医学部に2010年、地域医療学講座が開設されましたが、専門的な医療を行う大学病院には、地域医療学が目指す診療の対象となる患者が来ないんです。それで2013年4月、当院で総合診療外来を始めました。そして2014年、地域医療学講座のサテライトとして、当院に地域医療総合教育研修センターが設置されたのです。2015年からは医学部医学科の6年生が実習を受けるようになり、2017年からは5年生全員が交代で実習に来るようになりました。

臓器別で診療する大学病院とは違う、総合的な見方で診療することを教えるために当院で教育をするようになったんです。大学は診療の様子を見学することが多いですが、当院では学生に入院や外来だけでなく、初診の患者さんも診てもらいます。

何か分からないけれど患者さんが「お腹が痛い」「胸が痛い」と訴えているところからスタートして、患者さんに根掘り葉掘り聞いていくわけですね。時折脱線しながら話していく場合も、苦労しながら聞き取っていきます。ただ単に知識があるだけでは医療はできないと分かれば、学生の勉強の仕方が変わっていきます。学生からの評判も良いと聞いています。

当院では、初期研修医の地域医療研修も行っています。年に7、8人来ますが、その先生たちは全員私が担当しています。期間は1カ月で、私と一緒に入院患者を診てもらいます。2021年度からは、専攻医の先生も当院に派遣されるようになりました。そういう先生が中山間地の病院に順番に派遣されるようになり、地域医療で役割を果たして欲しいですね。

◆孝田 雅彦（こうだ・まさひこ）氏

1984年、鳥取大学医学部医学科卒業。同大大学院医学研究科内科系に入学し、1989年に修了。大阪回生病院や池田回生病院での勤務を経て1992年、鳥取大学医学部臨床検査医学講座文部教官助手、学部内講師、内科学第二講座学部内講師。1999年にエアランゲン・ニュルンベルク大学医学部第一内科に留学し、帰国後の2000年、鳥取大学医学部内科学第二講座学部内講師に復職。同大医学部附属病院消化器内科科長などを務め、2016年7月、日野病院副院長。同年10月から同病院院長。専門は消化器内科、肝臓内科。

【取材・文 = 南文枝（写真はすべて病院提供）】

記事検索

ニュース・医療雑新を検索





1984年鳥取大学医学部卒業。同大学医学部附属病院消化器内科診療教授、日野病院組合日野病院副院長などを  
経て、2016年から現職。

鳥取県西部の中山間地域に位置する日野病院(99床)。新型コロナウイルス感染症の入院患者を第5波から本格的に受け入れ、院内クラスターへの対応にも追われた。現在も行政や他の病院などと連携を密にし、一体となって難局を乗り越えようとしている。

—主な取り組みについて。

当院では2020年3月ごろから感染対策に力を入れ始め、流行の波を経るごとに強化してきました。例えば発熱外来について、当初は既存の外來棟で対応していましたが、ゾー

## 中山間地域の危機を

### 地域連携で乗り越える

コロナ禍を語る

日野病院組合 日野病院

孝田 雅彦 病院長

ニングが不十分だと考え、21年に2階建ての「発熱外来棟」を新設しました。1階にはPCRの検査機器などをそろえた検査室や診察室、2階には医師や看護師の宿泊室を配置。宿泊室には1階の様子をモニタリングする機器があり、入院先が決まらない患者さんが夜間にいる場合も、宿泊室から状況を確認できます。陽性になった透析患者さんへの対応のため、透析室も設置しています。

一般の入院については入院前にPCR検査を実施し、陰性が確認できたら個室へ、そして2〜3日後に再び陰

—特に苦労したことは。

性であれば大部屋へ移動してもらっています。入院中の面会は原則禁止ですが、当院では早い時期からオンライン面会を導入し、一部では窓越しでの面会も行っています。特に終末期の患者さんの場合は、ご家族にPCR検査を受けていただき、個室で対面できるように配慮しています。

当院は県の枠組みの「入院協力医療機関」として、第7波以降は22年12月末時点まで計8床のコロナ病床で患者さんを受け入れ、一時期を除いて埋まっている

状態が続いています。

同年に2度発生した院内クラスターへの対応にも苦慮し、一般の入院を制限し、外来の一部を中断した時期もありました。1度目のクラスターの際は病棟担当の看護師が不足したため、外来の看護師やリハビリのスタッフにサポートしてもらいました。1人当たりの負担が増え、大きなストレスも抱えて職員たちは大変だったと思いますが、全員が頑張りや地域のサポートもあり、なんとか乗り越えてきました。

は、情報共有の枠を院内や行政、地域の他院にとどまらず、介護・福祉施設まで広げること。先日、介護・福祉施設の担当者を集めていただき、感染者が出た場合の情報伝達の流れなどをお伝えしました。このような機会を増やしてスムーズな連携を図り、地域がより一丸となって対応していけたらと考えています。

苦労も多いですが、良かった点もあります。その一つは、地域連携が深まったこと。県西部では、保健所とコロナ病床を設けている病院がオンライン会議を週1回開催し、感染状況や病床使用率、治療薬の使用方法などを共有しています。また、状況に応じて病院間で検査機器を貸し借りしており、実際に当院もPCRの検査機器を隣の病院に借りてしのいだ時期もありました。後方支援病院などとも連携を強めており、以前に比べコミュニケーションの機会が各段に増えました。今後の地域医療の形を見据えても、とても良いことだと感じています。

—今後は。

コロナ禍で、何よりも情報共有が大切であると痛感しています。今後のテーマ

もう一つ、重要だと強く感じたのは、感染症対応の専門家の存在です。当院では現在、看護師1人が感染管理認定看護師を目指して県外で研修を受けています。新たな感染症の発生に備え計3人の認定看護師が必要だと試算していますが、研修が終わるまでは欠員が出してしまうため、当院の規模では人手不足に陥ってしまっています。今後は行政や大学などと、認定までの人的支援の方法を考えていけたらと思っています。

日野病院組合 日野病院  
鳥取県日野町野田332  
☎0859-72-0351 (代表)  
<http://www.hinohp.com/>

# 日野病院小児科非常勤に

## 円滑診療へ体制づくり急務

来月から

日野、江府、伯耆の3町による組合立・日野病院（日野町野田、孝田雅彦院長）の小児科が4月から週3日（火、水、金曜日）の非常勤体制となることが、9日までに分かった。同病院に勤務する唯一の小児科医が本年度で退職し、新たな常勤医師を確保できないため、「地域病院」での人材不足が浮き彫りとなった現状に、関係者は「総合診療科も上手に生かしながら、安心して暮らして支える地域医療を維持していく」と理解を求め、

（池田悠平）

同病院の小児科はこれまで、市西町からの派遣医師や専属の小児科医の他、鳥取大医学部付属病院（米子）にて、江府の日野郡3町は将来的な小児科医不足を見据え、共同雇用で小児科医を確保する取り組みを進めていた。

実質的な非常勤体制を取ってきた。一方で日野、日南、江府の日野郡3町は将来的な小児科医の派遣を鳥取大に求めたが、全国的な小児科医不足に加え、子どもが少ない地方病院への勤務が敬遠される傾向もあることなどから人材確保は難航。2023年度は断念せざるを得なかったという。



4月から小児科が常勤でなくなる日野病院＝8日、日野町野田

子育て環境の充実を図る自治体も頭を悩ませる。日野町の住田秀樹健康福祉課長は、非常勤体制になって

も学校医やワクチンの小児

接種などに影響はないとしつつ、「専門医がいなくて不安になる住民もいるかもしれない」と懸念。人材確保については「民間病院でないので報酬を上乘せられないこともあり、もど

かしい」と吐露する。来年度、同病院は週3日の小児科診療になるもの、日南病院（日南町生山）ではこれまで通り鳥取大からの派遣医師が週2日（月、木曜日）診療。日野郡内に小児科医が毎日いる体制を何とか整えた。

それでも時間外診療が難しくなったり、病気の子どもを預かる保育サービス「病児保育」では、常勤医がいなくなることで臨機応変な対応が取れない可能性があったりと影響はあり

そつだ。担当医でなくても診療が円滑にできる体制づくりも必要で、江尾診療所（江府町江尾）も含めた電子カルテによる情報共有システムや、各医療機関と鳥取大病院をつなぐオンライン診療の導入が急がれる。

24年度に向けて常勤体制の再開を目指す日野病院。孝田院長は「地域の医療機関を使うことで運営が成り立ち、人材確保にもつながる。住民はなるべく地域の病院を頼ってほしい」と強く望む。

## 県職員は原則着用

### マスク 来庁者に適切着脱求める

鳥取県は9日、マスク着用ルールが緩和される13日以降の対応指針を発表した。県庁や出先機関、県有施設の来庁、来場者には混雑状況などを勘案した適切なマスクの着脱を求め、職員は原則として勤務中は着用する。国が新たな方針を示した場合に再考する。

来庁する県民への配慮や職場内の感染対策のため、職員はマスクを着用。他職員や県民と接触がない環境や屋外で一定距離を確保でき

る場合には限り、着用を不要とする。来庁者には、職員が着用を呼びかけた場合の協力を求める。県は国の指針を踏まえ、県版の業種別ガイドラインの改定を進めており、13日から適用する。座席間隔の確保やパーティションの設置、換気、手指消毒など基本的な感染対策の継続を求める。

保育施設などでは、3月31日までは保護者や施設の判断で着脱できるとし、4

## 県内86人感染

鳥取県は9日、新たに86人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。累計陽性者数は14万533人と

# 5、広報誌 せせらぎ



日野病院組合だより

せせらぎ

題字 孝田雅彦 病院長

No. 74  
令和4年5月発行



日本医療機能評価機構  
認定第JC1483号

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351  
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089



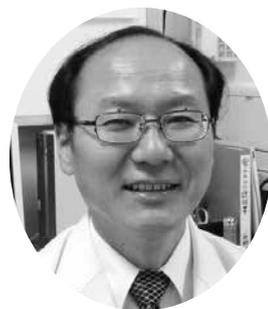
## 日野病院の基本理念

- 一 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
- 二 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

## 基本方針

1. 高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組み、地域包括ケアシステムの一翼を担います
2. 住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療及び感染症に対応します
3. 安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4. 子育て支援に協力します
5. 多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6. 出かける医療、近づく医療に努めます
7. 地域住民の心と身体の健康的な生活を維持増進する予防指導をはじめ、ドック検診事業を積極的に展開します
8. 人材育成に努め、地域に貢献します

# 人の本性を制御できるのは道徳的行為



日野病院病院長  
孝田 雅彦

この原稿を書いている現在（2022年4月14日）においてロシアがウクライナに侵略し、多くの一般市民を無差別に殺戮しています。プーチン大統領の言い分はあまりにも身勝手

手でご都合主義で、普通の精神の持ち主であれば、とても認められないものであることはすぐに分かりそうなものです。今から200年以上前の哲学者であるカントは「人の本性は邪悪であり、それを防ぐために道徳や法が必要である。」と述べています。カントの道徳に沿った行為は「誰が行っても、良いことと思える行為」です。同じようなことを現在の日本の哲学者である内田樹氏が「世の中のすべての人が行っても社会が成り立つ行いが、行っても良い行為である」と述べています。大国だから行ってもいいと言う論理は道徳的行為ではありません。個人レベルでは、自分1人ぐらい手指消毒しなくてもいいだろう、少しぐらいの熱ならいいだろう、マスクをせずに病院に行ってもいいだろう、でも、みんなが行えば感染は広がり、社会は成り立たなくなりそうです。新型コロナウイルスも2年以上感染が続き、皆さんの忍耐も限界に来ているかと思えます。病院としても不必要になったルール、効果のないルールは廃止していこうと思えますが、定められたルールは厳守していただきますようお願いいたします。今、新型コロナウイルス感染はどこに起こってもおかしくない状態です。高リスク者を守るためには低リスク者の行動が道徳的であることを望みます。

さて、新年度になり医師の交代がありましたのでお知らせいたします。まず玉井嗣彦名誉病院長が退任され、後任に鳥取大学眼科教

授であった井上幸次先生が就任されました。大学での高度医療の経験を活かして、より進歩した眼科医療を進めていただけるものと期待しています。整形外科は百田靖先生が赴任されました。百田先生は済生会江津総合病院で20年以上にわたり診療されていた先生で、特に手術の腕前については定評のある先生です。内科では河村実穂先生と一昨年当院におられた下坂拓矢先生が赴任となりました。長年増員を望んでいた薬剤師として森田俊博先生に来ていただきました。森田先生は済生会境港総合病院では薬剤部長として薬剤部を統括され、薬剤の知識も豊富です。その他にも新人看護師2名、検査技師1名、臨床工学技士1名が入職しました。ベテラン、中堅、新人が良いバランスで活躍していただけたと思います。

最後に昨年度の病院長賞を山形睦美看護師長、角嶋美鈴看護師の2名に授与しました。山形師長は2階病棟、外来看護師長として病棟業務の改善、後進の指導にあたり、新型コロナウイルス感染対策においては最前線で検査、看護に対応されました。また、インフルエンザ予防対策や外来時間予約制度の効果を科学的に検証し、多くの論文・学会で発表され、研究マインドを持った看護師として若手の手本となったと思います。角嶋看護師は当院の透析室の立ち上げから現在まで、透析専門医のいない中、中心的に運営していただきました。透析患者にとつて祭日がないのと同様に角嶋看護師も休みなく、勤務していただきました。地道な仕事ではありますが、病院が成り立つためにはこのように縁の下で黙々と働く人材が最も大切と考えています。局長賞としては事務局から新型コロナウイルス感染対策で著しく増加した事務作業をテキパキとこなしてきた梅林花菜さん、3階病棟より長年「看護の宅配便事業」を進めていただいた山川千秋看護師、自ら研修を受け手術室の看護業務の充実に努めていただいた木村理絵主任看護師の3名が受賞されました。

今年度も日野病院は地域に根ざした、住民の望む医療を提供できるように努力していきます。

# 名誉病院長就任のご挨拶



日野病院名誉病院長 井上幸次

この4月1日より、玉井嗣彦名誉病院長が退任された後を受けて赴任いたしました井上幸次（いのうえ よしつぐ）です。よろしくお願い致します。

もともとは大阪の出身で、20年前に鳥取大学の眼科教授として赴任するまでは、鳥取県とは縁もゆかりもない身でした。日野のことも、もちろん知りませんでした。実は2000年に鳥取県西部地震があった時の震源であるということだけはニュースで聞いて頭の片隅には残っておりました。その時の地震は大阪にいた私も体感して、阪神・淡路大震災と同じマグニチュードであると聞き及びましたが、それでも亡くなった方がおられないということが非常な驚きで、よほど住んでいる人が少ないんだ、と思ったことを覚えております。

鳥取大学に来て以来、そういった都会人特有の偏った見方は徐々に改まり、大阪にいた時は決して体験することはなかった地方の状況を知るに及んで、人口の少ない地域での医療がいかに大切であるかを実感しておりましたが、他にもいろいろなことが重なって、大学をやめた後も、大阪に帰らずに鳥取県に残ることにいたしました。勤め先を選ぶにあたって、月1回ではありますが、20年間ずっと日野病院で白内障手術をさせていただいていたこと、そしてそれが自分の中で決して違和感とならず、結構なじむものになっていたことが、大きな要因になったと言えます。要するに、それだけご縁があったということなのでしょう。

私は眼科医なので、人の命を救うことはできません。ただ、「見える」ということは、特に高齢者の方のクオリティ・オブ・ライフを支える上で大変重要です。ですから、眼科医としての務めをしっかりと果たすことで、住民の皆様に豊かな生活を届けることに一役買えると思っております。人の老後を豊かにすることによって、それで自分の老後も意義あるものにできれば、「日の名残り（The Remains of the Day）」もまたよしと思っておりますし、「日野(病院の)名(が)残り」につながればと思っております。

玉井前名誉病院長は実に21年の長きにわたって、日野病院に貢献してこられました。到底それほど長く勤められませんが、私なりに、日野病院、そしてこの地域の医療に微力ながら貢献いたしたく頑張らせていただきます。



# まいる互版

<連絡先>【日野病院組合\*在宅介護支援事業所】

☆訪問看護ステーション

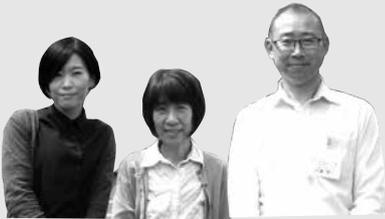
0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所

0859-72-2723

❁令和4年度 始まりましたー!!!❁  
❁新年度もよろしくお祈いします。❁

## 居宅介護支援事業所



ご自宅で安心してお暮らしいただけるようお手伝いいたします。

ご気軽にご相談ください。

居宅介護支援事業所  
管理者 毛利 富士美

## 訪問看護ステーション(看護)



かかりつけの医師・介護支援専門員などと連携をとりながら  
住み慣れた地域や家庭で療養  
(生活)できるよう、精いっぱい  
お手伝いさせていただきます。

訪問看護ステーション  
管理者/看護師長 安達 節子

## 訪問看護ステーション(リハビリ)



リハビリを通じて地域の皆さまが元気に在宅生活を送れるよう、  
スタッフ一同頑張っていますので、よろしくお祈い致します。

訪問看護ステーション(リハビリ)  
主任理学療法士 田中 武志



## ❁新スタッフ紹介❁ 看護師 森原伸子です。

趣味：ミシンでバックや子供服を作る事です。子供が大きくなったので、最近は姪の物を作ることが多いです。

好きな食べ物：うどん。温かいほうが特に好きです。

嫌いな食べ物：セロリ。絶対、食卓には出しません。

休日の過ごし方：自室にこもってミシンに向かうことが多いです。たまに、草刈り機で無心に草を刈るのも好きです。

学生時代の部活動：吹奏楽。高校の時、バスクラリネットを吹いていました。今は楽器に触れることはないです。

ひとこと：訪問看護は初めて携わります。皆さんの在宅生活の支えになれるように頑張ります。よろしくお祈い致します。

## ◇訪問リハビリ満足度調査アンケート結果報告(令和3年度)◇

アンケート回答にご協力いただき、ありがとうございました。

・調査期間：令和4年2月1日～令和4年2月10日

・対象者：訪問リハビリをご利用の方 ・回収率：74%

集計結果ではリハビリの回数、内容、接遇面で概ね高評価を頂きました。

《自由記載》

・体の動きが良くなり、痛いところがなくなりました。家庭での様子を聞いて笑顔で受け止めてくださって気持ちが軽くなりました。

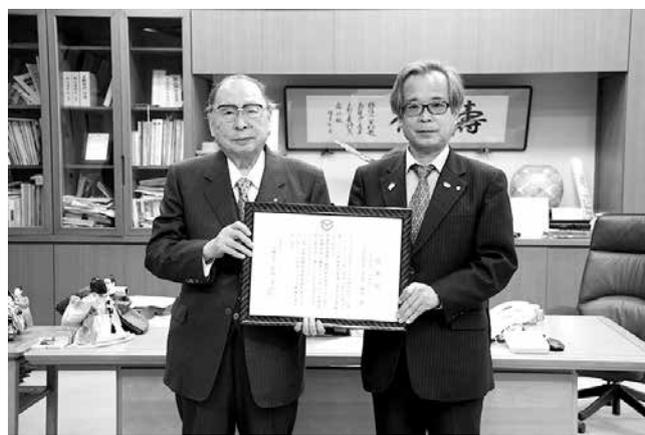
・唄を歌ってのリハビリ、感激しています。母も喜んでいような表情をしています。

・訪問リハビリを受けさせていただくようになり10年以上になります。体調に波があったり疲れがあったりいつも痛いと言っていることが多くなっています。コロナウイルス流行で2月は時間変更や身支度など大変なことがあります。良くしていただいております。早く春が来て少しでも軽やかな日々を過ごしたいです。よろしくお祈いします。

など多くの意見をいただきました。今後も利用者様へのより質の高いサービスが提供できるよう努めていきます。

## 日野町から感謝状（玉井名誉病院長）

3月31日、日野町役場において、同日付で日野病院を退任された玉井嗣彦名誉病院長に、日野町から感謝状が贈呈されました。これは、21年間の長きにわたり、眼科医として地域医療に多大なる貢献をされたことによるものです。おめでとうございます。



## 日野病院の地域医療総合教育研修センターだより

今回は今年3月からチャンネルひので放送しております健康情報時代劇「谷口黄門様が行く」について紹介したいと思います。このドラマはポリファーマシー（多剤併用）をテーマにした時代劇です。これまでも健康に関する短い番組を作ってきましたが、今回は趣向を凝らして時代劇風のドラマ仕立てにすることで視聴者の皆さんに関心を持っていただきたい思いで企画が始まりました。内容は健康行脚の旅を続ける谷口黄門一行が根雨の町にやってくる場所から始まります。ポリファーマシーに悩んでいるお爺さんとその娘を救うために黄門様一行が大活躍します！当院総合診療科の医師のほか、鳥取県内の各地で総合診療を志す医師が時代劇のキャラクターに扮して登場します。「ポリファーマシー」、聞き慣れない言葉だと思いますがこのドラマをきっかけに興味を持っていただければ幸いです。

youtubeでも視聴可能 (<https://youtu.be/F4-IvFpHs9I>) ですので、ぜひご覧下さい。

今 岡 慎太郎



## 新任医師紹介



整形外科医師

百田 靖

初めまして、ももたやすしと申します。

出身は高知県で、鳥大卒業後初期の5年間は鳥取県内、次の5年間は兵庫県内、そして前任の病院は鳥根県内で23年間努めた後、この日野病院を最後の病院勤務と考えやっております。

約30年ぶりの鳥取県内での勤務となります。地域の方の希望に合わせて医療を心がけたいので、よろしくお願いたします。



診察日  
月～木曜日  
(午前中)



内科医師

下坂 拓矢

今年度より日野病院に赴任致しました、内科の下坂拓矢です。以前2018年4月から2021年3月まで日野病院内科に勤務しており、昨年度は鳥取大学医学部附属病院消化器内科で勤務しておりましたが、この度縁あって日野病院に戻って参りました。慣れ親しんだこの地域で再び仕事ができることを大変うれしく、楽しみに思っています。前回の日野病院勤務時や前勤務地で学んだことを活かし、さらに良い医療を皆様に提供できるように努力していきますので、どうぞよろしくお願致します。

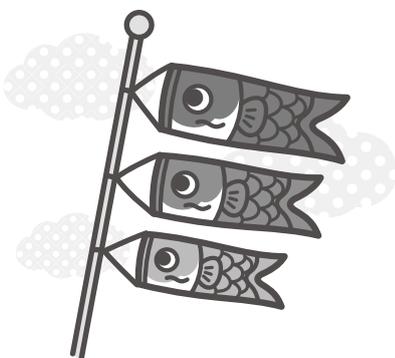
診察日  
火・金曜日  
(午前中)



内科医師

河村 実穂

はじめまして。4月から日野病院に着任いたしました、内科の河村と申します。鳥取の出身で日野町に訪れるのは初めてです。一日も早く病院や町での暮らしに慣れ、町民の方々の健康に役立てられるよう努力して参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



診察日  
水曜日 (午前中)

## 新規採用職員紹介



臨床工学技士

竹内 詩織

4月より、日野病院で働かせていただく事になりました。臨床工学技士の竹内詩織と申します。ブランクはありますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。



臨床検査技師

池嶋 志隆

今春鳥取大学を卒業し、臨床検査技師として入職しました池嶋志隆と申します。迅速かつ正確な検査結果を報告します。微力ではありますが、日々精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。



看護師

船越 好夏

この度、日野病院で働かせていただくことになりました。私は、患者さまに安心して治療を受けていただくためにも、コミュニケーションを大切にしたい信頼してもらえよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



看護師

影山 李紅

この度、4月から日野病院で働きます影山です。まだまだ知識や技術が足りていないので日々勉強ですが、一歩ずつ成長して行けたらと思います。笑顔と挨拶を忘れず、誰もが話しかけやすい看護師になれるよう頑張っています!!

### 〈編集後記〉

春はあけぼの・・・  
平安時代の随筆「枕草子」の冒頭部分です。  
日の出前の空が明るくなる頃が一番美しいと。  
一方、中国唐の時代の詩人は春眠を覚えずと詠んでいます。  
春はぐっすり眠れるものだから、夜が明けたのに気づかず、寝過ごしてしまうと。  
前者は早起きさん、後者は朝寝坊さん。  
みなさんは、どちらの春でしょうか？  
春といえば、野草や山菜の天ぶらが美味しい季節です。  
脂肪肝にならないよう、食べ過ぎに気をつけなくてはなりませんね。  
春はあけもの・・・  
(日野の小町)

### 連絡先



#### 日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地

TEL 0859-72-0351

FAX 0859-72-0089

#### 黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地

TEL 0859-74-0351

FAX 0859-74-0351

#### 二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4

TEL 0859-62-0351

FAX 0859-62-0351

切り取り線

# 日野病院 外来診療案内

R.4.5 ~

午前 午後 休診

診療科		受付	月	火	水	木	金
内科	1 診	午前	笠原 (循環器内科)	下坂	河村 浩二 (第1・3週)	笠原 (循環器内科)	下坂
		午後			阿武※1 (第2・4週)		
	2 診	午前	孝田 (兼肝臓内科)	孝田	莫 (消化器内科)	田尻※1	田本
		午後			莫 (消化器内科)		
	3 診	午前	李	谷口(第1・3週) 孫(第2・4・5週)	河村 実穂	北浦 (兼呼吸器内科)	今村 (大学医師)
		午後		中井			
総合診療科		午前	中井 (初診)	今岡 (初診)	李 (初診)	孫 (初診)	
(外科第2診療室)		午前				中井	
外科		午前	大学医師	佐藤	大学医師	大学医師	佐藤
整形外科		午前	百田	百田	百田	百田	柳樂 (大学医師)
眼科		午前	井上	井上	井上	井上	春木 (大学医師)
小児科	午前	竹茂	竹茂	竹茂	総合診療科にて対応	大学医師	
	午後	大学医師	竹茂	竹茂	竹茂	大学医師	
専門診療科 (大学医師他)	午前	肝臓内科 孝田	皮膚科 大学医師	消化器内科 莫	呼吸器内科 北浦		
		循環器内科 笠原	女性診療科 秦	血液内科 河村浩二(第1・3週)	循環器内科 笠原		
		脳神経外科 大学医師(第1・3週)		糖尿病外来 阿武(第2・4週)※1	脳神経内科 田尻※1		
	午後			泌尿器科 山元	泌尿器科 引田		
			心臓外科 西村(第1・3週)	消化器内科 莫	呼吸器内科 北浦	心療内科 大立	
			ペースメーカー外来 西村(偶数月第3週)	糖尿病外来 阿武(第2・4週)※1			
	血管外科 吉川(第2・4週)						
消化器検査 ドック検査	午前	下坂 河村	佐々木	消化器内科医(大学) カメラ 佐々木 ドックエコー 中井	下坂	佐々木 田本	
	午後	下坂		消化器内科医(大学)		田本	

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

- 自動再来受付機による受付 (時間予約を除く)
- 午前 = 7時30分～10時30分
  - 午後 = 正午～15時 (心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科)
  - 午後 = 正午～16時 (内科・小児科)
- 検査開始時間
- 午前 = 8時30分～
  - 午後 = 14時～
- 診療開始時間
- 午前 = 9時～
  - 午後 = 14時～
- 休診日
- 土曜日・日曜日・祝日 ● 8月14日・15日 ● 12月29日～1月3日
- 電話による予約日・予約時間の受付
- 14時～16時 (受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

- 新患登録・新規予約 <代 表> 72-0351
- 予約日(時間)変更
- <内科> 72-2721 <皮膚科> 72-2720
  - <禁煙外来> 72-2721 <泌尿器科> 72-2720
  - <外科> 72-2719 <耳鼻科> 72-2720
  - <整形外科> 72-2720

- ※1 糖尿病外来・脳神経内科は完全予約制です。受診希望の方は、平日14時～16時に内科外来にご相談ください。(72-2721)
- ※2 禁煙外来は完全予約制です。受診希望日の前日(平日のみ)までに電話等でご予約ください。(72-2721)

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

## 外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から10時30分まで) (R.4.5月～)

診療科目	月	火	水	木	金	
内科	1 診	笠原	下坂	河村浩二(第1・3週)・阿武(第2・4週)	笠原	下坂
	2 診	孝田	孝田	(大学)	(脳内)	田本
	3 診	李	谷口・孫	河村実穂	北浦	今村(大学)
	総合診療科	中井(初診)	今岡(初診)	李(初診)	孫(初診)	
	外科第2診療室				中井	
外科	(大学)	佐藤	(大学)	(大学)	佐藤	
整形外科	百田	百田	百田	百田	柳樂(大学)	
眼科	井上	井上	井上	井上	春木(大学)	
小児科	竹茂	竹茂	竹茂	総合診療科にて対応	(大学)	
専門診療科	肝臓内科 循環器内科 脳神経外科(第1・3週)	皮膚科 女性診療科	消化器内科 泌尿器科 血液内科(第1・3週) 糖尿病外来(第2・4週)※1	呼吸器内科 循環器内科 脳神経内科※1 泌尿器科 耳鼻咽喉科		

午後 (受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)

診療科目	月	火	水	木	金
内科	中井	今岡	(大学)	北浦	中井
小児科	(大学)	竹茂	竹茂	竹茂	(大学)
専門診療科	心臓外科(第1・3週)※ ペースメーカー(偶数月第3週)※ 血管外科(第2・4週)※		消化器内科 糖尿病外来(第2・4週)※1	呼吸器内科	心療内科

● 医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。(切り取って財布等に入れご利用ください)



日野病院組合だより

# せせらぎ

題字 孝田雅彦 病院長

No. 75  
令和4年9月発行



日本医療機能評価機構  
認定第JC1483号

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351  
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089



## 自治体立優良病院表彰を受賞

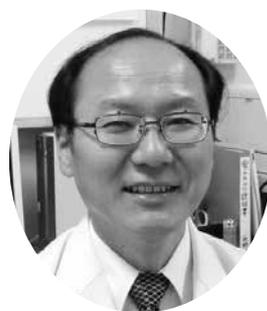


上段左から2人目が孝田院長です



関連記事は7ページにあります

## 院内における新型コロナウイルス クラスター発生のご報告とお詫び



日野病院病院長  
孝田 雅彦

お盆明けの現在でも新型コロナウイルス  
B A 5 によるパンデミックが

鳥取県だけでなく、全国を襲  
っています。鳥取県でも毎日

1000人越えの新規感染者

が出ています。国はどんどん制限を緩めているにもかかわらず、感染者に対する全数把握を撤回してはいませんし、入院患者には休日関係なく病状報告を毎日求めています。この報告も報告だけでは何も活かされていません。医療機関も保健所も疲弊するばかりです。株の感染力は強いものの重症者はほとんどなく、特にワクチンをしつかり打っている患者さんでは数日の発熱、倦怠感、咽頭痛で改善しています。患者さんの側にもこの感染症に対する冷静な対応が必要だと思えます。数日間の発熱や倦怠感があっても過度に心配せずに解熱剤を服用しながら自宅で落ち着いて過ごして下さい。決してパニックにならないようにして下さい。

さて、本題に入ります。日野病院では7月23日から8月3日までの間に院内で患者、職員のクラスターが発生しました。最終的には患者さん20名、職員12名が感染しました。7月23日からの数日間にはほぼ同時多発発生でしたので大本の感染源は明らかにできませんでした。以前より入院患者に対してはすべてPCR検査をしていましたが、偽陰性が10%の確率で起こるため、検査をすり

抜けた患者さんがあったのかもしれませんが。職員のほとんどは10日程度でウイルスは陰性となり、重症者もなく復帰しました。患者さんにおいても新型コロナウイルスによる重症者は出ていませんが、元々の原疾患によって、亡くなられた方が2名おられました。ウイルス陽性のため、ご家族のお見舞いもままならず永眠されたのは大変残念でした。

また、クラスター発生の時から新たな患者の発生をチェックするため、毎日のように患者、職員のPCR検査が必要でした。全国的なパンデミックとも重なって、PCR試薬不足となったため外来でのPCR検査を制限せざるをえなくなりました。外来や救急での発熱患者さんの検査ができなくなり、住民の皆さんには大変ご迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。現在は少し供給が回復しましたが、それでも全国的な患者の増加のため、希望する注文数は確保できない状況が続いています。救急や入院が必要な患者さんに対しては院内検査で対応し、1時間程度で結果は出ますが、急患でない場合は外注で対応しているため結果報告には1〜2日が必要となります。ご了承ください。8月23日現在でも日野病院のコロナ病床は満床が続いており、新規の新型コロナウイルスの患者さんは入院できない状況となっています。住民の皆さんが感染予防を徹底されることをお願いいたします。当院としてもできるだけ早期に回復できるように職員一同努力していきます。この度は住民の皆さん、近隣の医療機関にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

# ウイルスという名の賢者



日野病院名誉病院長 井上幸次

ここ数年、わたしたちは新型コロナウイルス（以後はコロナとさせていただきます）に文字通り翻弄されています。この原稿を書いている2022年8月初頭は第7波の真ただ中で、残念ながら日野病院でもかなりの感染者が出てしまいました。

ウイルスは数十～数百nm（1nmは1mmの百万分の1です。これだけ小さいとイメージしづらいですよ）の微少な感染性の構造体で、タンパク質の殻とその内部の核酸（DNAとかRNAです）だけからなっています。自力で増殖できず、感染した宿主の細胞の中に入り込み、その力を借りてようやく増殖しています。そもそも、生物とってよいのかどうかさえ疑問な弱っちいやつです。けれどもこれだけ全世界の人々が振り回されているのを見るにつけても、まるで人格（ではなくウイルス格でしょうか？）や頭脳があるのではないかとさえ思ってしまう。

特にコロナが厄介なのは、無症状の人がいるかと思うと、重症になって死亡する方もいるというその幅の広さです。無症状の人が多くてうつりやすいけれど全員軽いのなら、そのまま流行らせてしまえばよいのですが、コロナの場合はそうはいかない。逆に死亡する人が多くても全員症状が出るのであればこれほど広がらないはず。よく映画などではすごいスピードで感染して全員死んでしまうようなウイルスが出てきて、とっても怖いのですが、そういうウイルスは自分の感染した宿主を片っ端から殺してしまうので、あまり広がらず、結局自分も滅びてしまいます（ウイルスが増えるには宿主が必要ですので）。ですから実はウイルスにしては大変馬鹿なやつなんです。コロナは賢くて、その辺の匙加減が絶妙で、まるで、我々の困惑を嘲笑っているかのように見えます。そして、コロナのせいで皮肉なことに、グローバル化した現在の人間社会の弱点が次々と露わになりました。私も含めて「コロナ憎し」と思っている人が多い中、このように、コロナのことを褒めるとおしかりを受けそうですが、コロナが貧富の差や人種差別、医療体制の不備、経済優先社会のさまざまな矛盾、そして自分のことしか考えない強権的な指導者の存在などをくつきりと浮かびあがらせたことには驚きます。いかなる賢者も及ばざる明察には脱帽せざるをえません。コロナは人類社会に対してアラームを鳴らしてくれているとさえ言えるかもしれません。

私は大学にいた頃は角膜ヘルペスという目のウイルス疾患を研究していました。ヘルペスウイルス科のウイルスはヒトに感染した後、ヒトの体内の神経細胞などに入り込んでDNAだけの状態で何十年も潜んでいて（これを潜伏感染といいます）、あるきっかけで再び活動を開始して病気を起こします。きっかけになるのは、免疫が低下したり、体にストレスがかかった時なので、ある意味、それは身体の不調を知らせるアラームのようなものであるといえます。帯状疱疹という病気をご存知でしょうか。あれもヘルペスウイルス科のウイルスによるもので、もともと子供のころにかかって、水疱瘡を起こし、その後神経に潜伏し、高齢になって免疫が衰えた時に出てきて帯状疱疹を起こすのです。またヒトヘルペスウイルスの6型も多くの人で潜伏感染を起こしており、疲労がたまるとその結果唾液中で増加し、それが経路で脳へ行ってうつ病を惹き起こしている可能性があるとの研究報告が最近あって驚きましたが、これなどまさに体のアラームですよ。

このように、ウイルスは人類社会やヒトの身体にアラームを鳴らしてくれている賢者なのですから、我々のとる道はウイルスの撲滅ではなく、ウイルスのことをよく知って、その警告に耳を傾け、それと共生していける体や社会をつくることにあるのかもしれない。



# 令和3年度決算のご報告



去る8月29日に開催された日野病院組合議会において令和3年度の決算が認定されました。その内容を報告します。

## ○ 病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

病院事業では、前年度と比べ、外来患者数・入院患者数ともに増加しました。診療単価は、入院は減少しましたが、外来は増加しました。医業収益・医業外収益がともに増加したため、収益全体で増収となりました。在宅介護支援事業の介護サービス収益については、訪問看護・訪問リハビリ・居宅支援件数がそれぞれ減少したため、減少となりました。診療所事業の医業収益は、患者数及び診療単価の増加により増加しました。一方費用ですが、給与費、材料費、経費、減価償却費等の増により増加しました。全体の決算額は、150,466千円の黒字決算となりました。

## 日野病院組合事業決算概要

### ○病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

(単位：千円)

区分	2年度	3年度	増減	備考	
収益	医業収益	1,420,822	1,440,662	19,840	入院収益、外来収益、公衆衛生活動収益等
	介護サービス収益	79,627	73,518	△6,109	訪問看護、訪問リハビリ収益等
	医業外収益	491,764	564,261	72,497	負担金交付金、補助金、長期前受金戻入等
	収益合計	1,992,213	2,078,441	86,228	
費用	医業・介護費用	1,837,081	1,893,009	55,928	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	医業外費用	36,686	34,966	△1,720	企業債利息、消費税等
	費用合計	1,873,767	1,927,975	54,208	
<b>決算額</b>	<b>118,446</b>	<b>150,466</b>	<b>32,020</b>		

資金不足比率 ※	該当なし	該当なし		((流動負債等 - 控除引当金) - 流動資産) / 営業収益 × 100
資金不足負担金発生までの額	761,858	913,610	151,752	マイナスとなった場合にのみ負担金(追加分)が発生
年度末退職給与引当金残高	352,525	357,635	5,110	引当額75,118千円 退職金支払額70,008千円 (14名)

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項（平成19年法律第94号）の規定による。

## ○患者数（利用者）診療単価、及び稼働率等

### 1. 病院事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）			病床利用率（%）		
	2年度	3年度	増減	2年度	3年度	増減	2年度	3年度	増減
(1) 入院診療	29,803	30,385	582	31,917	31,348	△ 569	82.5	84.1	1.6
(2) 外来診療	35,225	35,843	618	10,176	10,684	508			

### 2. 在宅介護支援事業

項目	利用者数（人）			1人1日当たり単価（円）		
	2年度	3年度	増減	2年度	3年度	増減
(1) 訪問看護等	6,728	6,364	△ 364	11,828	11,550	△ 278

### 3. 診療所事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）		
	2年度	3年度	増減	2年度	3年度	増減
(1) 黒坂診療所	429	462	33	3,534	3,737	203
(2) 二部診療所	73	62	△ 11	4,922	4,543	△ 379



# ○ 部門別各種統計（抜粋） （単位：件または人）

## 1. 病院事業

手術件数	2年度	3年度	差引
外科	71	63	△ 8
整形外科	144	120	△ 24
眼科	55	58	3

内視鏡検査	2年度	3年度	差引
胃カメラ	914	884	△ 30
大腸ファイバー	165	165	0
嚥下カメラ	0	0	0
胃ろう造設術	14	5	△ 9
膀胱鏡	9	17	8

超音波診断検査	2年度	3年度	差引
腹部エコー	1,107	1,241	134
心エコー	367	419	52

薬局状況	2年度	3年度	差引
服薬指導(人数)	394	348	△ 46
服薬指導(件数)	747	727	△ 20
処方箋枚数	11,048	12,347	1,299
薬剤数	35,318	38,383	3,065
注射箋枚数	13,634	13,965	331



栄養管理室状況	2年度	3年度	差引
入院時食事療養件数	68,742	69,647	905
外来透析食数	497	390	△ 107
栄養指導	810	689	△ 121

検査室状況	2年度	3年度	差引
血液検査	25,026	27,556	2,530
尿検査	5,771	6,058	287
P C R	628	1,583	955
心電図	2,059	2,120	61
呼吸機能	368	416	48
眼底カメラ	294	318	24
脳波	18	12	△ 6
血圧脈波	273	251	△ 22

放射線室状況	2年度	3年度	差引
一般撮影	5,308	5,646	338
骨塩定量	780	754	△ 26
マンモ撮影	19	11	△ 8
C T 検査	2,296	2,305	9
M R I 検査	1,179	1,347	168

人工透析状況	2年度	3年度	差引
実人員	195	210	15
延べ人員	2,274	2,391	117

理学療法状況	2年度	3年度	差引
運動器 I	8,097	8,822	725
呼吸器 I	2,774	4,062	1,288
脳血管 II	4,657	5,184	527
退院時(前)指導	522	523	1
消炎鎮痛	433	181	△ 252
地域包括ケア病床分	14,841	14,642	△ 199

作業療法状況	2年度	3年度	差引
運動器 I	1,329	859	△ 470
呼吸器 I	551	296	△ 255
脳血管 II	1,800	1,323	△ 477
地域包括ケア病床分	2,451	2,285	△ 166

言語聴覚療法状況	2年度	3年度	差引
呼吸器 I	1,366	1,812	446
脳血管 II	1,968	1,960	△ 8
摂食機能療法	2,401	1,648	△ 753
地域包括ケア病床分	12	2	△ 10

検診実施状況	2年度	3年度	差引
人間ドック	230	264	34
脳ドック	54	44	△ 10
生活習慣病健診	174	179	5
婦人検診	75	76	1
予防接種	2,340	2,142	△ 198
特定健診	15	6	△ 9
事業所健診	46	60	14

## 2. 在宅介護支援事業

訪問看護状況	2年度	3年度	差引
実人員	636	612	△ 24
延べ人員	1,999	1,762	△ 237

訪問リハビリ	2年度	3年度	差引
実人員	915	871	△ 44
延べ人員	4,733	4,602	△ 131

居宅支援	2年度	3年度	差引
介護	1,143	983	△ 160
予防	519	494	△ 25

# ないる互版

<連絡先>【日野病院組合\*在宅介護支援事業所】

☆訪問看護ステーション  
0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所  
0859-72-2723

## 訪問看護ステーションより

### 訪問看護師のつぶやき

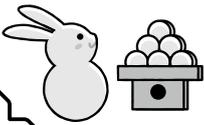


日頃は私たちの活動にご協力いただき大変ありがとうございます。今回はわたしのつぶやきです。

先日、認知症に関する本を読んでいた。その中で、<認知症ケアでは『寄り添い』が大切だといわれます。では、『寄り添い』とは具体的に何でしょうか。【場所】【時間】【感情】の3つを共有すること>と筆者は述べています。

例えば、親の受診に同席したとしましょう。待合室では本を読んだり、携帯電話をいじっていたのでは【時間】と【場所】は共有していても、【感情】は共有していません。これはつまり『付き添い』なのです。相手の話に耳を傾け、感情を共有すると、相手には安心感が生まれる(=寄り添い)ということです。そこで自分を振り返りました。仕事の場面でも、きちんと相手に寄り添っているだろうかと…。

この仕事をしていると、毎日いろいろな事が起こります。その出来事ひとつひとつに関心を向け、寄り添っていけるように努力していきたいと思います。初心忘るべからずですね。今後ともよろしく願いいたします。



## 訪問リハビリのお仕事をご紹介します

～リハビリには運動のほかに  
言語もあります～

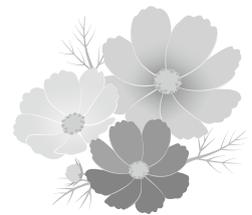
日野病院訪問看護ステーションでは、言語聴覚士の訪問を行っています。



現在は、脳卒中後のことばの障害、加齢による飲み込み(嚥下)機能の低下、脳の病気によることばや口腔機能の低下に対するリハビリを主に行っています。

他にも、口から食べられない方には誤嚥性肺炎予防の口腔リハビリ、認知症の進行予防、脳卒中や事故後の高次脳機能障害にも対応します。

気になることがあれば、スタッフにお気軽にお問い合わせください!



## ～ケアマネジャーの新たな取り組み～

当事業所は看護師、社会福祉士、介護福祉士の基礎資格を有する3名のケアマネジャーが従事しています。現在の取り組みは、利用者様の日野病院受診に同席し在宅療養の相談や情報交換を行い連携をとっています。また、必要に応じて他の診療所や薬局、歯科医師との連携も行っています。利用者様が日野病院へ入院された時もカンファレンスに参加し在宅生活の情報を提供しています。

利用者様の在宅療養が安定することで日常の生活も楽しく過ごせると考えます。今後も皆様のお役に立ち皆様の笑顔を見ることができれば幸いです。

連絡先 電話 0859-72-2723



## 祝 自治体立優良病院表彰受賞

日野病院組合日野病院 病院長 孝田 雅彦

この度日野病院は、令和4年6月16日に、全国自治体病院開設者協議会及び公益社団法人全国自治体病院協議会が実施している自治体立優良病院表彰（全国自治体病院開設者協議会長・公益社団法人全国自治体病院協議会長表彰）を受賞いたしました。全国857の自治体病院の中から優良病院として9病院の一つに選ばれたことを大変光栄に存じます。これは住民の皆さんと近隣の医療福祉機関の日野病院に対するご協力、ご支援と、そして何よりも当院職員の献身的な働きによるものと心より感謝申し上げます。

この表彰の選考基準は大変厳しく、過去5ヶ年間の各年度において収支の均衡が図られ、つまり黒字であること、累積不良債務がないことに加え、救急医療の実施状況、保健衛生活動の実施状況、他医療機関との連携、高度・特殊・先駆的医療、へき地医療への貢献などを踏まえて総合的に判断されるものです。日野病院が大きな評価を受けた点は、①身近なかかりつけ病院として一人の患者に対して包括的、継続的、全科的医療を提供するとともに専門医療の外来機能も担っている、②「地域の事は地域で学び、多職種連携、地域連携の実践できる医療人を育てる病院」をビジョンとし地域医療の教育病院となっている、③日野郡3町（日野町、江府町、日南町）（日野病院、江尾診療所、日南病院）と鳥取大学医学部附属病院が日野郡の安定的、継続的医療の提供と、地域医療教育の充実、人材育成確保を目的に協定を結び「日野郡の医療連携を考える会」を開催している、④新型コロナウイルス感染症対応として発熱外来、コロナ病床への入院受入、ワクチン接種における自治体と連携しているなどです。まだまだ課題は山積していますが今後も職員一丸となって取り組んでいく所存です。この賞にふさわしい病院としてさらに発展していきたいと思っております。

### 日野病院 地域医療総合教育研修センターだより

今岡 慎太郎

今年度も5月～6月の4週間にわたり鳥取大学医学科6年生2名の臨床実習を行いました。今回は実習生2名の感想を掲載しますのでぜひご覧下さい。2名とも医師として一步を踏み出すための基礎になる貴重な実習時間を過ごすことができたと思っております。当講座からも住民の皆様、病院スタッフの皆様に厚く御礼申し上げます。

鳥取大学医学部医学科6年 境田 明日香

鳥取大学医学部医学科6年生の境田明日香と申します。私は5月16日から6月10日までの4週間、日野病院で実習をさせていただきました。優しく丁寧に指導して下さった先生方、看護師さん、診察を許可して頂きお話を聞かせて下さった患者さん方のおかげで、とても意義深く、得るものの多い時間を過ごせました。この実習での経験を活かし、立派な医師になれるようこれからも励んでまいります。ありがとうございました。

鳥取大学医学部医学科6年 城間 奈々子

日野町に訪れた日、山や川など自然が豊かで感動したのを覚えています。

病院実習で関わらせていただいた患者さんとの思いがけない一期一会は、言葉では言い表せないほど心に残る大切なものとなりました。卒業後に日野病院で研修に参加させていただく機会があった際は、病院外での交流も図りたいです。今回充実した実習ができたのは日野病院で関わらせていただいた患者さん、そしてスタッフさんがいらっしゃったからです。

心より感謝申し上げます。



(実習の最後に行った成果発表会の様子です)

### ○何をする人なの？

話す、聞くといった「ことば」の問題や飲み込みの問題についての検査に基づいた訓練を行っています。

### ○実際にはどんな仕事をするの？

言語、認知の訓練、摂食嚥下の訓練、発声発語の訓練、  
子どもの言語発達の遅れに対する訓練、聴覚障害に対する支援などを行います。

### ○日野病院で多いのは？

#### ことばの訓練

- ・脳卒中や頭のけがや病気などにより、ことばが出にくくなったり、ことばの理解がしにくくなったりした方に対してコミュニケーションの訓練
- ・脳卒中などにより、ろれつが回らなくなったり、のどの病気などで、声に不調が生じたりした方に対して、発声・発語の訓練



#### 摂食嚥下の訓練

- ・飲み込みの評価・訓練
- ・適切な食事形態や食器の選定
- ・ロや入れ歯のケア食べられない方にも「誤嚥性肺炎を起こさない口」にする支援をします
- ・その他、摂食全般への支援



最近、上記2つの訓練や評価の希望が多く聞かれます。  
気になる症状がある方は、主治医を通じて気軽にご相談ください。  
自宅に伺う訪問リハビリも行っております。

## Hino's Kitchen

### ～テジトマスープ(돼지 토마토 탕)～

410Kcal ,Protein : 17.2 g  
Sodium : 1.4g (1人分)

#### 材料 (2人前)

豚肉(コマ切れ)	140g	水	450ml
ニラ	50g	鶏がらスープの素	小さじ1/2
人参	30g	★味噌	10g
白ネギ	60g	★コチュジャン	10g
トマト	1個	白ゴマ	少々
卵	1個		
もやし	120g		
●生姜	5g		
●ニンニク	1欠片		
●醤油	小さじ1		
ごま油	小さじ1		



1. ニラは4cm位に切って、人参はせん切り、白ネギは斜めに薄切り、トマトは角切りにする。  
●の生姜・ニンニクはすりおろす(チューブならそれぞれ5cm位)
2. 豚肉に●を揉み込み、鍋にごま油を入れ中火で炒める。火が通ったら人参・ネギ・トマトを加えて炒める。
3. 水と鶏がらスープの素を加えて煮立て、アクを取りながら弱火で5分煮る。ニラ・もやしを加えしんなりするまで煮て、★を入れ味付ける。
4. 卵を溶きほぐして流し入れ、ふんわりしたら火を止める。
5. 器に盛って白ゴマを振る。

※1食で1/2日分以上の野菜を摂取出来ます、トマトの旨味・酸味がアクセント！「テジ」とは韓国語で豚の意味です。  
豚肉には疲労回復に役立つビタミンB1が豊富、ニラ・ニンニクと一緒に食べる事で更にその効果が期待できます♪  
日野病院のホームページからレシピ動画も見れます。

## ～眼科白内障手術の 入院期間が短くなりました～

### 基本（2泊3日）

1日目 入院・手術  
↓  
2日目 検査・診察  
↓  
3日目 検査・診察・退院  
6日目以降 外来通院

### 遠方の場合（3泊4日）

1日目 入院  
↓  
2日目 手術  
↓  
3日目 検査・診察  
↓  
4日目 検査・診察・退院  
6日目以降 外来通院

### 日帰り入院手術

1日目 入院・手術  
安静後、退院  
↓  
2日目 外来通院 検査・診察  
↓  
3日目 外来通院 検査・診察  
6日目以降 外来通院

お問い合わせ  
0859-72-0351  
眼科外来まで



☆手術後、連日通院可能な方（家の方が送迎できる方、もしくは公共機関を使用できる方）は日帰り入院手術もできます

☆11月から待ち時間短縮のため時間予約制になります。

## 連絡先



### 日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地

TEL 0859-72-0351

FAX 0859-72-0089

### 黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地

TEL 0859-74-0351

FAX 0859-74-0351

### 二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4

TEL 0859-62-0351

FAX 0859-62-0351

### 〈編集後記〉

今年の夏は猛暑とコロナ蔓延で、ある意味記憶に残る夏となりました。最近、夏の暑さと急な雨はセットになりつつありますね。

そして気が付けば、稲穂は頭を垂れ新米の季節が近づいてまいりました。

私ごとですが、夏バテもせず食欲の秋到来で困ったものです。

『天高く我肥ゆる秋』

暑さ寒さも彼岸まで。コロナも彼岸までで何とかなってくれないかなあ・・・  
(日野の小町)

# 日野病院 外来診療案内

R.4.9 ~

午前 午後 休診

診療科		受付	月	火	水	木	金
内科	1 診	午前	笠原 (循環器内科)	下坂	河村浩二 (第1・3週) 阿武※1 (第2・4週)	笠原 (循環器内科)	下坂
		午後			阿武※1 (第2・4週)		
	2 診	午前	孝田 (兼肝臓内科)	孝田	菓 (消化器内科)	田尻※1	田本
		午後			菓 (消化器内科)		中井
	3 診	午前	李	谷口(第1・3週) 孫(第2・4・5週)	河村実穂	北浦 (兼呼吸器内科)	今村 (大学医師)
		午後	中井	今岡		北浦 (兼呼吸器内科)	
総合診療科	午前	中井 (初診)	今岡 (初診)	李 (初診)	孫 (初診)		
(外科第2診療室)	午前				中井		
外科		午前	大学医師	佐藤	大学医師	大学医師	佐藤
整形外科		午前	百田	百田	百田	百田	柳樂 (大学医師)
眼科		午前	井上	井上	井上	井上	春木 (大学医師)
小児科	午前	竹茂	竹茂	竹茂	総合診療科にて対応	大学医師	大学医師
	午後	大学医師	竹茂	竹茂	竹茂	竹茂	大学医師
専門診療科 (大学医師他)	午前		肝臓内科 孝田	皮膚科 大学医師	消化器内科 菓	呼吸器内科 北浦	
			循環器内科 笠原	女性診療科 秦	血液内科 河村浩二(第1・3週)	循環器内科 笠原	
			脳神経外科 大学医師(第1・3週)		糖尿病外来 阿武(第2・4週)※1	脳神経内科 田尻※1	
	午後				泌尿器科 山元	泌尿器科 引田	
						耳鼻科 大学医師	
				心臓外科 西村(第1・3週)	消化器内科 菓	呼吸器内科 北浦	心療内科 大立
			ペースメーカー外来 西村(偶数月第3週)	糖尿病外来 阿武(第2・4週)※1			
			血管外科 吉川(第2・4週)				
消化器検査 ドック検査	午前		下坂 河村	佐々木	消化器内科医(大学) カメラ 佐々木 ドックエコー 中井	下坂	佐々木 田本
	午後		下坂		消化器内科医(大学)		田本

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

- 自動再来受付機による受付 (時間予約を除く)
- 午前 = 7時30分～10時30分
  - 午後 = 正午～15時 (心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科)
  - 午後 = 正午～16時 (内科・小児科)
- 検査開始時間
- 午前 = 8時30分～
- 診療開始時間
- 午前 = 9時～ ● 午後 = 14時～
- 休診日
- 土曜日・日曜日・祝日 ● 8月14日・15日 ● 12月29日～1月3日
- 電話による予約日・予約時間の受付
- 14時～16時 (受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

- 新患登録・新規予約 <代 表> **72-0351**
- 予約日(時間)変更
- <内科> **72-2721** <皮膚科> **72-2720**
  - <禁煙外来> **72-2721** <泌尿器科> **72-2720**
  - <外科> **72-2719** <耳鼻科> **72-2720**
  - <整形外科> **72-2720**

- ※1 糖尿病外来・脳神経内科は完全予約制です。受診希望の方は、平日14時～16時に内科外来にご相談ください。(72-2721)
- ※2 禁煙外来は完全予約制です。受診希望日の前日(平日のみ)までに電話等でご予約ください。(72-2721)

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

## 外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から10時30分まで) (R.4.9月～)

診療科目	月	火	水	木	金	
内科	1 診	笠原	下坂	河村浩二(第1・3週)・阿武(第2・4週)	笠原	下坂
	2 診	孝田	孝田	(大学)	(脳内)	田本
	3 診	李	谷口・孫	河村実穂	北浦	今村(大学)
	総合診療科	中井(初診)	今岡(初診)	李(初診)	孫(初診)	
	外科第2診療室				中井	
外科	(大学)	佐藤	(大学)	(大学)	佐藤	
整形外科	百田	百田	百田	百田	柳樂(大学)	
眼科	井上	井上	井上	井上	春木(大学)	
小児科	竹茂	竹茂	竹茂	総合診療科にて対応	(大学)	
専門診療科	肝臓内科 循環器内科 脳神経外科(第1・3週)	皮膚科 女性診療科	消化器内科 泌尿器科 血液内科(第1・3週) 糖尿病外来(第2・4週)※1	呼吸器内科 循環器内科 脳神経内科※1 泌尿器科 耳鼻咽喉科		

午後 (受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)

診療科目	月	火	水	木	金
内科	中井	今岡	(大学)	北浦	中井
小児科	(大学)	竹茂	竹茂	竹茂	(大学)
専門診療科	心臓外科(第1・3週)※ ペースメーカー(偶数月第3週)※ 血管外科(第2・4週)※		消化器内科 糖尿病外来(第2・4週)※1	呼吸器内科	心療内科

● 医師の出張等により、診療日・担当医師が変更になる場合があります。(切り取って財布等に入れご利用ください)

せせらぎ 令和4年9月 発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 住所/〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332 TEL/0859-72-0351 FAX/72-0089 印刷/富士印刷有限公司



日野病院組合だより

No. 76  
令和5年1月発行

# せせらぎ

題字 孝田雅彦 病院長

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351  
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089



日本医療機能評価機構  
認定第JC1483号



## 迎春

### 新年のごあいさつ



日野病院組合管理者  
塔田 淳一

明けましておめでとう  
ございます。皆さまにお  
かれましては、健やかに  
新年をお迎えのこととお  
慶び申し上げます。

の皆さまの安全・安心に  
尽力させていただいてい  
るところです。幸いにも  
日野病院の外来・入院の  
患者数は前年比でも大き  
く落ち込むことなく推移  
している状況です。地域  
の皆さまに信頼されてい  
ることをうれしく思い、  
良質な医療を引き続き提  
供してまいります。

日野病院組合のこの一  
年間を振り返りますと、  
三年余り続いているコロ  
ナウイルス感染症の影響  
を大きく受けた一年であ  
りました。ワクチン接種  
が推奨される中であって  
は、組合構成町との連携  
を密にして接種を実施し  
ました。一方で、PCR  
検査件数が著しく増えて  
検査キット不足となった

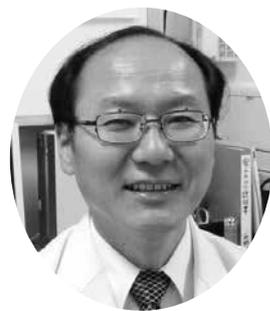
そういった中で、日野  
病院は令和4年度自治体  
立優良病院表彰を受賞し  
ました。経営努力の成果  
として黒字経営が持続し  
ていること、かつ無医地  
区での診療所設置運営、  
鳥取大学と連携しての総  
合診療医の育成など地域  
医療の確保に重要な役割  
を果たしていることが評  
価され、今回の受賞とな  
りました。

り院内感染事案が発生  
し、緊急患者受け入れや  
外来診療の一部を休診と  
させていただくなどの対  
応に迫られました。検査  
キットの供給は回復し、  
また院内感染防止対策を  
更に徹底し強化し、地域

超高齢化、高齢人口減  
少地区での小さな自治体  
病院ですが、今後も職員  
一丸となり、地域医療を  
担う役割を果たして参り  
ます。



# かかりつけ医・かかりつけ病院 かかりつけ病院



日野病院病院長  
孝田雅彦

昨年、日野病院は自治体優良病院表彰を受けました。さらに2022年11月15日に自治体病院協議会全国大会経営セミナーにおいて優良病院表彰を受けた

9病院の中から当院を含む2病院が発表の機会を得て、講演をさせていただきました。そのとき、改めてかかりつけ医・かかりつけ病院について考える機会を得ました。最近、財務省はかかりつけ医の法制化をしようとしています。しかし、その中身は医療費削減が目的であり、かかりつけ医の真の意義から行おうとしているわけではないようです。その先には医師の登録制と医療費を患者の人数単位にしようとしていると思われます。患者数によって医療費を決めれば検査や治療をしない方が医療機関の収入は増えることとなり必要な医療が行われなくなることは火を見るよりも明らかです。悪医が蔓延り、良医は駆逐されるだけです。現状でも、かかりつけ医の機能を全うすることは極めて大変です。かかりつけ医である限りは全科的な、総合的な知識が必要です。しかし、診療所の医師の多くは元々何らかの専門医であった場合が多く、専門以外の分野についても日々勉強して知識を更新しなければなりません。しかし、現実には患者が複数の医療機関に罹って補っているのが現状です。将来を見

据えて全科的な総合的医療を身につけた総合診療医を育成することが必要です。また、高齢者では医療だけでなく、社会的、あるいは福祉的な問題も増えてきます。それらにも対応するため日野病院ではかかりつけ医という考え方ではなく、かかりつけチームによるかかりつけ機能を実践するかかりつけ病院という方式を目指しています。かかりつけチームには総合的医療を行うかかりつけ医、専門医、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士、ケアマネジャーなどが含まれます。これを実践するのは診療所でも大病院でも困難で、当院ぐらいの規模の病院が最も適していると考えています。

具体的には、かかりつけ医がかかりつけチームの中心として一般内科医あるいは総合診療医が担当し、患者さんを全科的、包括的、継続的に診療します。かかりつけ医が、専門医療が必要と判断すれば、日野病院の専門診療科に紹介し、並行しながら患者さんを見ていきます。同じ病院なので情報の共有化もスムーズです。専門診療科での精査・治療が終われば、かかりつけ医が必要な医療を継続していきます。患者さんに取って総合的医療と専門的医療の両方を過不足なく受けられるようにしており、安心して受診していただくと確信しています。医師に相談しにくいことや、福祉の問題などはかかりつけチームの看護師やソーシャルワーカーなどに相談していただきます。小病院においてこそ医療レベルの高い診療を効率よく提供できると考えています。このようなかかりつけ病院方式はまだまだ試行段階であり、全国的にもあまり行われていないと思いますので、住民の皆さんのご意見もお聞かせいただければありがたいです。



## 日野病院のマークを見て、 手塚治虫を思うということ



日野病院名誉病院長 井上幸次

昨年4月、日野病院に勤め始めた初日に辞令をいただいた折、会議室の正面に大きな日野病院のマークが掲げてあって、鳥の形と「ひの」という文字の両方をアレンジしたものなんだなあ、なかなか可愛いじゃないか、と思っていました。しかし、それが「おしどり」だということには思い至らず、この冬場におしどり観察小屋のリニューアルが話題になってはじめて、あれは「おしどり」なんだと気づいた次第です（日野にお住まいの方からは、もっと早く気付けよとお叱りを受けそうですが）。ただ、私は自分で勝手にこの鳥に「ひのとり」と名付けて納得していたので、それも気づきを遅らせた原因になっています。この勝手なネーミングに漢字をあてると当然のことながら、「日野鳥」なのですが、別の字をあてて、「火の鳥」としてもよいと思っていました。

「火の鳥」といえば、思い出されるのは、手塚治虫のあの名作です。自らを火に投じて復活することのできる不死鳥「火の鳥」は、その血を飲むと永遠の命を得ることができることから、過去から未来まで、さまざまな時代のさまざまな人達が、それを手に入れようといろいろな策を弄し、たくさんのドラマが生まれます。不死を望む人間の果てしない欲望を描くことで、かえって人の命の大切さを我々に語りかけてくれる漫画です。あまりに構想が壮大すぎて未完になってしまい、そこには答えがないにもかかわらず、というか答えがないからかもしれませんが、しっかりと心に刻まれる作品です。いろいろなエピソードから成っていますが、中でも「未来編」に描かれた未来の姿は、それが今や現実になりつつあるのではないかと思わせる洞察力に満ちていますし、「鳳凰編」は、とても深い内容で、並の映画や小説が遠く及ばぬ静謐なラストに心が洗われます。手塚治虫には医療を直接題材にした「ブラックジャック」や「きりひと讃歌」などもあり、それらはもちろんそれぞれに素晴らしいのですが、人の命をあずかる我々医療者にとって一番大事なのは命をそのままテーマにした「火の鳥」なのではないかと、よく思うことがあります。

実は私は手塚治虫の高校と大学のダブル後輩で、特に大阪の北野高校に在学していた時には、先輩だからということで、文化祭に手塚治虫が講演に来てくれるという贅沢なことがあって、直接その姿を拝んだことがあります。「それがどうした」と言われそうですが、実を言うと孝田院長も北野高校の出身なので、手塚治虫の後輩であり、小児科の竹茂先生も大阪大学医学部の出身なので、やっぱり手塚治虫の後輩なのです。手塚治虫の後輩が3人もいて、「ひのとり」をマークにしているのですから、これはもう何かの縁（えにし）があるといわざるをえません（別名「こじつけ」とも言いますが）。

もう一つ「えにし（こじつけ）」を言わせてもらえれば、手塚治虫が亡くなる前に一部構想だけが残されていた「大地編」というのがありますが、それを小説という形で再現した桜庭一樹という作家がおられます。彼女（一樹というペンネームですが、女性です）は実は鳥取県米子市の出身で、代表作の「赤朽葉家の伝説」は鳥取県で製鉄業がさかんな架空の村を舞台にしていますが、これって日野のことでは、と勝手に思っています。

更にダメ押しの「えにし（こじつけ）」を言わせてもらおうと、日野病院はロボット手術日本一の鳥取大学の重要な関連病院ですが、その鳥大が、導入初期から使用していた手術ロボットの「ダビンチ」に加えて、新たな国産の手術ロボットとして「hinotori」を昨年導入されました。

「日野鳥」をマークにかかげた日野病院が、「hinotori」を手にした鳥大と協力して、手塚治虫が「火の鳥」で描いた命の大切さを日々心に留めつつ、邁進していくことができれば、そこでこの一連の「こじつけ」が本当の「えにし」となるのではないかと夢想しています。

# すまいる瓦版



# 謹賀 新年

昨年と同様に

本年もたくさんのすまいる  
お届けします♪  
どうぞよろしく  
お願いいたします  
スタッフ一同

<連絡先> 【日野病院組合\*在宅介護支援事業所】

☆訪問看護ステーション

0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所

0859-72-2723

## 新年あけましておめでとうございます

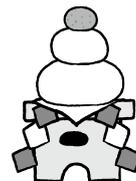
皆さま健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

令和4年は新型コロナウイルスの感染が続くなか、生活の制限も少しずつ緩和され、感染拡大前の日常生活を徐々に取り戻しつつある一年でした。ご利用者の方の中には、遠方のご家族や友人と数年ぶりにお会いになられた方もおられると思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年も利用者の方々にも多大なご不便をおかけした一年でもありました。日野病院在宅介護支援事業所におきましても職員等の感染により、ご自宅へ伺うことが急遽中止になることもあり、ご不便をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。また、利用者の皆様に感染対策へのご協力に対しても改めてお礼を申し上げます。

まだまだ寒い日が続きますが、体調に気をつけられるとともに、心配なこと、困ったことなどがございましたらどうぞお気軽にスタッフまでご相談ください。

すまいる瓦版と書いてありますように、ご利用者皆さんの笑顔が当事業所職員の元気の源です。その笑顔がいつまでも見られるように、また皆さんが安心して生活していただけるよう職員一同頑張りますので、本年もどうぞよろしく願いいたします。



在宅介護支援事業所 次長 佐々木 修一

## 訪問看護職員養成講習会

訪問看護師を育成する一環のプログラムとして11月8日～11月10日の3日間、当ステーションへ実習に来られました。実習を終えて感想を聞かせて頂きました。



私は看護師の資格はありますが、15年のブランクがあります。実家の父を自宅で看取ったこともあり、かねてから訪問看護に興味がありましたが、この度訪問看護師養成講習会のことを知り、受講することにしました。そして、縁あって実習先となったのが訪問看護ステーション「すまいる」さんでした。

訪問先へ向かう車内で、訪問看護師さんといろいろお話をさせてもらった中で一番印象的だったのが、「訪問看護師は、利用者さんの病状を観察し異常がある場合、状態がまだ軽いうちに入院につなげ、その間に多職種とのサービスの調整を行い、療養環境も立て直す。早期入院することで入院期間も長引かず、療養環境を整えることで再入院のリスクも減らすことができる」という趣旨の話でした。ただ目の前のことだけでなく先のことも見据えたチーム医療の視点が訪問看護では大切なのだと学びました。

15年のブランクのため、初日は大変緊張しましたが、ステーションの皆さんには気さくに話し掛けていただき、アットホームな雰囲気の中で実習を行うことができました。たった3日間でしたが、学びの多い実習となりました。

今後はこの実習で学んだことを生かし、訪問看護師として働いていきたいと思っています。実習に温かく迎えていただき、ご支援、ご指導くださり、どうもありがとうございました。

飯田晃子

# 日野病院 地域医療総合教育研修センターだより

総合診療科 今岡 慎太郎

日頃から当センターの教育活動にご協力いただき大変ありがとうございます。先日、下上菅地区で「アドバンス・ケア・プランニング」をテーマにした健康教室を行いましたので今回はその紹介をしたいと思います。

わたしたちはいつ病気やけがによって命の危険を迫られる状態になるか分かりません。場合によってはそういった状態になった後、自分で治療やケアに関する意思を伝えられないこともありえます。「アドバンス・ケア・プランニング」とはもしもの場合に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセスのことです。厚生労働省は「人生会議」という愛称もつけています。ここ数年で取り上げられるようになった言葉ですので、もしかしたら既に詳しく御存知の方もいらっしゃるかもしれません。周りの人と話し合うこと自体に大きな意味があると思います。とはいえ、命の危険に陥った場合についての話し合いを切り出すのは、やはり勇気のいることです。縁起が悪い話はしにくいと感じることもあるでしょう。一方で、このテーマで何回か地域の方々にお話しさせていただく機会はこれまでもあったのですが「普段からそういう話は時々しますよ」と言われることも増えているように感じています。たとえば私自身が親に、人生の終末をどう思っているか、話を切り出すとしたらどのようにすればいいのか迷います。この健康教室では、きっかけのひとつとして「もしバナゲーム」というカードを使った方法で、仮に自分の余命が残り少ないとしたらどう思うかについて話し合いをしていただきました。実際には話し合いというより、皆さんでワイワイ自分の考えをいう雰囲気でした。詳しいルール紹介は省きますが、トランプのような形で簡単にできるので興味のある方はインターネットなどで情報を参照していただければと思います。「アドバンス・ケア・プランニング」では周りの人と話し合うことで意見が共有されたり、自分の考えもより整理されていくことが重要だと思います。このテーマだけでなく、健康教室を通して参加者の皆さんと様々なお話ができて私も大変貴重な経験をさせていただきました。今後ともよろしく願いいたします。

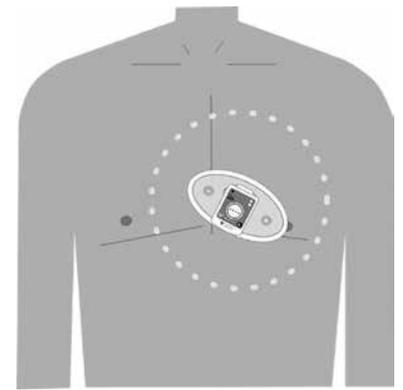


## 🍷 2週間ホルター心電計が入りました 🍷

### ホルター心電図とは??

ホルター心電図は小型の心電計を体表に装着し、日常生活における心電図を記録する検査です。通常、病院で行う心電図検査は安静時に短時間で検査するため、来院時の検査だけでは心電図に異常が見つからない場合があります。ホルター心電図は日常生活中心電図を長時間記録することで来院時に見つからなかった心電図の変化を検出しやすくなります。

当院ではこれまで24時間の心電図が記録できるホルター心電計を使用していましたが、これに加えて2週間の心電図が記録できるホルター心電計が追加されましたので、それぞれの心電計についてご紹介いたします。



★2週間ホルターホームページ  
心電図の貼り付け例★  
フクダ電子参照

### 24時間ホルター心電図 の特徴

最大24時間 測定可能

動悸、失神、胸痛などの症状がある方の診断に有用です

狭心症や不整脈の診断が可能です

入浴不可  
(当院、貸出機器は対応していません)

### 2週間ホルター心電図 の特徴

最大2週間 測定可能

動悸、失神などの症状がある方の診断に有用です

不整脈の診断が可能です

検査中の入浴も可能です(防水機能付き)



### 2週間ホルター心電図は心房細動の診断に有用です

心房細動とは心臓にある心房が痙攣した状態で、心房の収縮が不十分となり、血栓ができやすくなります。心房細動がある患者さんは“**脳梗塞**”などの塞栓症を合併するリスクが高くなります。

心房細動は発症初期は発作の持続時間が短いことがあるため、24時間ホルター心電図で検査をしても見つからない場合があります。2週間ホルター心電図は最大2週間の心電図を記録することで、心房細動の検出率を向上させ、早期発見と早期治療に有用な検査法であると考えられています。



★何か、気になる症状がある方は一度内科にご相談ください。

出展フクダ電子

## ～受診予約のご案内～

従来の予約可能な診療科に加えて、眼科での予約受付もできるようになりました。  
(令和4年4月より)診療日程の詳細について、下記をご参照ください。

時間予約あり	令和5年1月現在																				
	整形外科	外科	眼科	内科						総合診療科 再診	循環器内科	皮膚科	消化器内科	泌尿器科	脳神経内科	呼吸器内科	耳鼻咽喉科	心療内科	脳神経外科	糖尿病内科	血液内科
				孝田	下坂	河村	小原	田本	今村												
(月)~(金)	(月)~(金)	(月)~(金)	(月)・(火)	(火)・(金)	(水)	(火)・(金)	(金)	(金)	(月)・(火)・(木)	(月)・(木)	(火)	(水)	(水)・(木)	(木)	(木)	(木)	(金)	第1・3(月)	第2・4(水)	第1・3(水)	
時間予約なし(受付順)	総合診療科 初診	内科 初診	小児科	女性診療科	心臓外科	血管外科															
(月)~(木)	(金)	(月)~(金)	(火)	第1・3(火)	第2・4(火)																

\*診察のみの方は、予約時間の10分前までに来院していただき、受付をお願いします。  
\*採血・検査がある方は、結果が出る迄1時間程度かかりますので、1時間前を目安に来院していただき、受付後、検査を受けてください。

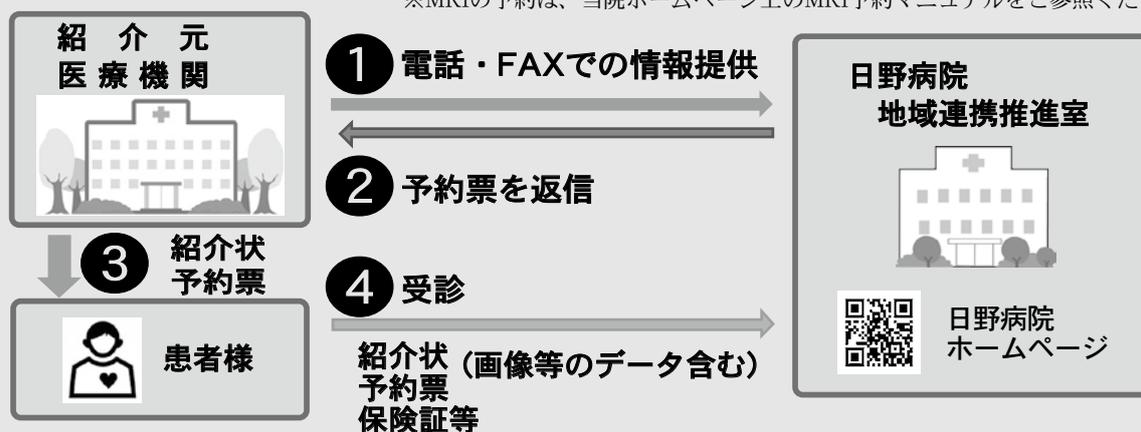
\*当日の受診の電話相談は、緊急の場合を除き、午前9時00分以降をお願いします。  
\*予約の変更は、前日までの午後に連絡をしていただきますようお願いいたします。

予約受付時間	月～金曜日			
	※土日祝祭日・年末年始は除く			
	14時00分～16時00分			
新規予約 予約変更 連絡先	内科	外科	整形外科	その他
	0859-72-2721	0859-72-2719	0859-72-2720	0859-72-0351

外来患者様向け

医療機関に向けて、診察・検査※の予約を電話またはFAXにて実施しています。

※MRIの予約は、当院ホームページ上のMRI予約マニュアルをご参照ください。



予約受付時間	月～金曜日	
	※土日祝祭日・年末年始は除く	
	8時30分～16時45分	
予約連絡先	地域連携推進室	
	電話番号(直通)	FAX番号
	0859-72-2714	0859-72-0089

医療機関向け

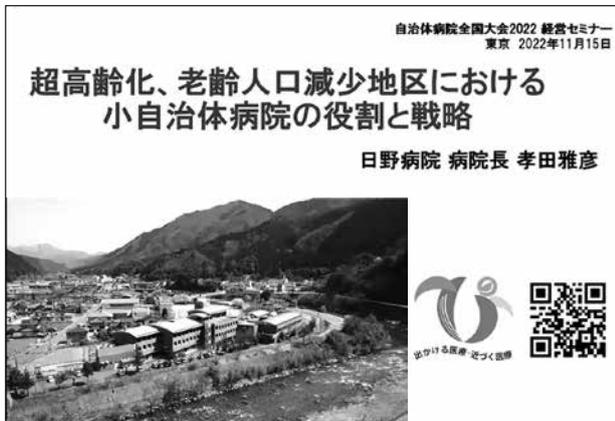
## 自治体病院経営セミナーで孝田病院長が講演しました

去る11月15日、東京都において、全国自治体病院協議会主催の経営セミナーが開催され、当院の孝田雅彦病院長が講演しました。

このセミナーは、例年、自治体立優良病院表彰を受賞した病院が、他病院の見本となる取り組みや戦略について講演するもので、本年度受賞した9病院のうち、日野病院と青森県の八戸市立市民病院が選ばれたものです。

孝田病院長は、「超高齢化、高齢人口減少地区における小自治体病院の役割と戦略」と題して、日野病院が日野郡にあることの意義や、医療機関としての役割、持続可能な地域医療体制を確保するために行っている施策等について、約60分間講演しました。

当日は、現地での参加者をはじめ、同時に全国にオンライン配信され、大勢の自治体病院関係者が受講しました。

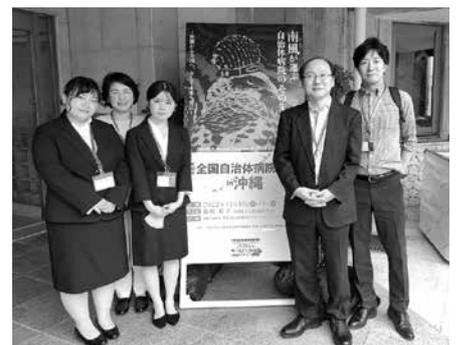


## 沖縄で開催された第60回全国自治体病院学会で5演題を発表

2022年11月10日(木)、11日(金)の2日間にわたり、沖縄県那覇市の「那覇文化芸術劇場なは一と」、「ホテルコレクティブ」、「沖縄県立武道館」を会場として第60回全国自治体病院学会が開催されました。本学会では、総会特別講演、総会シンポジウム、10の専門分野での特別講演とシンポジウム、ポスターセッション、ランチョンセミナーが行われました。

日野病院からは、孝田雅彦：演題「高齢者肺炎の治癒診断における携帯超音波による肺POCUSの有効性」山口浩一：「行政との協働による透析患者送迎サービス導入におけるMSWのソーシャルアクション」松田遥菜：「直腸内便貯留に対する看護師による便秘エコー経腹アプローチと経腎裂アプローチの比較」野村友輪子：「看護師による便秘エコーの有用性」山形睦美：「時間予約制導入が外来待ち時間に与える影響と患者の実感」の研究をポスターセッションで発表させていただきました。どの研究も地域医療に貢献しておりとても好評でした。また日野病院の代表として沖縄で発表させていただき感謝するとともに、今後それぞれの立場からの視点を活かし地域医療の発展に貢献できればと思います。

看護師：山形睦美



# 令和5年度 看護師育成奨学金・薬剤師育成奨学金奨学生募集 !!

日野病院組合では、令和5年度の薬剤師育成奨学金並びに看護師育成奨学金の貸付けを希望される方を募集します。将来、日野病院組合に就職した場合には奨学金の返還を免除する規定もあります。関心のある方は、まずはお気軽にお問い合わせください。

○ 応募・問合せ先：〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332  
**日野病院組合事務局総務課**  
**TEL 0859-72-0351 FAX 0859-72-0089**

区 分	薬剤師育成奨学金	看護師育成奨学金	
資 格	大学の5年生及び6年生（応募時点では4年生及び5年生）に在籍し、薬剤師国家試験を受験する予定の者、または、大学を卒業後、次回の薬剤師国家試験を受験する予定の者。  資格取得後、日野病院組合に勤務する意思を有すること。	看護を履修する学校等に在籍（応募時点では、入学見込で可）する者。ただし、高等学校及びその高等学校の専攻科において看護師を養成する課程を設ける学校等に在学する者にあつては、その学校等の専攻科に在籍する者に限る。	
募 集 期 間	2月1日（水）～3月31日（金）まで	2月1日（水）～2月28日（火）まで	
貸 与 額	月額100,000円以内（無利子）	月額50,000円以内（無利子）	
貸 与 期 間	最長3年	貸付けを受けた月から卒業する月まで	
奨学金の返還	期 間	貸付けを受けた期間の3倍の期間	貸付けを受けた期間の2倍の期間
	金 額	月賦の均等払方法により、貸付けを受けた金額（月額）の1/3の金額ずつを返還	月賦の均等払方法により、貸付けを受けた金額（月額）の半分の金額ずつを返還
返還の免除	貸付けを受けた金額の返還義務期間に日野病院組合に勤務した場合には、その勤務した期間について返還を免除します。 ※この奨学金の貸与が日野病院組合への採用を約束するものではありません。		

- ※ 申込後、適正検査・面接等により奨学生を決定します。
- ※ この奨学金の貸与が日野病院組合への採用を約束するものではありません。

## 日野病院組合職員の給与等の状況（令和4年4月1日現在）

### ●職員の平均給料月額、平均年齢及び職員数（令和4年度当初予算）

区 分	一般行政職	現 業 職	医 療 職	医療技術職	看 護 職
平均給料月額	278,235円	287,863円	420,171円	274,101円	268,301円
平均給与月額	316,735円	305,413円	890,573円	311,276円	329,982円
平均年齢	44.0歳	57.0歳	43.9歳	41.1歳	38.2歳
職員数	13人	2人	8人	29人	54人

平均給料月額：職員の基本給の平均

平均給与月額：給料月額と毎月支払われる諸手当の合計したものの平均（期末勤勉手当は除く）



# 日野病院のウサギさんたち



## 卯年生まれのみなさんに 今年の抱負を聞いてみました



頭本保人

人生の折り返しを  
疾うにすぎ、今年で5回  
目の年男となりました。  
定年まで残り少なくなっ  
てきましたが、日野病院  
のため精一杯務めていき  
たいと思っています。

うさぎ年になると  
よく童話“うさぎとかめ”を思い  
出します。4度目の年男を迎え  
ました!!大きく跳ねるより亀の  
ように実直に進んで行きたいと  
思います。  
干支にちなんでは耳を大きくし  
て人の話が聞けるような  
1年にしたいです。

子供たちが大きくなり、  
自分の時間がふえたので、  
ハンドメイドやソロキャン  
プ、登山やお菓子作りとま  
ます楽しく過ごしたいと  
思っています。  
今年は四国の石鎚山の頂上  
をめざします!!

今年はフルマラソンで  
2時間50分切りに挑戦し  
ます。また、各駅伝大会  
では区間賞を目指して  
頑張ります。

来年も元気に病気にかかる  
ことなく過ごしていきたいです。  
来年には社会人歴・看護師歴3年目に  
なり、新卒の時より知識も経験も増え  
たため、身につけた知識をしっかり自  
分のものにして患者さんに安楽をあて  
ていけるように引き続き先輩看護師・  
患者さんから看護について学んでいき  
たいです。来年にはもっと患者さんに  
寄り添える看護をしていきたい  
です。



河本亮介



西村 恵



池嶋志隆



千葉凧彩

今年1年  
健康に留意して  
がんばります。

仕事面では、知識をより  
深めていけるよう疾患や処  
置の勉強を頑張りたいです。  
生活面では、犬の散歩をこ  
れまで以上に頑張って運動  
不足を解消していきたい  
と思います。

今年はより一層責任感  
を持ち、患者様一人一人に  
寄り添って行きたいです。  
よろしくお願ひいたし  
ます。

入職して半年くらいしか  
経ってあらず、日々新しいことばかり  
で大変なこともあります。少しでも早く  
仕事を覚え、一人前になれるように頑張  
りたいです。また、来年はもっと積極的に  
色々なことを学び、吸収していきたいです。  
仕事以外では、趣味が沢山あるので、来年  
は一つ一つ極めていけたらと思っています。  
特にカメラでの撮影技術アップを目指し  
たいです。来年も元一杯頑張ります!!



田中 恵



米原歩希



森田花恋



吉岡 望

# 日野病院組合ニュース

## 吉賀町議会の皆様が視察に来られました

12月14日、島根県鹿足郡吉賀町議会の皆様（11名）が視察に来られました。

吉賀町では、町内にある六日市病院が公設民営化を控えており、同じ中山間地に立地し、ほぼ同規模である当院に視察に来られることになったということです。

当日は、小谷博徳日野病院組合議会議長が歓迎の挨拶を行い、孝田病院長がスライドを用いて当院の取組みを説明し、その後経営改善策をはじめ、医療スタッフを確保するための取組みや、交通弱者への支援策、人工透析を実施するための条件などについて質問を受け、質問に対する回答をしました。



## 連絡先

### 日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地

TEL 0859-72-0351

FAX 0859-72-0089

### 黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地

TEL 0859-74-0351

FAX 0859-74-0351

### 二部診療所

西伯郡伯耆町二部652番地1

TEL 0859-62-0351

FAX 0859-62-0351



切り取り線

〈編集後記〉  
今年の干支はうさぎです。可愛いですね。私はずっと、干支を聞かれるたびに兎年か犬年生まれだったらよかったのと思っていました。  
でも最近、爬虫類年生まれも縁起の良さとしつこさは、十二支中ナンバーワンのなんじゃないかなと勝手なイメージがあり、まんざら悪くないなと思っています。しつこさと言えば、コロナ。  
今年も我々の前に鎮座しています。まあ、しつこいつたらありやしない。  
しかし、何事も基礎が大事です。感染予防の基礎である、手洗い、うがい、マスクを徹底しましょう。  
うさぎのように、ピョンピョン跳ねてコロナを乗り越えて行きましょう!!  
今年もスタッフ一同、皆さんのお力になれるよう頑張ります。よろしくお願いたします。  
(日野小町)

# 日野病院 外来診療案内

R.5.2 ~

午前 午後 休診

診療科		受付	月	火	水	木	金
内科	1 診	午前	笠原 (循環器内科)	下坂	河村浩二 (第1・3週) 阿武※1 (第2・4週)	笠原 (循環器内科)	下坂
		午後			阿武※1 (第2・4週)		
	2 診	午前	孝田 (兼肝臓内科)	孝田	莫 (消化器内科)	田尻※1	田本
		午後			莫 (消化器内科)		小原
	3 診	午前	李	谷口(第1・3週) 小原(第2・4・5週)	河村実穂	北浦 (兼呼吸器内科)	今村 (大学医師)
		午後	中井	小原		北浦 (兼呼吸器内科)	
総合診療科 (外科第2診療室)	午前	中井 (初診)	中井 (初診)	李 (初診)	孫 (初診)	小原	
外科	午前	大学医師	佐藤	大学医師	大学医師	佐藤	
整形外科	午前	百田	百田	百田	百田	柳樂 (大学医師)	
眼科	午前	井上	井上	井上	井上	春木 (大学医師)	
小児科	午前	竹茂	竹茂	竹茂	総合診療科にて対応	大学医師	
	午後	大学医師	竹茂	竹茂	竹茂	大学医師	
専門診療科 (大学医師他)	午前	肝臓内科 孝田	皮膚科 大学医師	消化器内科 莫	呼吸器内科 北浦		
		循環器内科 笠原	女性診療科 秦	糖尿病外来 阿武(第2・4週)※1	循環器内科 笠原		
		脳神経外科 大学医師(第1・3週)		血液内科 河村浩二(第1・3週)	脳神経内科 田尻※1		
	午後	喫煙外来 李※1	心臓外科 西村(第1・3週)	消化器内科 莫	呼吸器内科 北浦	心療内科 大立	
			ペースメーカー外来 西村(偶数月第3週)	糖尿病外来 阿武(第2・4週)※1			
			血管外科 吉川(第2・4週)				
消化器検査 ドック検査	午前	下坂 河村	佐々木	消化器内科医(大学) カメラ 佐々木 ドックエコー 小原	下坂	佐々木 田本	
	午後	下坂		消化器内科医(大学)		田本	

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

自動再来受付機による受付  
(時間予約を除く)

- 午前 = 7時30分～10時30分
- 午後 = 正午～15時 (心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科)
- 午後 = 正午～16時 (内科・小児科)
- 午前 = 8時30分～
- 午前 = 9時～ ● 午後 = 14時～
- 土曜日・日曜日・祝祭日 ● 8月14日・15日 ● 12月29日～1月3日
- 14時～16時 (受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

検査開始時間

診療開始時間

休診日

電話による予約日・予約時間の受付

新患登録・新規予約 <代 表> 72-0351

予約日(時間)変更

- <内科> 72-2721 <外科> 72-2719
- <血液内科> 72-2721 <整形外科> 72-2720
- <消化器内科> 72-2721 <皮膚科> 72-2720
- <禁煙外来> 72-2721 <泌尿器科> 72-2720
- <呼吸器内科> 72-2721 <耳鼻咽喉科> 72-2720
- <脳神経内科> 72-2721
- <糖尿病外来> 72-2721

※1 糖尿病外来・脳神経内科・禁煙外来は完全予約制です。受診希望の方は、平日14時～16時に内科外来(72-2721)にご相談ください。

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

## 外来診療案内ポケット版

(R.5.2月～)

午前 (受付時間は、7時30分から10時30分まで)		月	火	水	木	金
内科	1 診	笠原	下坂	河村浩二(第1・3週)阿武(第2・4週)	笠原	下坂
	2 診	孝田	孝田	(大学)	(脳内)	田本
	3 診	李	谷口・小原	河村実穂	北浦	今村(大学)
	総合診療科 (外科第2診療室)	中井(初診)	中井(初診)	李(初診)	孫(初診)	小原
	外科	(大学)	佐藤	(大学)	(大学)	佐藤
	整形外科	百田	百田	百田	百田	柳樂(大学)
眼科	井上	井上	井上	井上	春木(大学)	
小児科	竹茂	竹茂	竹茂	総合診療科にて対応	(大学)	
専門診療科	肝臓内科 循環器内科 脳神経内科(第1・3週)	皮膚科 女性診療科	消化器内科 泌尿器科 血液内科(第1・3週) 糖尿病外来(第2・4週)※1	呼吸器内科 循環器内科 脳神経内科※1 泌尿器科 耳鼻咽喉科		
午後 (受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)		月	火	水	木	金
内科	中井	小原	(大学)	北浦	中井	
小児科	(大学)	竹茂	竹茂	竹茂	(大学)	
専門診療科	禁煙外来※1	心臓外科(第1・3週)※ ペースメーカー(偶数月第3週)※ 血管外科(第2・4週)※	消化器内科 糖尿病外来(第2・4週)※1	呼吸器内科	心療内科	

● 医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。  
(切り取って財布等に入れご利用ください)

せせらぎ 令和5年1月 発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 住所/〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332 TEL/0859-72-0351 FAX/72-0089 印刷/富士印刷有限公司

## 編集後記

日野病院は、令和4年6月16日に、全国自治体病院開設者協議会及び公益社団法人全国自治体病院協議会が昭和61年度から実施している自治体立優良病院表彰（全国自治体病院開設者協議会長及び公益社団法人全国自治体病院協議会長表彰（両協議会会長表彰）を受賞しました。

この表彰の選考基準は大変厳しく、各都道府県自治体病院開設者協議会及び全国自治体病院協議会各都道府県支部から推薦された調書を基に、経営努力の成果がみられ、かつ、地域医療の確保に重要な役割を果たしている病院が選考されるもので、選考に当たっては、次の基準に合致していることが必要となります。

一つ目は表彰年度の前々年度以前5ヶ年間の各年度において収支の均衡が図られ、表彰年度の前々年度において不良債務がないこと。つまり、過去5年間は黒字決算であり、かつ不良債務が無いことが絶対条件となります。

そして二つ目として、地域医療の確保に重要な役割を果たしていること。その項目として、救急医療の実施状況、保健衛生活動の状況、他の医療機関との連携の状況、高度・特殊・先駆的医療の状況、へき地医療の状況などです。

日野病院が選考された主な理由は、無医地区で診療所（黒坂診療所、二部診療所）を設置していることや鳥取大学と連携し総合診療医を育成していることが高く評価されたものです。

令和4年度は、全国857の自治体病院の中から9病院が当該表彰を受賞しましたが、当院を除く8病院は全て病床数300床以上の比較的都市部に所在する大きな病院でありました。

そんな中、この地域に根ざした小規模病院である当院が受賞したことは、住民の皆さんと近隣の医療福祉機関の日野病院に対するご協力、ご支援と、そして何よりも職員の献身的な働きによるものであり、誠に栄えある賞だと思っています。

今後も、この賞にふさわしい病院として、職員一人一人が高い意識を持ち、地域の皆さんにより質の高い医療を提供できるよう努めてまいりたいと思います。

日野病院事務局長 頭本 保人

—— 発 行 ——

日野病院組合 日野病院広報委員会

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田 332 番地

Tel : 0859-72-0351 Fax : 0859-72-0089

URL : <http://www.hinohp.com/>